

第八十一回帝國議會 藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
藥事法案(政府提出、貴族院送付)
(第六十三號)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六十四號)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六十五號)

昭和十八年二月二十三日(火曜日)午前十時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清水留三郎君

理事勝又 春一君 理事小泉 純也君

理事田中 藤作君 理事竹内 俊吉君

赤間 德壽君 逢澤 寛君

伊藤東一郎君 池本甚四郎君

今牧 嘉雄君 上田 孝吉君

星 一君 大島 寅吉君

木崎 爲之君 岸田 正記君

齋藤 憲三君 菅又 薫君

杉山元治郎君 武知 勇記君

中井 一夫君 西尾 末廣君

坂東幸太郎君 深澤豊太郎君

藤生安太郎君 藤本 捨助君

松本治一郎君 正木 清君

三宅 正一君 深澤 吉平君

山田 順策君 山崎 常吉君

出席政府委員左ノ如シ

文部省體育局長 小笠原道生君

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君

厚生省保險局長 平井 章君

軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君

軍事保護院援護局長 高辻 武邦君

厚生書記官 青柳 一郎君

厚生書記官 木村忠二郎君

厚生書記官 菊池 武夫君

軍事保護院書記官 杉山 俊郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
厚生事務官 中川 淳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

藥事法案(政府提出、貴族院送付)

船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

清水委員長 藥事法案外二件ノ委員會ヲ開キマス、質疑ヲ繼續致シマス——藤生安太郎君

藤生委員 私ハ質問ニ先ダチマシテ委員長竝ニ委員各位ニ一寸御斷リヲシテ置カナケレバナリマセヌノデス、實ハ私此ノ委員會ニ質問通告ヲイノ一番ニヤツタノデアリマス、併シ委員長ノ御方針ガ、此ノ委員會ノ質問ハ藥事法其ノ外二件ノ法案ニ直接關係ノアル分ヲ先ニ致シタイカラト云フ風ナ御方針ヲ拜聽致シマシタノデ、實ハ良心的ニズツト遠慮シテ居ツタノデアリマス、所ガ一週間經ツテモ中々私ノ順番ニ廻ツテ來サウモナイノデ、多少心配ニナツタモノデスカラ、委員長ニ交渉致シマシタ所ガ、何カ法案ニ直接關係ノアルコトカラ質問ヲシテ、ソレカラト云フヤウナコトデアリマシタ、ソレデモ私モ法案ニ直接關係ノアル質問ヲシタイト思フコトヘテ居リマシタケレドモ、私ガ直接法案ニ關係ノコトニ付テ質

問シタイト思フコトハ、他ノ委員カラ大體出盡シテ居ルノデ、強イテ法案ニ直接關係ノアルコトヲ質問スレバ重複スルコトニナリマスシ、時間ノ節約ニモナラヌモノデスカラ、此ノ點ヲ豫メ御諒承置キテ願ツテ、直接法案ニハ關係ハアリマセヌケレドモ、厚生省、文部省ノ方々ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

先日上田君ト厚生大臣トノ間ニ質疑應答ガアリマシテ、即チ藥事法ト戦力増強トノ關係如何ト云フコトニ付テ御論議ガアリマシタガ、ソレニ對シテ厚生大臣ノ御答辯ヲ拜聽致シタノデアリマシタガ、併シドウ御聽キ致シマシテモ、藥事法ガ戦力増強ノ問題ニ積極的ノ意義ヲ持ツテ居ルモノノヤウニ、聽取レナカツタノデアリマス、デ私ハ此ノ議會ガ戦力増強ノ議會デアルノニ鑑ミマシテ、戦力増強ノ根源デアル精神力、此ノ精神力ヲ昂揚スル爲ニハ日本人ノ精神力ノ核心デアリ、本質デアル所ノ大義武士道ノ精神、即チ軍人勳諭ノ御精神ヲ大ニ顯揚シナケレバナラス、其ノ爲ニハ是ト最モ密接ナル關係ヲ持ツテ居ル武道ヲ大ニ振興シナケレバナラスト云フ意味ニ於キマシテ、武道振興ノ諸問題ニ付テ政府ノ方々ニ御尋ね致シタイト思ヒマス、只今承リマスト文部省ノ政府委員ノ方ガ御急ギニナルト云フコトデアリマスカラ、文部省關係ノ事項カラ先ニ御尋ね致シタイト思ヒマス

先ツ武道教師待遇問題デアリマスガ、此

ノコトハ、七十二議會ニ於キマシテ、私ハ武道教師優遇ニ關スル建議案ヲ同僚諸君ノ協力ノ下ニ提案シマシテ、勿論是ハ全會一致可決サレタノデアリマス、其ノ建議案ノ中ニ詳シク武道教師ヲ優遇シナケレバナラスデヤナイカト云フ意味ノコトハ申述ベテ置イタノデアリマスガ、其ノ後ドウモ是ト言ツテ宜シイヤウナ武道教師待遇ノ途ガ講ゼラレタヤウニハ私ハ聞イテ居リマセヌ、武道教師ハ依然トシテ學科ノ教師ニ比ベテ、資格ノ點ニ於キマシテモ、又俸給ノ點ニ於キマシテモ餘程劣ツテ居ルヤウニ考ヘマス、今日ノ學校ノ武道教師ノ俸給ヲ待遇デアドウシテモ武道教師トシテノ品位、武道教師トシテノ面目ヲ維持スルコトハ勿論、其ノ生活サヘ支ヘルコトハ私ハ不可能デアラウト考ヘマス、ソレデ武道教師ハ大抵一校ダケデハ食ヘナイカラ、他ニ一ツナリ二ツナリノ學校就職口ヲ求メナクチャナラヌト云フヤウナコトニナツテ、茲ニ勢ヒ所謂掛持ト云フコトガ行ハレルヤウニ相成ルノデアリマス、此ノ掛持ト云フコトガ如何ニ武道教育上障礙ニナツテ居ルカト云フコトハ、掛持ヲスルト、俗ニ言フ繩張り爭ヒト云フヤウナモノガ起ツテ、武道界ニ之ニ關聯シテ種々ノ弊害ヲ惹起シテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、私ハ自分ノ體験——學科ノ方モ體験ヲ持ツテ居リマス、又武道ノ方モ教師タル體験ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ體験ニ照シテ考ヘテ見マシテモ、

武道ノ教師ト云フモノハ、一日二時間ノ教授ヲヤルト、其ノ二時間ノ教授デ一日ノ精力體力ト云フモノハ殆ド全ク摺減ラシテシマフト云フ位ニ骨ノ折レルモノデアリマス、ソレヲ更ニ一箇所ニ箇所ヲ掛持チスルト云フコトニナルト、其ノ無理ト云フモノ、其ノ過勞ト云フモノハ迎モサウ云フコトノ經驗ノナイ人ニハ想像モ及バヌ程ノ疲勞ヲ來スノデアリマス、サウ云フ譯デアアルカラ、掛持ヲヤルト、本當ニ心魂ヲ打込ンデ生徒達ヲ指導シ、教授スルト云フコトハ殆ド出來ナイト云ツテモ宜イノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、私ハ武道教育ヲ不徹底ナラシメ、サウシテ武道界ニ諸種ノ弊害ヲ惹起スルヤウナ此ノ掛持主義ト云フモノヲ絕對ニ嚴禁シテ、一校一人主義ヲ是非實現シテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ文部省ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノデアアルカ、一應御伺ヒテ致シタイト思ヒマス

○小笠原政府委員 只今武道ノ教師ヲ一人一校主義ニスルヤウニト云フ御意見デゴザイマシタガ、御意見ハ全ク私共モ御同感デゴザイマシテ、私共ニ於キマシテモ是非一人一校デアツテ、數校ヲ掛持チスルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、併シ武道ノ教師ノ人員等ガマダ甚ダ不足致シテ居ル今日デゴザイマスノデ、直グサマ之ヲ實現スルト云フ譯ニハ參リ兼ネルト存ジマスガ、努メテ早イ機會ニ左様ナ状態ニ相成ルヤウニ、一層努力致シタイト考ヘテ居リマス、又待遇一般ニ付キマシテモ、決シテ武道ノ教師ナルガ故ニ、他ノ教師ヨリモ待遇ガ惡イト云フ差別ガアル譯デハナイノデゴザイマスガ、御

承知ノヤウニ武道ノ教員ノ中ニハ、學校教師トシテノ有資格ノ教師ガ割合ニ少イ、教師トシテノ免狀ヲ持ツテ居マセヌガ、武道ノ技術ノ方デ優秀ナ人デアアルガ故ニ、囑託サレテ居ルト云フヤウナ人ガ比較的多イノデゴザイマス、自然有資格者ト然ラザル者ノ待遇ノ差異ト云フコトハゴザイマスノデ、結局武道ノ教員全般トシテ見マス時ハ、他ノ教員ヨリハ待遇ガ稍、劣ツテ居ルト云フ實情ノゴザイマスコトハ、是ハ否ミ得マセヌ、何レニ致シマシテモ斯様ナ實情デハ相成ラスト思ヒマスノデ、今後銳意是等ノ點ニ改善ヲ加ヘマシテ、武道ノ教師ヲモツト其ノ待遇ヲ良カラシムルト同時ニ、先程御話ノゴザイマシタ一人一校ト云フ理想的ナ状態ニ、銳意近付ケタイト考ヘテ居リマス

○藤生委員 政府委員ノ御答ヘデハ、趣旨ニハ全ク賛成デアアルガ、併シナガラ武道教師トシテノ資格ガ少イノデ、直チニ實現スルコトハ出來ナイト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、勿論其ノ點ハ私モ諒承致シテ居リマス、ソコデヤハリサウ云フ問題ニナツテ來ルト、指導者養成機關ノ新設擴充ト云フヤウナコトモ、自然問題ニナツテ來ルノデアリマス、私ノ知ツテ居ル所デハ、官立ノ指導者養成機關ト云フモノハタツタニツシカナイ、サウ云フヤウナ状態デアリマスカラ、折角一校一人主義ニ御賛成ニナツテ居ツテモ、ソレヲ直チニ實現スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトニ相成ルノデアリマスカラ、政府ニ於カレマシテハ速カニ武道教師養成機關ノ新設擴充ト云フコトニ、一層御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、一校一人制ニ付テハ、從來學校ト武道教師トノ間ニ、是ガ自由取引ノ二行ハレテ居ルヤウニ

考ヘテ居リマス、ソコニ又弊害ガ生ズルノデアリマスカラ、折角一人一校主義ノ趣旨ニ御賛成デアアルナラバ、自由取引ヲ許サスデ、監督當局ガサウ云フ場合ハ一々人物、力量等ヲ仔細ニ檢討シテ、サウシテ許可ラスルト云フ風ナ態度ヲ執ツテ戴キタイコトヲ希望致シテ置キマス

ソレカラ最近高等師範學校、或ハ武道專門學校等ヲ卒業シテ、武道教師ニナル所ノ者ハ、學科ト武道ト二ツノ資格ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレガ愈、教師ニナル場合ハ、學科ノ方デアアルト教諭ニナレルト云フコトカラ、學科ヲ主トシテ武道ノ方ヲ從ニスルト云フヤウナモノガ非常ニ多イト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ折角武道教師ヲラントシテ、武道專門學校ヲ出テ居ル者トシマシテハ、其ノ素志ニモ反スルコトデアリマス、又其ノ武道教師ヲラントスル者ヲシテ、武道ヲ附屬物扱ヒニサセルト云フコトハ、甚ダ是ハ私ハ宜シクナイト思フ、斯ウ云フ風ニ武道專門學校ヲ出テ者ガ、武道ヲ從ニシテ學科ヲ主ニスルト云フヤウナコトハ、即チ其ノ勤務ガ非常ニ樂デアル、サウシテ俸給ガ高イ、資格ガ良イト云フヤウナ所ニ基因スルト私ハ考ヘマス、斯ウ云フコトハ武道教育上甚ダ宜シクナイコトト思ヒマス、私ハ寧ろ學科ノ教師ヨリモ武道ノ教師ノヤウニ、骨ノ折レル苦シイ者ノ方ヲ優遇シナケレバナラスノデアナイカト思フ、少クトモ同等デナケレバナラスト云フコトヲ痛切ニ考ヘテ居ルノデアリマス、政府カラ御渡シニナツタ教師ノ平均給ヲ見マスト、東京府立ノ中等學校ニ於キマシテハ、學科ノ教師ハ百十八圓、武道教師ハ百圓、實業學校ノ方ハ學科ノ方ガ百十八

圓デ武道ノ方ハ百圓ニナツテ居ル、私立ノ中等學校ニナルト、學科ノ方ハ百十九圓、武道ノ方ハ九十五圓、私立ノ實業學校ノ方ハ百五圓ニ對シテ武道ノ教師ハ八十五圓、斯ウ云フ風ニ非常ナ開キガアルノデアリマス、從來ノ教育ノ弊害ハ文偏重デス、文ニ偏スレバ浮華、武ニ偏スレバ粗暴、文武相俟ツテ道眞ニ起ルト云フコトガアリマスカラ、又論語ニハ文質彬々然ル後君子ト云フコトガアル、是ガ私ハ教育ノ理想デナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ私ハ骨ノ折レナイ學科ノ先生ヨリモ、骨ノ折レル武道教師ノ方ニ寧ろ力ヲ注イデ、待遇ヲ向上シテ戴クノガ至當デハナイカト考ヘマスガ、之ニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘニナリマス

○小笠原政府委員 武道教員養成ノ專門學校等ノ卒業者ニ對シマシテ、武道ノ教師タルノ資格ト同時ニ、他ノ學科ノ教師タルノ資格、例ヘバ國語、漢文、修身、生理、衛生等ノ科目ノ免狀ヲモ與ヘテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ私共ノ考ヘト致シマシテモ、武道ノ教師タルノ學校ヲ卒業サレルモノデアリマスカラ、武道教師トシテノ免狀ノ方ガ主デアリマス、併シナガラソレバカリデナク教育全般ノ關係カラ見マシテモ、他ノ學科ノ免狀ヲモ併セテ持ツコトガ望マシイト云フノデ、寧ろ從ト致シマシテ他ノ學科ノ若干ノモノニ付キマシテハ、免狀ヲ併セ與ヘルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、飽クマデモ武道教師タル方ガ主デアリマシテ、他ノ學科ノ教師ヲモ必要ニ應ジテヤリ得ルコトト致シマシテ、之ヲ從ト考ヘテ居ル次第デアリマス、現在各學校ニ左様ナ卒業生ガ任用サレテ居ル實情ヲ申シマスト、武道ノ專門學校等ヲ出

マシテ學科ノ教員ヲヤツテ居リマス者ノ數ト云フノハ、極メテ少數デゴザイマス、殆ド大部分ガ武道教員トシテ活動シテ居リマス、學科ノ教員ヲヤツテ武道ノ方ノ教諭ヲ致シテ居ラナイト云フ者ハ殆ド僅少、或ハナイカト存ズルノデゴザイマス、併シナガラ只今ノ御説ノヤウニ現在ノ任用ノ實情ハ左様デゴザイマスレドモ、或ハ中ニ不心得ナ者ガアツテ、樂ナ方ニ就クト云フ意味デ、武道ノ教師トシテ活動スルヨリモ、學科ノ教師トシテ働キタイト云フヤウナ希望ヲ持ツ者ガアルト致シマス、是ハ甚ダ遺憾ナコトデゴザイマス、現在ノ任用サレテ居ル實情ハ上述ノヤウデゴザイマスガ、尙ホ能ク調べマシテ、若シ左様ナ傾向デモアルヤウデゴザイマシタラ、十分是ハ是正致シ、本來ノ趣旨通りニ參ルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○藤生委員 私モサウ云フコトハ屢、アツテコツチデ聞キマスノデ御尋ネ致シタヤウナ次第デゴザイマスガ、ドウカ御調べニナツテ、サウ云フヤウナコトノナイヤウニヤツテ戴キタイノデアリマス、要スルニ武道教師ノ中デモ特ニ柔道教師ト云フモノハ、其ノ體力ノ消耗ノ點カラ見マシテ、學科ノ教師トハ勿論ノコト、他ノ武道ノ教師ト比ベマシテモ壽命ガ非常ニ短イ、然ルニ在職間ノ俸給、資格、又退職後ノ生活保障ト言ヒマスカ、是モ全然顧ミラレテ居ナイヤウナ状態デアリマス、大家、高段者ノ武道ノ先生デスラ、六十ニナツテモ、七十ニナツテモ、何等國家ノ待遇ハ勿論ノコト、老後ノ生活ノ保障モナイ、デアリマスカラ後進ノ爲ニ途ヲ開イテ辭メヨウト思ツテモ辭メラレナイト云フヤウナ状態デアリマシテ、寧ロ悲惨ト

サヘモ考ヘルノデアリマス、ソレニ比ベテ音樂學校トカ、美術學校ト云フヤウナ所デハ、西洋ノ畫ヤ音樂ヲ教授スル中ニ勅任官ト云フヤウナ教授ガ相當ニアルヤウニ聞イテ居リマス、又一般藝術ノ方面ニ於キマシテモ、ソレ等ノ人々ハ吾々一般人ガ非常ニ羨望スル位ニ物質的ニ惠マレテ居ルニモ拘ラズ、藝術院會員ト云フヤウナ名ニ依ツテ國家的ノ待遇ヲ受ケテ居ルノデアリマス、然ルニ武道教師ハ只今申上ゲタヤウニ中々惠マレテ居ラナイノデアリマス、若シ斯ウ云フ風ニ武道教師ヲ悲慘ナ状態ニ放任シテ置クト云フヤウナコトニナルト、將來武道教師ニナラウトスル者ガナクナツテシマフ、サウ云フコトニナルト、是ハ武道教育上非常ニ大キナ問題デアリマスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ是非シテ戴カナクテハナラヌト思ヒマス、孟子ハ恒産ナケレバ恒心ナシト云ツテ居リマス、併シ吉田松陰先生ハ、恒産ナクシテ恒心アル者ハ士ノミ之ヲ能クスト言ハレテ居リマシテ、武道家ハ此ノ吉田松陰先生ノヤウナ心情ヲ持チタイト努メテ居ルノデアリマスカラ、政府當局ニ於カレマシテモ、武士ハ食ハネド高楊子ト云フ此ノ心情ヲ特ニ御諒解ヲ願ツテ、極力向上ノ途ヲ講ゼラレノコトヲ希望致シテ置ク者デアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイコトハ薙刀問題ニ付テデアリマスガ、舊武德會ハ先般薙刀ノ型ヲ制定致シタノデアリマス、此ノ薙刀ノ型ヲ制定スルニ當ツテハ御承知ノヤウニ彼ノ有名ナ薙刀騷動、薙刀問題ヲ起シテ世間ヲ騒ガシタ、是ハ政府ノ方々モ能ク御承知ノコトト存ジマスノデ、内容ハ繰返シマセヌガ、其ノ出來上ツタ舊武德會ノ薙刀ノ型ト

云フモノハ、武道界ノ權威ノ人々カラ見ルト、極メテ不完全ナモノトシテ非常ナ非難ヲ受ケテ居ル、ソレカラ又此ノ薙刀ノ型ヲ制定スルニ當ツテハ其ノ動機ガ非常ニ不純デアアル、或ル薙刀ノ大家——武道家タル者ガ大阪ノ某商人ト策謀シテ金儲ケヲ策セントシタルガ如キ事實モ私ハ聞イテ居リマシテ、之ニ對シテハ私ハ今日モ尙ホ苦々シク考ヘテ居リマス、サウ云フ風ナ經緯ニ依ツテ出來上ツタ所ノ舊武德會ノ薙刀ノ型ナルモノヲ文部省制定ノ型ナリトシテ、アツチコツチデ教授ヲヤツテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、サウ云フコトニ對シテ文部省ハ御聽キニナツテ居ルノデアリマスカ、又之ヲ御聽キニナツテ、認メテ居ラレルノデアリマスカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○小笠原政府委員 舊武德會ニ於テ何カ薙刀ノ型ヲ制定サレタト云フコトハ聽及ンデ居リマスガ、是ハ文部省制定ノ型ト云ツテ居ルト今御話ガゴザイマシタガ、文部省カラ左様ナ制定方ヲ武德會ヘ委囑致シタコトモゴザイマセヌシ、勿論文部省制定ト云フ譯ノモノデハゴザイマセヌ、學校等ニ於テ行ヒマスモノハ、御承知デモアリアセウガ、何ニ依ラズ各學科總テヲ通ジマシテ其ノ教授要目、教授要綱ト云フヤウナモノハ文部省ニ於テ制定致シマスノデ、他ノ所デ制定スルト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤生委員 ソレハサウデセウガ、ドウモサウ云フモノヲ文部省ノ制定ノ型ダト云ウテアツチコツチデ教授ヲシテ居ルモノヲ其ノ儘放任シテ置クコトハ宜シクナイト思ヒマス、之ニ對シテ文部省ハ何カ適當ナ處置ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマスガ、ドウ云

フ風ニ御考ヘデアリマスカ

○小笠原政府委員 實ハ只今マダ文部省制定ノモノナリト稱シテ左様ナモノヲ實施セシメテ居ルト云フ事實ヲ、甚ダ申譯ノナイ次第デゴザイマスガ、承知致シテ居リマセヌデシタノデ、是等ノ點ハ十分調べマシテ、適當ナ處置ヲ執リタイト思ヒマス

○藤生委員 モウ一點御伺ヒ致シマスガ、文部省デハ中等學校ニ、是ハ餘程前カラ武道ヲ正科トシテ御採用ニナツタ、ソレカラ又最近ニ於キマシテハ吾々ノ要望ヲ容レラレテ、國民學校ニ又武道ヲ正科トシテ採用ニ相成ツタノデアリマシテ、私共ノ非常ニ感謝シテ居ル所デアリマスガ、其ノ中等學校、國民學校ニ武道ヲ正科トシテ採用サレタ其ノ理由——今更斯ウ云フ理由ヲ御尋ネスルト云フコトハワカシイヤウニ考ヘラレマスガ、私ハ是ハ厚生省ニ武道ノ問題ニ付テ御尋ネスル上ニ於テ參考ニ致シタイノデアリマスカラ、特ニ此ノ點ヲ、分り切ツタモノノヤウデアリマスレドモ、文部省ニ一應御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス

○小笠原政府委員 國民學校ニ於テ武道ヲ正科ト致シマシタノハ比較的新シイノデアリマスガ、中等學校ニ於キマシテハ非常ニ古ク、明治ノ時代カラ正科トシテ武道ヲ課シテ居ルノデゴザイマス、何故ニソレヲ正科ニシテ居ルカト云フ理由ハ、是ハ今重ネテ申上ゲルマデモナイト存ジマスガ、御尋ネデゴザイマシタカラ一應申述ベマス、學校ノ正科トシテ武道ヲ採リ入レテ居リマスノハ申スマデモナク、武道ノ所謂武技ヲ習得サセルト云フバカリガ目的デハゴザイマセヌ、勿論術技ノ習得ト云フコトモ目的ノ一ツデハゴザイマス、

又之ヲ通ジテ身體ヲ強健ナラシメルコトモ
目的ノ一ツデハゴザイマス、併シ更ニ是等
ノ修練ヲ通シテ旺盛ナル精神力ヲ養フ、剛
健不屈ノ氣魄ヲ養フ、進取ノ氣象ヲ養フ、
仁義ノ信念ヲ養成スル、或ハ又正義、廉恥
ルト云フヤウナ大キナ意味モ含メマシテ、
隨テ是ガ心身共ニ強健ニシテ、有爲ナル日
本國民、皇國民ノ練成ト云フコトヲ目指シ
テ居リマス我ガ國ノ教育ニ於テ、其ノ教材
トシテ洵ニ好適ナモノデアアル、斯様ニ考ヘ
マス故ニ、此ノ武道ヲ正科ニ採リ入レテ居
ル次第ゴザイマス

○藤生委員 武道ヲ學校ノ正科トシテ採用
シテ理由ニ付テ只今御説明ヲ拜聽致シタ
ノデアリマスガ、只今ノ御説明ノ程度デハ
私ハ少シ異論ガアリマスガ、併シ是ハ何レ
厚生省ニ御尋ネ致シマス時ニ、此ノコトニ
關聯シテ私ノ意見ヲ申上ガタイト思ヒマス
カラ、文部省ニ對スル質問ハ是デ終リマス
○清水委員長 文部省ノ政府委員ニ對シテ
關聯事項トシテ星一君カラ通告ガアリマス
カラ、此ノ場合許シマス——星一君

○星委員 文部省ノ政府委員ニ御願ヒシタ
イト思ヒマス、先日本委員會ニ於テ厚生次
官ガ委員ノ質問ニ對シテ、醫者ノ不足ト云
フコトヲ言ハレタノデアリマス、所ガ私ノ
聞キマスノニ、或ル醫學專門學校ガ本年ノ
生徒入學ニ關シ、文部省カラ百五十人ノ募
集認可ヲ受ケテ居ルノニ、昨年二割カ二割
五分カ、三割カ知リマセヌガ、認可以上生徒
ヲ多ク入レタト云フコトデ大變ニ叱ラレテ、
本年ハ百五十人以上ハ絕對ニ入レテハナラ
ヌ、若シ入レルヤウナコトガアツタナラバ、
學校ノ認可ヲ取消ストマデ言ハレタコトヲ

聞イタノデアリマスガ、茲ニ考ヘテ貫ハナ
ケレバナラヌコトハ、此ノ大東亞ノ新秩序
ヲ作ルト云フ大聖業ニ從事シテ居ル際ニ、
醫者ト云フモノガ非常ニ大切ダト云フコト
ヲ知ツテ頂戴シタイノデアリマス、是ハ厚生
省ハ能ク分ツテ居ルト思ヒマス、私ハ大東亞
ノ人間ヨリモ、更ニ進シテ全「アジア」人ノ
健康ハ日本ガ引受ケル位ニ醫者ヲ澤山普及
サセテ欲シイト思フノデアリマス、彼等フシ
テ吾々ノ健康ハ日本人ニ委シテ置ケバ宜イ
ノダ、斯ウ云フ風ニ安心ノ出來ルヤウニシ
タイ、又世界ニ於テ日本ノ醫學、殊ニ醫術ハ
相當ニ評判モ宜イ、又日本ニ於テモ澤山ノ技
術中、醫術ヲ以テ世界一ニナリ得ルト云フ
コトヲ皆期待モナシ得ルダケニ進歩シテ居リ
マスカラ、全「アジア」ノ人間ハ皆日本ノ醫
者サンニ委セルノダ、自分等ノ健康ハ日本人
ニ委セルノダ斯ウ云フ風ナコトニ行ケルヤ
ウニシタイト思フ、又ソレダケノコトヲ考ヘ
テモ宜イト思フ、今日デモ日本人デ醫者デ
アルモノガ支那ナリ、南洋ナリヘ行ツテモ、何
處ヘ行ツテモ殺サレルコトガナイト云フコト
ヲ言ハレテ居リマス、醫者デ殺サレル者ハナイ、
臺灣ニ於テモ、蕃人ガ警察署ヲ攻撃シテ來タ
コトモアツタガ、其ノ時ニ醫者ノ眞似事ヲシ
テ藥ヲ與ヘタリナドシテ居タ警察官ダケハ
殺サレナカツタ、斯様ナコトモアルノデア
ツテ、今日マデ日本ノ醫者デ殺サレル者ハ
「アジア」ニ於テ今マデナカツタト言ハレ
テ居リマスカラ、ドウゾ文部省ガ少クトモ
ドノ位ノ醫者ヲ作ツタラ宜イカ、殊ニ日本
以外ノ國外ニ出ス醫者ハドノ位作ツタラ宜
イカト云フコトニ付テ研究シテ欲シイノデ
アリマス、私ハ曾テ議會ノ委員會ニ於テ五
万人ノ國外進出ノ醫者ヲ作ルト言ツタコト

ガアルガ、モウ五万人デモ足ラナイ、十萬
人位ノ醫者ヲ作ツテ全「アジア」ニ之ヲ普及
サセテ、全「アジア」人カラ吾々ノ健康ハ日
本人ニ委セルト云ツタヤウナ信頼ヲ受ケル
ダケニ進メテ行キタイト思フノデアリマス、
然ルニ僅ニ百五十人入學者ノ所ヘ二割、三
割ノ學生ヲ餘計入レタカラト云ツテソレヲ
攻撃シ、ソレニ服從シナイナラバ學校ノ認
可ヲ取消スト云ツタヤウナコトヲ文部省ガ
言ツテ居ルナラバ、厚生省ノ期待ニモ背ク
ノミナラバ、文部省ハ大東亞戰爭ノ意義ヲ
モ理解シテ居ナイ、斯ウ云フヤウニ感ゼラ
レテナリマセヌ、之ニ付テ只今政府委員カラ
其ノ御答ヘヲ聽カウトハ思ヒマセヌ、併シ
厚生省ノ此ノ委員會ノ委員ノ多數ハ、醫者
ヲ澤山作ツテ「アジア」人ノ健康ハ日本人ガ
皆引受ケルコトニシタイト期待ヲ持ツテ居ル
ノダト云フコトヲ、御歸リニナツタナラバ
文部大臣初メ、文部省ノ全部ニ御傳ヘテ願
ヒタイト思フノデアリマス、ソレダケノ期
待デアリマスガ、之ニ對シ此ノ際政府委員
カラ何カ御話ヲ承レバ満足デアリマスガ、
兎ニ角御歸リニナリマシタナラバ、其ノコ
トヲ御傳ヘ願ヘレバ満足デアリマス、之ヲ

以テ私ノ文部省ニ對スル御願ヒヲ終リマス
○清水委員長 杉山君カラ更ニ文部省ノ政
府委員ニ對シテ、關聯事項デ質疑ノ要求ガ
アリマス——杉山君

○杉山委員 私立學校齒科醫ニ關スル問題
ニ付テ一應御伺ヒ致シタイト思ツテ居ルノ
デアリマス、昨日ノ竹内委員ノ質疑ニ依ツテ
體育ニ關スルコトダケハ、學校内ノ體育ハ
文部省所管デアリ、學校外ノ體育ハ厚生省
所管デアアル、斯様ニ明瞭ニナツタノデア
リマス、其ノ中事務クモ保健衛生ニ關スル

問題ハヤハリ厚生省所管デアアル、斯ウ云フ
コトニナツテ居ル關係デアアルガ、併シ學校
内ノコトハ文部省ガアルノダト云フ從來ノ
行掛リガアツテ、ドウモ厚生省ト文部省ト
ノ間ニシツクリ行カナイ所ガアルノデハナ
イカ、曾テハ學校ノ衛生部ト云フ名スラモ
變更シナケレバナラナイト云フ事情ガア
ツタコトハ既ニ御承知ノコトト思フノデア
リマス、斯カル事情ノ爲ニ學校醫、學校齒
科醫ト云フモノハ兩省ノ板挾ミニナツテ思
フヤウナ活動ガ出來ナイ、斯ウ云フ事情ヲ
時々伺ツテ居ルノデアリマスガ、又文部省ノ
方デハ身體檢査ト云フモノヲヤリ、厚生省
ノ方デハ體力管理ヲヤル、其ノ檢査報告書
ト云フモノヲ各、別々ニ出ス、ソシテソレニ
ハ多少内容調査ト云フモノモ違ツテ居ル、
斯ウ云フ二重手間ノコトヲ致シテ居ルヤウ
ニ見テ居ルノデアリマスガ、斯ウシタコト
ハ何トカ一本ニナツテ、醫事行政、特ニ二
千萬人ニモ近い學生生徒ノ保健衛生ノ問題
等ニ付テ皆ク此ノ運用ノ出來ルヤウニ出來
ナイノデアラウカ、斯ウ思ヒマスノデ、後デ
厚生省ニ伺ヒマスル前ニ、一應文部省ノ御
意見モ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小笠原政府委員 厚生省ト文部省ノ所管
ニ付キマシテハ體育ニ付キマシテモ亦、學
校ノ衛生ニ付キマシテモ御承知ノヤウニ
兩省ノ所管トシテハ各、分擔ノ限界ガ定マ
ツテ居リマスガ、併シ其ノ爲ニ離レレムニ
ナル、或ハ又矛盾、衝突ガ起ルト云フヤウ
ナコトノナイヤウニ、兩省ニ於キマシテ常
ニ十分ナ連絡ヲ執リマシテ、寧ロ其ノ各、
ガ分擔致シテ居リマスコトガ却テ綜合的ニ
宜イ結果ヲ擧ゲマスヤウニ、兩者ノ緊密ナ
連絡ノ下ニ仕事ヲ致シテ居ル次第ゴザイ

マシテ、私共ノ考ヘデハ及バズナガラ現状ハ特ニ現在ノ所管ノ分擔デハ困ル、支障ガアルト云フヤウナ目立ツタ事實ハナイモノト實ハ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、併シ尙ホ或ハ學校トカ、直接事ニ當ツテ居リマス部分ニ於キマシテハ、吾々ノ思ハザルコトデ餘計ナ手數ガ掛ルト云フヤウナコトモ或ハアルカモ知レナイト云フコトモ只今ノ御話ヲ伺ツテ居リマシテ感ズル所デゴザイマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ一層注意ヲ致シマシテ、努メテ左様ナ不便ヤ、餘計ナ負擔ヲ掛ケルト云フヤウナコトヲナカラシムルヤウニ注意致シタイ考ヘデアリマス、尙ホ序デ恐縮デアリマスガ、前ノ星委員ノ御話ニ付キマシテハ、只今ノ御希望ノ點ヲ文部省當局ニ十分申傳ヘマス

○竹内委員

只今杉山委員カラ發言ノアツタコトデアリマスガ、國民ノ保健政策ノ一貫性カラ見テ、私モ學校衛生ナルモノガ國民保健政策ニ於ケル一ツノ何ト申シマスカ、矢面ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマス、文部省カラ戴キマシタ資料ニ依リマス、大體國民學校ノ兒童ノ中デ養護ヲ要スル者ニ養護ヲ要スル者トハ此ノ備考ニ依リマス「身體虛弱精神薄弱疾病又ハ異常ヲ有スル者ニシテ學校衛生上特別養護ノ必要アリト認ムル者」トアリマス、ソレガ大體ヒドイ學年ハ二一%、平均シテ一六%以上ニナツテ居ル、一千万人ノ全兒童カラ見マス、百六十万人ノ虛弱兒童ガ居ルト云フコトデアリマス、虛弱兒童ニ對シテ特別ノ施設ノ必要デアリマスコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、學校衛生ノ現況ヲ見マス、其ノ點洵ニ不徹底ト申シマス、遺憾ノ點ガ多イト考ヘルノデアリマス、此ノ點

文部當局ハドウ御考ヘニナツテ居ルカ、厚生省ニ於テハ一般ノ虛弱者ニ對シテ明年度三千万圓ノ豫算ヲ以テ國民修練所ヲ設置シテ之ヲ鍛ヘ上ゲテ、直接戦力増強ノ面ニ奉公サセルト云フ非常ニ大キイ計畫ガアルノデアリマスガ、是ト相呼應シテ國民學校ノ虛弱兒童ニ對シテモ何等カノ施策ヲスルコトガ必要デアラウト考ヘマス、厚生省ノヤリマス今回ノ事業ニハ非常ニ吾々ハ期待ヲ持ツノデアリマスガ、當面ノ目標ガ大體ニ於テ徵兵適齡者デアアル、徵兵適齡者ヲ其ノ年ニ於テ修練致シマスコトハ非常ニ宜イコトデアリマスガ、多少泥繩式ノ感ガナイデモアリマセヌ、出來マスレバ少年時代カラ虛弱者ニ對シマシテハ一貫シタル特別ノ指導、特別ノ施設ニ依ツテ其ノ體位ヲ向上セシムルコトガ極メテ必要ナコトモ亦言フマデモナイ、此ノ點ニ對シテノ文部當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、現在學校醫ト云フモノモアリマスケレドモ、是ハ昨日厚生大臣ノ御答辯ノ中ニモ學校衛生ハ主トシテ體格検査ヲヤルノダ、其ノ他ノコトハ厚生省ガヤルノダト云フ御答辯ガアリマシタガ、全ク其ノ通りデ、體格検査ダケヲヤツテ居ルト申シテモ憚ラナイノデアリマス、一年一回乃至二回體格検査ヲヤル爲ノ學校醫デアアル、平素日常ノ保健衛生ニハ及ンデ居ナイト云フコト、是モ全國ノナ現象デアラウト思ヒマス、又養護指導ト云フ制度モアルニハアルノデスガ、是モ文部省ノ資料ヲ見マス、全國デ三百五十二名シカ居リマセヌ、斯ウ云フ状態デハ制度ハアルガ、實際ハナイニ等シイノデアリマス、此ノ養護指導ヲ更ニ養成スルノ意ガナイカ、第一養護指導養成所ト云フモノガ、私立ノモノ

ガ一、二箇所アルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テモ文部省ハ餘リ力ヲ入レテ居リマセヌ、又學校看護婦モアリマスガ、是ハ大體洗眼ヲスルトカ、サウ云フ極ク低イ程度ノ處置ヲシテ居ルダケデアツテ、保健衛生全般ノ指導ヲ致シテ居リマセヌ、斯ウ云フ面カラ考ヘマシテ國民保健衛生上、最モ成長期ノ大切ナ國民學校ノ虛弱者ニ對スル施策ガ一ツノ保健衛生上ノ施策ノ「エアー・ボケット」ニナツテ居ルト考ヘル、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

今一ツハ最近ノ現象トシテ肝油ガ非常ニ拂底シテ來テ、手ニ入ラナイ、各學校此ノ要求ヲ聞クノデアリマス、此ノ原因ヲ調べテ見マス、原料ガナクナツタノカト思フト原料ハアル、吾々ノ地方ハ此ノ原料ノ供給地デアアルガ、最近ニ於テハ其ノ原料ハ賣レナクテ魚類ノ臟腑ナドハ棄テテ居ル、ドウシテ減産シタノカト調べテ見ルト、肝油ノ値段ガ安イ、安ク公定サレタ爲ニ採算ガ合ハナイカラ造ラヌト云フ、是ガ原因デアアルヤウデアリマス、肝油ノ値段ノ安イ高イ、或ハソレガ妥當デアルカナイカハ私存ジマセヌガ、兎ニ角此ノ虛弱兒童ニ對シテ學校側デ今マデ獎勵シテ服用セシメテ來タ肝油ガ非常ニ拂底シテ來タト云フコトモ亦、虛弱兒童ニ對スル施策トシテ相當ナル障得デアラウト考ヘマス、或ハ此ノ點ハ厚生省ニ御聽キスルノガ本當カモ知レマセヌガ、文部當局トシテ之ニ對スル御意見ヲモ併セテ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小笠原政府委員

只今御尋ネノ中デ、養護指導ノ點ハ實ハ只今御舉ゲニナツタ如ク全ク少イモノデアリマシテ、是デハ何シモノナラナイト仰シヤルノハ御尤モノ筋デアリマスガ、是ハ實ハ昭和十七年度カラ初メテ養護指導ノ制度ガ出來マシテ、從來養護學校ノ看護婦等ヲ致シテ居リマシタ者ノ中カラ受験シテ合格致シタ者ガ、更ニ府縣ノ都合デ任用サレマシタ數ガ比較的少イノデアリマスガ、是ノミガ現在働イテ居ルノデハナクテ、他ニ尙ホ有資格者デアリマセヌガ、從來ト同様學校看護婦、學校保健婦トシテ働イテ居ル者モゴザイマス、併シ尙ホ有資格者ノ本當ニ指導トシテ任用サレル者ノ數ヲ増サナケレバナリマセヌ、之ニ付テハ來年度以降ニ於キマシテ養成計畫ヲ立テテ居リマシテ出來ルダケ近イ將來ニ、全學校ニ必ズ養護指導方在任スルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、今ハ唯養護指導一ツダケノコトヲ御答ヘ致シマシタガ、他ニ學校衛生ノ全般ニ付テ申シマ、先程御舉ゲニナツタ虛弱ナル兒童ニ對スル養護施設モ勿論デアリマスシ、其ノ他モツト廣ク申シテ、學校衛生ノ全般ニ互リマシテ、學校衛生ト云フモノハ從來カラ随分古カラ行ハレテ居ルニ拘ラズ、其ノ實情ハドウモマダ甚ダ不十分デアルト云フコトハ、私共モ御説ノ如ク十分ノヲ認メマス、是ハ其ノコトニ當ツテ居リマシタ吾々ノ力甚ダ及バザル所デゴザイマシテ、恐縮ニ存スルノデゴザイマスガ、事實マダ現狀ハ甚ダ不足不備デアルト存ジマスノデ、今後此ノ方面ニ付キマシテハ一層力ヲ注ギマシテ、此ノ充實強化ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

肝油ノ問題ニ付キマシタハ、肝油ノミナラズ、一般ニ是ト同様ナ營養食品等ニ付キマシテハ、時節柄ドウシテモ總テノモノガ不足勝チニナリマシテ、或ハ又物ガアリマ

シテモ何等カノ事情カラ手ニ入ラナクナルト云フヤウナコトモゴザイマシテ、學校ノ需要ニ對スル供給ガ不十分デアルコトハ免レマセヌ、併シ之ニ付キマシテハ色々ノ原因等モゴザイマスノデ、其ノ都度十分考ヘマシテ必要ナルモノハ努メテ與ヘ得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○竹内委員 只今ノ文部省ノ御説明ハ非常ニ抽象的デ私満足致シマセヌ、例ヘバ明年度ニ於テ斯ウ云フコトヲシタイト云フ何等カノ具體的ナモノガアリマシタラソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ厚生省ニ只今申シマシタ肝油ノコトニ付テノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○小笠原政府委員 先程私ハ申落シマシタガ、來年度以降ニ於テ養護訓導ノ養成計畫ヲ持ツテ居リマスト申上ゲテ、内容ヲ申上ゲマセヌデシタガ、是ハ民間デサウ云フ養成機關ヲ置クト云フコトデナシニ、師範學校等ヘ養護訓導ノ養成機關ト云フモノヲ設置致シマシテ、ソコデ養成ヲ圖ラウト云フノデゴザイマシテ、之ニ要スル經費等モ若干豫算デ認メラレテ居ル次第ゴザイマス
肝油ノコトニ付キマシテハ甚ダ抽象論デアリマシテ、具體的ニドウト云フ計畫ハ今ノ所持ツテ居リマセヌ

○灘尾政府委員 肝油ノ問題ニ付テハ、御話ノ通りニ今日學校方面ニ肝油ヲ原料ト致シマス「ドロップス」トカ、其ノ他ノ物ノ配給ガ十分デアイト云フ事實アラウカト思ヒマス、色々ノ原因ガアラウト思フノデアリマスガ、原料ノ關係等モゴザイマスシ、ソレカラ又特別ノ方面ニ相當供給シテ居ルト云フ事實アラウカト思ヒマス、實ハ此ノ原料ノ問題ニ付キマシテ、只今私共ノ方ト

農林省トノ間ニ色々交渉シテ居リマス、其ノ解決モ遠カラザル内ニ付クモノト思フノデアリマスガ、出來ルダケ適正ニ、且ツ十分ニ配給スルヤウニ努力シテ見タイト存ジマス

○藤生委員 私人文部省關係ノ事項ハ終リマシタカラ、是カラ厚生省關係ノ事項ニ付テ御尋ネ致シマス、大臣ハ御見エニナルモノトバカリ思ツテ居リマシタガ、御見エニナラサウデアリマスカラ、政府委員ガ御答辯ガ出來ルヤウニ御尋ネ致シマスカラ御願ヒ致シマス、先ヅ第一番ニ御尋ネ致シタイトコトハ、政府ハ昨年三月五省共管ノ下ニ綜合武道團體デアル大日本武德會ヲ新タニ結合セラレタノデゴザイマス、是ハ日本武道

振興ノ劃期的ノ新體制デアリマシテ、吾々ハ非常ニ之ヲ歡迎致シタノデアリマス、併シ結合サレテカラ既ニ一年ニモナリマス、此ノ一年ノ間ニ新綜合武道團體タル大日本武德會ハドウ云フコトヲヤツタノデアルカ、其ノ活動ノ具體的ノ内容ニ付テ、勿論是ハ項目的デモ宜シイノデスカラ、一應御説明ヲ承リタイトデアリマス
○武井(群)政府委員 御承知ノヤウニ大日本武德會ハ昨年ノ三月ノ末ニ結合ヲ致シタモノデアリマス、爾來今日マデ一年ニ垂ンシテ居ル譯デアリマスガ、其ノ間ニ於ケル業績ヲ擧ゲヨト云フコトデアリマス、今申スヤウニ、何分ニモ結成日尙淺イコトデアリマスノデ、サウ華々シイコトモヤツテ居ラヌノデアリマスケレドモ、舊武德會時代ヨリ引繼ギマシタ武德祭ト云ヒマスカ、五月ニ開カレマス仕事ヲ致シテ居リマスシ、其ノ機構ヲ改正致シ、陣容ヲ新タニ致シ、而シテ其ノ間ニ於テ、例ヘバ段級審査ト云フ

ヤウナコトモ致シ、今後時局ニ即應シテ武德會ノ行クベキ道ニ付キマシテ、色々ト研究ヲ遂ゲテ遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、一々私モ此處デ細カク業績ヲ擧ゲラレマセヌケレドモ、大體ノ觀察ハ左様ノ通りデアリマス

○藤生委員 厚生次官ハ一々具體的ニ擧ゲラレタイト云フ御話デアリマスガ、ドウデス、其ノ他ノ政府委員ノ方ハ御見エニナツテ居リマセヌカ、サウ云フヤウナ方ハオイデニナツテ居リマセヌカ
○清水委員長 中川説明員ニ此ノ場合答辯ヲ承リタイト思ヒマス
○中川説明員 大體ニ於キマシテ、只今武井次官カラ御答辯申上ゲタ通りデアリマスガ、具體的ニ申上ゲマスト、昨年ノ五月ニ例年京都デ致シテ居リマス武德祭ヲ新シイ理念ニ基キマシテ、新規盛大ニ實施致シタノガ最初ノ事業デアリマシタ、其ノ後内

部組織ノ整備ニ努力ヲ致シマシテ、各道ニ互ル部會ヲ整備致シ、ソレニ伴ヒマシテ直チニ着手致シマシタコトハ、從來ノ武道界ニ於テ之ヲ肅正致シマスル上ニ最モ重要ト考ヘラレマスル稱號、等級等ノ審査ニ付キマシテ、關係方面ト十分ナル協議ヲ致シマシテ、舊臘稱號、等級等ノ審査要綱ノ決定ヲ致シマシタ、其ノ外從來武德會本部ニ於テ行ツテ居リマシタ段級ノ審査ヲ新シキ理念ノ下ニ實施致シ、又其ノ出張審査ノ際ニハ、中央カラ指導者ガ出テ參リマシテ、審査スル傍ラ各種ノ指導ヲ實施致シタ譯デアリマス、其ノ外滿洲建國十周年ノ慶祝日滿交換武道大會ニ武道ノ選手ヲ派遣致シマシタ、是モ武德會ノ事業トシテ慶祝ノ事業ニ協力ヲ致シテ派遣致シタ次第デアリマ

ス、具體的ニ申上ゲマスト、更ニ雜誌「武德」ヲ從來ノ武德會カラ繼承致シ、之ニ指導的ノ内容ヲ盛り込シテ發行致シテ居ル程度デゴザイマシテ、マダサウ大キナ活動ノ實施ハ致シテ居リマセヌ、是ハ第一年度ト致シマシテ内部組織ニドウシテモ重點ガ置カレタト云フ理由ニ基キマシテ已ムヲ得ナイコトカト存ジテ居リマス

○藤生委員 私共ハ大日本武德會ガ畏クモ皇族宮殿下ヲ總裁ニ奉戴シ、内閣總理大臣ガ會長、陸海軍、文部、厚生、内務五省ノ大臣ガソレノ副會長、民間カラハ學識經驗者トシテ奈良大將ヲ副會長トシテ、所謂官民一致ノ空前豪華ナル陣容、大キナ機構ノ下ニ此ノ大日本武德會ト云フモノハ結合サレタ、デアリマスカラ、此ノ大キナ機構、陣容ヲ見マシテ、私共ハ日頃多年念願シテ已マナカツタ武道振興ノ諸問題、諸方策ハドシノ解決サレテ行クモノト實ハ御期待申上ゲテ居ツタノデアリマス、然ルニ只今ノ御説明ヲ承リマスト、ドウモ武德祭ノ大會デアルトカ、或ハ段級制度ガドウノ斯ウ

ト云フヤウナ、是ハト云フヤウナ、此ノ機構陣容ニ相應シイ仕事デアルト思ハレルヤウナ、満足スベキ活動内容ヲ少シモ聽クコトガ出來ナカツタコトハ、私ハ實ハ期待外レノ感ガ致スノデアリマス、東條總理大臣ハ戦力増強ノ爲ニハ精神力ダト云ツテ居ラレル、又物動ノ大本山デアアル企畫院總裁

デサヘモ武士道精神ノ昂揚ガ必要デアルト云フコトヲ力説強調サレテ居ラレル、然ルニ武士道精神總動員ノ大本山トモ言フベキ大日本武德會ガ、斯ウ云フ一日モ急イデ決戰ヲシナケレバナラヌヤウナ時ニ、唯機構或ハ段取りニノミ没頭シテ、本格的ノ活動

ニハ、中央カラ指導者ガ出テ參リマシテ、審査スル傍ラ各種ノ指導ヲ實施致シタ譯デアリマス、其ノ外滿洲建國十周年ノ慶祝日滿交換武道大會ニ武道ノ選手ヲ派遣致シマシタ、是モ武德會ノ事業トシテ慶祝ノ事業ニ協力ヲ致シテ派遣致シタ次第デアリマ

ヲマダ展開シテ居ナイト云フコトハ洵ニ遺憾アリマス、只今ノ説明モアリマシタガ、具體的ノ内容ト云フモノハ皆舊武徳會ガヤツテ居ツタ仕事バカリデアル、ソレカラ一步モ出テ居ナイ、聞ク所ニ依ルトハ、京都武道專門學校ハ校長ガ罷メテカラ一年ニナルケレドモ、未ダ其ノ後任校長ガ決定シテ居ナイト云フコトデアリマス、生徒達ハ武徳會ノ本部ガ今度東京ニ移ツタカラ、此ノ京都ノ武道專門學校モ或ハ解散ニナルノデハナカラウカ、或ハ又東京ニ移轉サレルノデハナカラウカト云フヤウナ種々不安ヲ持ツテ非常ニ動搖シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、是カラ武道教育ノ第一線ニ立ツテ活動シヨウト云フ生徒達ヲシテ校長ノナイ學校ヲ卒業サセルト云フヤウナコトハ甚ダ遺憾ニ私ハ考ヘル、武道振興問題ニ對シテ吾々ノ期待ニ反シテ、當局ニハドウモ熱意ガナイノデハナイカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、大體ナゼ從來ノ

高ナル日本武道ノ進歩發展ヲ期スル爲ニハ、先ヅ斯フ云ウ誤解ナリ、偏見ナリヲ是正一洗シテ、官民ガ武道ニ對スル理解ヲ愈益深メルコトガ何ト云ツテモ先決要件デアルト考ヘルノデアリマス、ソコデ厚生大臣ニ御聽キシタイノデスガ、今日ハ大臣御出席ニナラスサウデアリマスカラ、次官カラ御傳ヘテ願ヒタイト思ヒマスガ、武道ニ對スル大臣ノ根本的信念、即チ武道觀、ドウ云フ武道觀ヲ持ツテ居ラレルカ、更ニ日本武道ヲ指導シテ行く根本の方針ハドウカト云フコトニ付テ、大臣ガ御出席ノ時ニ承リタイト思ヒマスカラ、此ノ點次官カラ御傳ヘ置キテ願ヒマス

大キイノデアリマス、隨テ此ノ武徳會ニ大イニ働イテ貫ハウト云フ熱意ヲ持ツテ居リマス、重ネテ申上ゲマスガ、政府トシテハ、御話ノヤウナ武道ト云フモノニ對スル偏見ハ何等持ツテ居リマセス、又國民ト致シマシテモ今日此ノ際武道ニ對シテ偏見ヲ持ツテ居ル者ハナカラウト思ツテ居リマス、隨テ益々武道ニ付テハ振興セラルベキモノト私共ハ確信シテ居リマス、ソコデ御尋ネデアリマスルガ、武道ト體育トヲドウ按配シテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ色々難カシイ意味ガ含マレテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、唯ソレダケノコトニ付テ御答へ申上ゲマスレバ、政府ト致シマシテハ兩方トモ並行シテ進ンデ行くベキモノト思ツテ居リマス、所謂體育ニモ武道ノ精神ガ入ラナケレバナラヌト思ツテ居リマス、又從來ノ武道ト云ハレルモノモ、今日ノ時局ニ即應致シマシテ體育ト云フ部面ヲ十分採り入レナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、隨テ政府ニ於キマシテハ從來唱ヘラレテ居リマスル體育ト云フ意味合ニ於テモ、又從來唱ヘラレテ居ル武道ト云フモノニ付キマシテモ、兩方トモ一方ニ偏スルコトナシニ盛ンニ致シタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ只今武道ト體育運動トニ付テノ私ノ質疑ニ對シテ、厚生省ハ武道ニ對スル偏見モ何モ持ツテ居ナイ、ソレカラ體育ト武道ト云フモノハ一方ニ偏シナイデ、兩々相俟ツテ是ハ獎勵シテ行くノダト云フ御答ヘデアリマシタ、サウスルト武道モ體育運動モトツチモ國民ヲ鍊成スル爲ニ必要デアルカラシテ、兩方トモ大イニ獎勵シテ行く、洵ニ結構デアリマスガ、併シナガラ今ノ次官ノ御答辯ヲ別ナ言葉デ言ヒ現ハシテ見ルト、是ハ丁度外米ト日本米ノ話ニ當嵌マルカト思ヒマス、即チ外米モ日本米モ國民生活ヲ維持向上シテ行く上ニ於テハ必要ナモノデアルカラ、外米モ日本米モ半々ニシテ食ハシテ行くノダト云フ議論ニ解釋出來ルト思ヒマス、私共ハ日本米ガナイ場合ハ、ソレハ外米ヲ食ハセルコトモ大イニ必要デアリマスガ、併シ日本米ガアルノニ外米ト半々ニシテ食ハセルト云フコトハ、是ハ滋養ノ面カラ云ツテモ、又嗜好ノ面カラ云ツテモ國民ハ迷惑スルノデハナイカト私ハ考ヘマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ私ハ武道ト體育運動トハ自ラソコニ獎勵上先後緩急ノ度ガナケレバナラヌ、山鹿素行先生ハ本朝武ヲ以テ先トナスト云ハレタ、武道ハ第一義ニ獎勵シテ、其ノ足ラザル所ヲ補フ意味ニ於テ體育運動ト云フモノハ獎勵スベキデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、モウ一遍此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイ、私ハ兩方トモ大イニ獎勵スルト云フコトデアリマスガ、併シ大イニ獎勵スルト云フ中ニモ私ハドチラガ先カト云ヘバ、武道ヲ第一ニ獎勵スベキデハナイカト、斯ウ云フ意味デ御尋ネスルノデアリマスガ、之ニ對シ御意見ヲ承リタイ

日本武道ガ、モツト高ク評價サル、ベクシテ評價サレズ、振興サルベクシテ振興サレナカツタカト云フト、是ハ厚生省ニ限ツタコトデアリマセスガ、從來政府ノ指導的立場ニ居ラレル人々ニ武道ニ對スル一種ノ固陋ナル偏見ガアリ、隨テ熱意ヲ缺クモノガアツタカラデハナイカト私ハ思フノデアリマス、吉田松蔭先生モ言ハレマシタヤウニ武道ト云ヘバ、唯劍戟矛槍ノ技術ノミヲ考ヘ、兵法ト云ヘバ、權謀術數ヲ專ラニスル封建的弊風デアアルカノ如キ誤解ヲ政府デハ持ツテ居ラレルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ私ハ是カラ尙ホ幾多ノ事項ニ付テ質疑應答ヲ重ネテ行く上ニ於キマシテ非常ニ大事ナ問題ダト思ヒマスカラ、私ハ嚴肅崇

○武井(群)政府委員 前段御希望ノ點ニ付テハ了承致シマシタ、唯附加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、昨年國民體力法委員會ノ際ニ於キマシテ、藤生委員カラ御尋ネガアリ、當時厚生大臣ヨリ色々信念並ニ政府ノ指導方針等ニ付テハ申上ゲテアリマス、ソレダケノコトヲ一應申上ゲテ置キマスガ、恐ラク大臣ト致シマシテハ、其ノ後ノ思想ニ付テモ變化ハナイカト思ツテ居リマス

○藤生委員 次官カラ大臣ノ武道觀如何ト云フコトニ付テ私ガ御尋ネシタコトニ對シテ、其ノコトニ付テハ前ノ體力法委員會ニ於テ既ニ答辯シテ居ルノダ、成程ソレモ私記憶シテ居リマス、居リマスガ、更ニ私ガ此ノ問題ニ付テ敢テ再ビ大臣ノ武道觀ヲ質スノハ質ス理由ガアルノデアリマス、其ノコトニ付テハ何レ大臣ノ御出席ノ場合改メテ私ノ意見ヲ申述ベマス

ソレカラ只今武道ト體育運動トニ付テノ私ノ質疑ニ對シテ、厚生省ハ武道ニ對スル偏見モ何モ持ツテ居ナイ、ソレカラ體育ト武道ト云フモノハ一方ニ偏シナイデ、兩々相俟ツテ是ハ獎勵シテ行くノダト云フ御答ヘデアリマシタ、サウスルト武道モ體育運動モトツチモ國民ヲ鍊成スル爲ニ必要デアルカラシテ、兩方トモ大イニ獎勵シテ行く、洵ニ結構デアリマスガ、併シナガラ今ノ次官ノ御答辯ヲ別ナ言葉デ言ヒ現ハシテ見ルト、是ハ丁度外米ト日本米ノ話ニ當嵌マルカト思ヒマス、即チ外米モ日本米モ國民生活ヲ維持向上シテ行く上ニ於テハ必要ナモノデアルカラ、外米モ日本米モ半々ニシテ食ハシテ行くノダト云フ議論ニ解釋出來ルト思ヒマス、私共ハ日本米ガナイ場合ハ、ソレハ外米ヲ食ハセルコトモ大イニ必要デアリマスガ、併シ日本米ガアルノニ外米ト半々ニシテ食ハセルト云フコトハ、是ハ滋養ノ面カラ云ツテモ、又嗜好ノ面カラ云ツテモ國民ハ迷惑スルノデハナイカト私ハ考ヘマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ私ハ武道ト體育運動トハ自ラソコニ獎勵上先後緩急ノ度ガナケレバナラヌ、山鹿素行先生ハ本朝武ヲ以テ先トナスト云ハレタ、武道ハ第一義ニ獎勵シテ、其ノ足ラザル所ヲ補フ意味ニ於テ體育運動ト云フモノハ獎勵スベキデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、モウ一遍此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイ、私ハ兩方トモ大イニ獎勵スルト云フコトデアリマスガ、併シ大イニ獎勵スルト云フ中ニモ私ハドチラガ先カト云ヘバ、武道ヲ第一ニ獎勵スベキデハナイカト、斯ウ云フ意味デ御尋ネスルノデアリマスガ、之ニ對シ御意見ヲ承リタイ

○武井(群)政府委員 抑、武道ト云フコトト、體育運動ト云フコトノ意義ガハツキリシナケレバ、此ノ御話ハ何遍問答致シテ居リマシテモ、私ハ結論ニ到達シナイ問題ダラウト思ツテ居リマス、ソコデ私ハ今申上ダマシタ時ニハ從來ノ所謂武道、所謂體育運動ト云フ言葉ヲ使ツテ申上ダタノデアリマシテ、根本ノ武道トカ、體育ト云フモノノ定義トカ、意義ト云フコトニ對シテハ觸レナカッタノデアリマス、然ル所只今之ヲ外米ト日本米トニ譬ヘラレタノデアリマスガ、私共ハ別ニ體育運動ヲ外米デアルトハ見テ居リマセヌ、併シナガラサレバト言ツテ、武道ガ後デ宜シイト云フヤウナ考ヘテ持ツテ居ルノデハナイノデアリマシテ、武道ハ申スマデモナク、日本古來ノ國體ノ精神ニ則ツタモノデアリマスノデ、此ノ武道ヲ第一ニ獎勵スベキモノト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ當然デアリマシテ、別ニ疑ヒヲ披ム餘地ハナイカト考ヘテ居リマス

○藤生委員 只今ノ御答辯ニ對シテ私ハ非常ニ満足致シマス、併シ唯一言申上ダテ置カネバナラスコトハ、體育ヲ外米ト思ツテ居ナイ、斯ウ云フ風ニ仰セニナリマシタガ、然ラバ其ノ體育トハ何かト云フヤウコトヲヤハリ是ハ今次官ノ御言葉ノヤウニ明カニシテ行カケレバナラスノデハナイカ、私ハ體育ト云フノハ心育ニ對スル言葉デアリ、内容デアツテ、體育ヲ以テ知育ナリ、德育ナリト考ヘル人ハナカラウト思フ、勿論第二義、第三義ノ廣義ノ意義ニ於キマシテハ、サウ云フ知育トカ、德育トカ云フ風ナ意味モアルニハ違ヒナイノデアリマス、我が國ニ於ケル斯界ノ權威者デアル吉田章信博士、乙竹博士或ハ外國ノ「フンク」「フエジ

ナリ」「モンロー」哲學博士等ガ百科辭典ノ中ニ書イテ居ル所ノ内容ニ依ルト、體育トハ「フィジカル・エジケーション」即チ身體ノ強健ヲ第一ノ目的トスルノガ、其ノ第一義デアル、斯ウ言ツテ居ラレルノデアリマス、ソレカラ「スポーツ」ノコトヲ私ハ論ジナケレバナラスガ「スポーツ」ハ慰ミ、休養、慰安デアツタノデアリマスガ、ソレガ遂ニ興味ヲ追求スル爲ニ行フ所ノ諸種ノ運動デアルト解釋セラルルヤウニナツタノデアリマス、ダカラ近代人ノ常識トシテハ「スポーツ」モ體育ニ役立つ場合ハ、之ヲ體育運動デアルト解釋スルヤウニナツタノデアリマス、隨テ今日ノ所謂體育運動ノ内容ニハ、今申上ダマシタヤウナ興味ヲ追求スル「スポーツ」性ヲ多分ニ含シテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ「スポーツ」性ヲ多分ニ含シテ居ルト云フ意味ニ於テ、體育運動ト云フモノヲ實ハ外米ニ譬ヘタ譯デアリマス、ソレデ只今次官ノ御言葉デハ、勿論武道ヲ第一ニ獎勵スルコトハ議論ノ餘地ハナイノデハナイカ、體育ヨリ武道ヲ獎勵スルコトハ勿論デアルト云フ風ナ力強イ御言葉ヲ戴イタノデアリマシテ、私ハ之ニ對シテ非常ニ満足ヲスルノデアリマス

然ラバ私ハソレニ對シテ御尋ネシナケレバナラスノデアリマスガ、力強イ御言葉デ、次官ハ武道ヲ勿論第一ニ獎勵スル、所ガ實際ハ武道ト云フモノハ體育運動ト對等的ニ同ジ水準ニ、或ハ其ノ水準以下ニ取扱ハレテ居ル幾多ノ事實ガアルノデアリマス、私ハ煩ヲ厭ハナイデ、其ノ事實ヲ一ツ舉ゲテ見マセウ、第一大日本武徳會ノ規則ヲ見ルト、大日本學徒體育振興會ヲ其ノ内部組織ト致シテ居リマスガ、其ノ大日本學徒體育

振興會ノ實際ノ仕事ハ何ヤルカト云フト、「各學校ノ武道ニ關スル事項ヲ管掌ス」トアリマス、此ノ學徒ノ武道ヲ管掌スル團體、内容ハ武道デアアル、併シナガラ其ノ團體ノ名前ハ體育デアアル、斯ウ云フノニ、次官ハ體育運動ヨリモ武道ヲ優先的ニ獎勵スルノダト云フ言葉デアリマシタガ、其ノ優先的ニ指導シ實施シナケレバナラス所ノ武道ヲ體育ノ名ニ於テ取扱ツテ居ルノデアリマス、事實ハ次官ノ御言葉ト違フヤウニ私ハ考ヘマス、又武道教師ノ養成機關トシテハ政府ニハタツタニツシカナイガ、其ノタツタニツシカナイ高等師範學校ノ武道モ是ハ體育科デアリマスガ、體育部デアリマスガ、兎ニ角體育ノ名ノ下ニ包容サレテ居ルノデアリマス、東京體育專門學校モ其ノ通り、體育ノ名ノ下ニ武道ト云フモノハ包容サレテ居ルノデアリマス、更ニ私共ハ折角七十三議會ニ於テ決議案ヲ出シテ作ツタ厚生省ノ武道振興委員會ノ如キモ、是ハ發展の解消デアツタカモ知レマセヌガ、國民體力法審議會ノ中ニ其ノ一部トシテ存在サセラレテ居ルヤウナ状態デアリマス、文部省ニ於キマシテモ文部省ノ武道教育ト云フモノハ、體育局ト云フ名ノ中ニ於テ指導監督サレテ居ル、ソレカラ又議會ニ於テ私共ガ要求シタ武道督學官ト云フヤウナモノモ、武道官デアハナク、體育官ト云フヤウナ名ニ依ツテ實現致居シテ居ルノデアリマス、ソレカラ更ニ此ノ前何時デアリマシタカ、體育功勞賞ト云フモノガアツタ、武道ニ貢獻シタ所ノ柔道ノ方ノ磯貝範士、劍道ノ方ノ高野範士、是等ノ人モ表彰サレタノデアリマスガ、其ノ表彰ノ名目ハ武道功勞者デアハナクテ體育功勞者、即チ體育ノ名ニ依ツテ

表彰サレタ、中等學校ノ武道教師ノ如キモ、體操科教師トシテ取扱ハレテ居ルト云フ風ニナツテ居ル、斯ウ云フ例ヲ舉ゲレバ澤山アル、要スルニ武道ハ斯ウ云フ風ニ體育ノ名ノ下ニ於テ取扱ハレテ居ルト云フコトハ武道ガ正ニ體育ノ一種トシテ、或ハ體育以下ニ取扱ハレテ居ルノデハナイカト思フノデス、サウシテ見ルト只今ノ次官ノ、勿論體育運動ヨリモ武道ヲ盛ニスルト云フコトハ當リ前デアルト云フ御言葉ト、實際トハ違フデハナイカト思フノデス、政府ハ次官ノ言葉如何ニ拘ラズ、武道ヲ體育運動以下ニ取扱フ、少クとも武道ト體育トヲ混同シ、對等視シテ居ルノデアリマス、現ニ先般ノ議會ニ於キマシテモ是ハ其ノ時ニモ申上ダタノデアリマスガ、私ガ「スポーツ」ニ對シテ色々論評シタニ對シテ、其ノ時ノ次官デシタカ、人口局長ハ、「スポーツ」ヲ厚生省ハ大イニ獎勵スルノダト云ツテ私ノ論旨ニ對シテ一矢ヲ報イルト云フヤウナ態度ヲ執ラレタコトモ、私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、私共ハ御承知ノヤウニ全國的ニ壯丁ノ鍊成強化ヲ圖ツテ、壯丁訓練武大會ノ名ニ於テ全國府縣ニ此ノ運動ヲヤツテ居ル、此ノ運動ハ所謂「スポーツ」的ノ運動トカ、或ハ體育的ノ運動トカ云フヤウナモノヲ成ベクヤラナイデ、實戰的ノ武道ト云フモノヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、所ガ或ル縣デ其處ノ體育主事ガ此ノ實戰的武道デアアル壯丁訓練武大會ノ選手ノ前デ、女學生ノ體操ヲヤラセテ見セタ、デアルカラ私ハ怪シカラス、此ノ武大會ニ於テサウ云フ女學生ノ體操ヲ見學サセルト云フコトハ本大會ノ精神ニ反スル、斯ウ言ツタ、所ガ此ノ體育主事ガ昂然トシテ私ニ反駁シテ來

テ、只今次官ガ御述べニナツタヤウニ、體操デモ、體育デモ武道精神デ、武道トシテ取扱フナラ一向差支ヘナイト私ハ思フト云フ風ナ態度デ私ニ食ツテ掛ツテ來タ、ガカラ私ハ其ノ誤リヲ是正シタノデスガ、動モスルトサウ云フ間違ヒヲ起スノデス、體育ヲ武道トシテ取扱フナラ一向差支ヘナイデヤナイカト云フ風ナ意向ヲ動モスルト持チタガルノデアリマスカラ、私ハ武道振興委員會ニ於テモ其ノ點ヲ指摘シタ、政府ガサウ云フ誤リニ陷ツテ居ル、ソレデ私ハ其ノ誤リヲ指摘シテ、武道ト云フモノハ此ノ規則ニ書イテアルヤウニ必死ノ態勢、即チ命ノヤリ取り、相手ヲ殺スカ自分ガ殺サレルカ、生カ死カ、生死ヲ一瞬ノ間ニ決スル武術デアルト云フトガ、吾々ガ武道ヲ定義スル場合ニ於テハ絕對必須ノ條件デアルノデアリマス、然ルニ體操トカ、體育運動ト云フヤウナモノニハ命ヲヤリ取りスル技術ガナイ、デアリマスカラ體操ヲ武道精神ヲ持ツテヤツテモ、是ハ武道トシテ吾々ハ認メル譯ニハ行カヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ考ヘ、斯ウ云フヤウナ間違ヒハ獨リ其ノ縣ノ體育主事バカリデハナイ、全國ノ體育主事ハ斯ウ云フ風ナ意見ヲ持ツテ居ルデヤナイカ、ト云フノハ動モスルト御本家デアル厚生省アタリニ於テヤハリサウ云フヤウナ意見ヲ持ツテ居ラレカデハナイカ、ソレハ體育運動ハ大ニ獎勵スル、併シ武道トシテ獎勵スルコトハ絕對ニ出來ナイ性質ヲ持ツテ居ル、ソレデ武道ト體育運動ト云フモノハ本質的ニ斯ウ云フ風ニ違ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ヲ間違ヒナイヤウニシテ戴キタイ、併シ政府ノ御言葉デハ、武道ヲ第一ニ獎勵スルト云フ非常ニ力強イ

御言葉デアツテ、私ハ非常ニ満足ニ思ヒマスガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、其ノ第一ニ獎勵スベキ武道ガ、體育ノ名ニ於テ體育ノ一部、體育以下ニ取扱ハレテ居ル實情ニアルノデアリマス、殊ニ本年度ノ豫算ヲ見マシテモ、武道ヲ第一ニ獎勵スルト仰シヤツテ居ルケレドモ、其ノ體育運動トノ獎勵ノ比率ヲ見マス、大日本體育會ト武德會ハ年額各、四十萬圓、體育ヨリ武道ヲ獎勵スルト言フガ、金額ニ於テ同ジ四十萬圓、ソコデ御言葉ハサウデアリマシテモ、實際ハサウデナイデヤナイカト考ヘラレルノデアリマス、ソコデ御尋ネ致シマスガ、武道ハヤハリ武道ノ名ニ於テ致スベキモノデアツテ、斷ジテ體育ノ名ニ於テ、其ノ一部デアルカノ如キ形ニ於テ取扱ハルベキモノデハナイト思フノデス、ソレデ是ハ厚生次官ニハ少シ無理ナ御質問カモ分リマセヌガ、先程私ガ列舉シマシタ體育ノ名ニ於テ武道ガ取扱ハレテ居ルト云フ事實ニ對シテ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、實ハ私ハ是ハ是正シテ貴ヒタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル、之ニ對シテ厚生次官ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

テ同額ニシタト云フコトハ、政府ガ如何ニ武道ノ振興ヲ重要視シテ居ルカト云フトハ私ハ現實ニ物語ツタモノト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ藤生委員モ諒承シテ下サルコトト思ヒマス、ソレカラ念ノ爲ニ申上ゲマスガ、私ハ決シテ體育ヲ武道トシテヤラウトカ、體育ハ武道ナリト云フコトヲ申シテ居ルノデハナイノデアリマシテ、武道ハ大切デアアルケレドモ、所謂體育運動モ武道ノ精神ヲ採リ入レテヤラナケレバイケナイト云フコトヲ申シタノデアリマシテ、私ハ何デモ武道ノ名ニ於テヤリサヘスレバ宜イト云フコトハ申シテ居リマセヌカラ、其ノ點念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、而シテ御尋ネニナリマシタ各種ノ文字等ニ於テ、色々混淆シテ居ル點ガアルカラ此ノ是正ニ付テハドウカト云フコトデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ理論通りニ參ラス點ガアルト云フコトハ御承知置キテ願ヒタイト思ヒマス、現ニ厚生省ニ於キマシテモ十七年度ニ於テ武道專門ノ體育官吏ノ高等官ヲ新シク官制ニ於テ定メルコトニナリマシタガ、其ノ時ニモ事務當局トシテハ武道官ト云フ名前ヲ付ケタイ希望ヲ熱烈ニ持ツテ居ッタノデアリマスカレドモ、政府ノ政治ノ上カラ行キマシテ、サウ幾ツカノ官名ヲ設ケルコトハ宜シクアルマイト云フノデ、ヤハリ體育官ト云フ名前ニナツテ居ルノデアリマス、必ズシモ學問的ニ又理論的ニ政府ノ施設ノ名稱マデガ參リ兼ネルト云フコトハ藤生議員ハ能ク御諒承下サルコトト思ヒマス、而シテ官名等ガ如何様ニナリマシテモ、此ノ爲ニ武道尊重ト云フ精神ガ汚損サレルヤウナコトハナカラウト信ジテ居リマス、萬一アリマスカラ、ソレハ根

本ノ問題トシテ考ヘナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス

○藤生委員 政府ハ武道ヲ體育運動ヨリモ優先的ニ獎勵シテ居ルノダ、其ノ證據ニハ大日本武德會ニ對スル獎勵金ハ、過去ニ於テ八十萬圓デアツタガ、今度ハ四十萬圓ニシタデヤナイカト言ハレマスガ、ソレハ其ノ通りデ、私モ能ク存ジテ居リマス、併シ私ハ大日本武德會ノ過去ト現在ニ於テ申上ゲテ居ルノデハナクシテ、大日本體育會ト、大日本武德會ノ獎勵金ガ四十萬圓デアルト云フ點カラ見レバ、武道ヲ優先的ニ獎勵シテ居ル形ニナツテ居ラスデハナイカト云フコトヲ御尋ネ申上ゲタノデアリマス、併シ次官ノ御話ノ通り四十萬圓ヲ四十萬圓ニシタノダト云フ御努力ニ對シテハ之ヲ多ト致シマス、併シナガラ四十萬圓ニシテモ、體育運動ノ方ノ四十萬圓ト同額デアツテハイカヌデハナイカ、此ノ點ニ付テハ更ニ御努力ヲ御願ヒ致シマス

ソレカラ體育ノ名ニ於テ武道ガ取扱ハレテ居ルコトヲ直チニ解決出來ナイコトヲ君ハ諒承シテ居ル筈ダト云フ風ナコトヲ御述べニナリマシタガ、諒承ハシテ居ル、諒承シテ居ル、ソレハ政府ノ役人ノ中ニ武道ト云フモノヲ唯劍戟矛槍、權謀術數的ノ所謂封建的ノ遺風デアアルカノ如キ誤解ヲ持ツテ居ル人ガアル、私ハサウ云フ意味ニ於テナラ諒承シテ居リマスカレドモ、外ノ意味ニ於テ武道ヲ體育トシテ取扱ツテ居ルコトヲ是正出來ナイト云フ事情ハ諒承シテ居リマセヌ、ソレカラ今體育官ノ問題ガ出マシタガ、體育官ノ待遇ヲ高等官ニシタノダト云ハレル、ソレハ洵ニ有難イコトデアリマスガ、高等官ト云ツテモピンカラ切りマデア

ル、體育官ノ高等官ハ何等ニナツテ居リマスカ

○武井(群)政府委員 官制ノ示ス所ニ依ツテ奏任官デアリマス

○藤生委員 次ニ御尋ネ致シタイコトハ、先程申シマシタ武道綜合團體デアル大日本武徳會、是ハ皇族殿下ヲ其ノ總裁ニ奉戴シ、會長ニハ内閣總理大臣、副會長ニハ五省ノ大臣ト云ツタ工合ニ所謂官民一致ノ非常ニ大キナ陣容、大ナ機構ノ下ニ誕生シタコトヲ私ハ非常ニ歡迎シ、祝福シテ居ツタデアリマス、所ガ武徳會方面ノ様子ヲ聞イテ見ルト、私ノ喜ビニ反シテ武徳會ニ對シテ種々芳シカラヌ批評ヲシタリ、或ハ反對的ノ不滿ヲ洩ス者ガ多イデアリマシテ、實ハ私ハ此ノ大日本武徳會ガ折角生キノトシテ生レタノニ對シテ其ノ不評ヲ聞イテ驚イテ居ル、現ニ大日本武徳會ナルモノニ相手ニナラヌカラ、柔道ハ柔道大日本柔道會ヲ作り、劍道ハ劍道大日本劍道會ヲ作ツテドシ、ヤツテ行カウヂヤナイカト云フ穩カナラヌ言葉ヲ洩ス、且又ソレニ動イテ居ル方面モアルノデアツテ、是ハ大日本武徳會ニ對シテ人心ガ離反シテ居ルノデハナイカトサヘ、考ヘラレノデアリマス、折角誕生シタ大日本武徳會ノ前途ニ一抹ノ不安暗影ヲ投ゼラレルヤウナ氣持ガアリマスノデ、斯ウ云フモノハ誤解ガアルナラバ速カニ是正シナケレバナラスト思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ第一ニ御尋ネ致シタイコトハ、大日本武徳會ハ新ナル團體デアルカ、或ハ舊武徳會ノ延長ノ團體デアルカト云フコトニ付テ御當局ノ御意見ヲ承ハリタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 御尋ネノ點ハ法律上ハ同一人格ノ繼續デアルト思ヒマスガ、實質ニ

於キマシテハ新タニ結成サレタ團體デアルト解釋致シテ居リマス、是ハ色々沿革等モアリマスノデ、又結成ヲ急グト云フヤウナ事情モアリ、諸般ノ事情カラス様ニ致シタノデアリマス、併シナガラ昨年ノ三月末ニ此ノコトヲハツキリスル爲ニ新タニ結成ノ式等ヲ舉ゲ、長クモ令旨ヲ賜ツタヤウナ次第デアリマス

○藤生委員 實質上ハ新タナ團體デアル、私モサウ思フノデス、大日本武徳會ハ新團體デナクテハナラナイ、恐ラク舊武徳會ノ幹部ノ人ヲ除クノ外、武徳會ヲ舉ゲテ、全部新團體デアルコトヲ期待致シテ居ツタノデアリマス、此ノ新團體デナクテハナラナイト云フコトハ、審議會ノ答申ノ内容ヲ見テモ結成式場ノ奈良大將ノ經過報告ノ内容ニ照シテ考ヘテ見テモ舊武徳會ノ財團法人ガ解散サレテ、新タナ財團法人トシテ其ノ申請ガアツテ、ソレニ認可ガアツタト云フヤウナ事實ニ照シテ考ヘテ見マシテモ、武徳會ト云フモノハ正シク新ナル團體デナケレバナラスト考ヘル、併シナガラ寧ろ新タナ團體デアルトスレバ、今次官ノ御言葉ノヤウニ結成式場ニ於テハ宮様モ台臨遊バサレタ、斯ウ御説明ニナツテ居リマスガ、私ハ新タナ團體デアラバ必ズ總裁官殿下ノ奉戴式ガ行ハレナクテハナラナイト思ヒマス、其ノ奉戴式ガ行ハセラレタヤウニマダ聞イテ居リマセヌ、ソレカラ舊武徳會ノ唯一ノ行事デアツタ武徳祭大會ハ本部ガ東京ニ新武徳會トシテ設置サレタニモ拘ハラズ、其ノ武徳祭大會ガ依然トシテ京都ニ於テ行ハレタト云フ事實、ソレカラ又新シイ團體ナラバ、何モ舊團體ト同ジヤウナ大日本武徳會ト云フ名前ヲ使ハナクテモ宜ササ

ウニ思フガ、然ルニモ拘ラズ、同ジ大日本武徳會ト云フ名前ヲ使ハレタ、更ニ舊武徳會ノ財産ハ是ハ不動産トシテ全部今度ノ新シイ團體ノ名前ニ書換ヘラレルヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ肝腎ノ動産資金デアアル六十萬圓ノ金ハ一出張所ノ過ギナイ京都ニ保管サレテ居ル、其ノ出張所ノ幹部ガ保管シテ居ツテ、本部ノ理事長デサヘ之ヲ自由ニスルコトガ出來ナイト云フ事情ニ相成ツテ居ルヤウニ聞イテ居マス、又現ニ舊武徳會幹部ハ武徳會關係者ニ、今度ノ團體ハ新シイ團體デハナインダ、アレハ舊武徳會ノ延長ダト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ舊武徳會ノ段位稱號ヲ其ノ儘新武徳會ガ認メタ、是等ノ事實ヲ綜合シテ考ヘマス、新團體ト云フモノハ名ノミデアツテ、其ノ實質、實權ハ依然トシテ舊武徳會ニアルモノノヤウニ誤解サレル、此ノ誤解カラ大日本武徳會ト云フモノハ新團體デアルカ、舊團體ノ延長デア

ルカト云フヤウナ疑問ガ生ジテ來ルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テ明快ナル御説明ヲ承リタイノデアリマス
○武井(群)政府委員 先程抽象的ニ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、具體的ニ、ナゼ奉戴式ヲ舉ゲナイカトカ、其ノ外二三ノ點ニ付テ御質問ガアツタノデアリマスガ、奉戴式ヲ舉ゲナカツタ理由ニ付テハ、私ハ此ノ席申上ゲルコトヲ御遠慮致シマス、先程申上ゲタヤウニ、舊武徳會ハ創立以後相當ノ年月ヲ經テ居リ、其ノ間ニ於テ兎モ角モ武徳ノ振興ニ付キマシテハ相當ノ功績ヲ擧ゲタモノト思ヒマス、而シテ又此ノ團體ヲ作ツテカラ今日マデノ間ニ於キマシテハ、有體ニ申セバ、官ノ援助ト云フモノハ少シモ受ケズシ

テ、總テ是ハ民ノヤツタモノデアリマス、ソレ等ノ多年ニ互ル功績ノアル團體ガ、茲ニ時局ニ即應シテ更始一新シタ譯デアリマス、而シテ出來上リマシタノハ、三月ノ末ニ儀式ヲ擧ゲタト云フ譯デアリマス、恒例ノ武徳祭ハ九月ニアルト云フ狀況デアリマス、新團體ニナリマシテモ、從來ノモノヲ直チニ掌ヲ返ス如ク皆改メルト云フヤウナコトハ中々難シイト云フ事情ハ、是ハ多年武道ニ蘊蓄ヲ持ツテ居ラレル藤生議員ハ能ク御承知ダト思フノデアリマス、ソレ故ニ文字トカ、或ハ色々ノコトニ付キマシテ今御指摘ノヤウナコトハ私共能ク存ジマセヌガ、財産等ニ付キマシテモ疑問ノ點モアルカモ知レマセヌケレドモ、實ハ政府ト致シマシテハ、此ノ新シイ團體ヲ飽クマデモ日本ニ於ケル武道振興ノ唯一最高ノ機關トシテ育成スベキモノト考ヘテ居リマス、隨テ之ニ關係スル人達モ其ノ政府ノ方針ヲ體シテ、總裁殿下ヲ奉戴シ、サウシテ令旨ノ御趣旨ヲ奉戴シテ、専心武徳ノ振興ニ當ルベキモノト私ハ思ヒマス、而シテ全國ノ武道家モ斯様ニ考ヘテ居ルコトト思フノデアリマシテ、此ノ際ニ色々ト議論モアリマセウ、疑ヒモアリマセウガ、私ハ左様ナ議論トカ、疑ヒトカ云フコトハ出來ルダケ一掃シテ、大同團結シテ只管ニ日本武徳ノ振興ニ當ルト云フコトガ最モ大事ナコトデアリマシテ、願ハクバ左様ナ方面ニ御指導ヲ御願ヒ致シタク存ジマス

○藤生委員 私モ次官ノ仰シヤル通りニ議論ハシタクナイノデス、私ハ強イテ好シクシテ議論シテ居ルノデハナイノデアリマス、サウ云フヤウナコトガ武道界ニ於テ頻リニ問題ニナツテ居ル、其ノ問題ニナツテ居ル

コトガ、總理大臣が言ハレルヤウナ官民一
致協力ガ出來ナイヤウナ事情ニナツテ居
ル、ダカラ此ノ障碍ヲ除去シテ行カナクテ
ハイカス、ソレデ誤解ガアルナラバ其ノ誤
解ヲ解キ、誤ツタ考ヘヲ持ツテ居ル者ガア
ルナラバ之ヲ是正シナケレバイカス、今次
官ノ仰シヤルヤウニ本當ニ大同團結シテ官
民一致協力ノ實ヲ擧ゲタイ爲ニ、サウ云フ
不明朗ナ點ガアルノデスカラ、其ノ點ヲ是
正シタイト云フ譯デ申上ゲテ居ルヤウナ譯
デアリマシテ、私ハ何モ議論ノ爲ニ議論ヲ
シテ居ルノデハナイト云フコトヲ重ネテ申
上ゲテ置キマス、今總裁官殿下ノ奉戴式ガ
行ハセラレナカツタコトニ付テハ、此ノ席
デ申上ゲナイト云フコトデアリマシタ、事
苟クモ皇族殿下ニ關スルコトデアリマスカ
ラ、私モ色々是レ以上申述ベタイトハ存ジ
マセヌガ、併シナガラ奉戴式ガ行ハレナカ
ツタト云フコトハ、ドウモ新團體ダト云ウ
テ説明ハシテ居ラレルケレドモ、其ノ實質
ハ舊團體デアル、其ノ舊團體デアルト云フ
コトハ、武道界ハ全部之ヲ期待シテ居ツタ
ノデハナイ、待望シテ居ツタノデハナイ、
ソレデ今次官ノ仰シヤルヤウニ大同團結、
協力一致シテ行ク爲ニハ、速カニ斯ウ云フコ
トニ對シテ適當ナ機會ニ適當ナ方法ヲ以テ、
サウシテ誤解ヲ解クヤウニ格別ノ御處置ガ
アリタイモノト思料致シマス

ソレカラ武德祭大會デアリマスガ、是ハ
新タナ團體ノ本部ガ東京ニ設置セラレタノ
デアリマスカラ、サウ云フ大會ハ當然東京
ニ於テ行ハルベキモノト私ハ思フ、然ルニ
依然トシテ京都ニ於テ行ハレテ居ル、又京
都ニ於テ行ハレテ居ル武德祭ハ、京都ニ特
別ノ事情モアルコトデアリマスカラ、是ハ

是トシテヤルコトハ一向差支ヘナイガ、東
京ニ於テ武德祭以上ノ大會ヲ、大日本武德
會ノ所在地ニ相應シイ大會ヲヤルコトノ必
要ヲ私ハ痛感シテ居ルモノデアリマスガ、
之ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマ
スカ

○武井(群)政府委員 武道振興ト云フコト
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ政府トシテ
ハ特ニ重要視致シテ居ルノデアリマスガ、
此ノ實行ノ衝ニ當ルモノハ、先程申上ゲマ
シタヤウニ大日本武德會ガ唯一最高ノ團體
トシテ、是ノ努力ニ俟ツテ居ル譯デアリマ
ス、ソコデ御尋ネノ武德祭ノコトデアリマ
スガ、從來舊武德會ニ於テ永イ間ノ歴史ヲ
持ツタ京都デヤツテ居ツタ譯デアリマス、
將來東京デ行フ意思ハナイカト云フコトデ
アリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ色々
ト關係者ノ間ニ於テモ話合ヒガゴザイマス、
併シ京都ニ於テ武德祭ヲ行ヒ、又東京ニ於
テ同様ノ武德祭ヲ行フト云フコトハ餘リ意
味ノナイコトデアリナイカト思ヒマス、東京
ニ於テハ御承知ノ通り毎年秋國民ノ日頃鍊
成致シマシタ體育武道等ノ精華ヲ明治神宮
ノ大前ニ奉納スル明治神宮國民鍊成大會ガ
行ハレルコトデアリマスノデ、ソレトノ關係
ニ於テ十分ニ考ヘテ見ルベキモノデアルト
思ツテ居リマス、此ノ點ハ武德會ガ中心ニ
ナリ色々ト考究中ノヤウニ聞イテ居リマス、
政府モ出來ル限リソレニ對シテハ協力シヨ
ウト思ツテ居リマス

フノデス、私ハ實質ノ武道大會ヲ實ハ希望
シタ譯デアツテ、同ジ武德祭大會ヲ希望シ
タ譯デアリナイノデス

モウ一ツ御伺ヒ致シタイコトハ、舊武德
會デハ劍道ノ型トカ、薙刀ノ型トカ、色々型
ガ制定サレテアリマスガ、特ニ薙刀ノ型制度
問題ニ付テハ、先程文部省政府委員ニ質問
致シタ時ニ申述ベマシタヤウナ事情ノ下
ニ、舊武德會ノ薙刀ノ型ハ制定セラレタノ
デアリマス、新武德會ハ此ノ舊武德會ノ諸
種ノ型ヲ、段位稱號ヲ認メタヤウニ其ノ儘
御認メニナツタノデアリマスカ、或ハ又此
ノ薙刀ノ型ダケハ、サウ云フ風ナ問題ヲ起
シ、サウシテ專門家ノ意見デモ非常ニ評判
ガ惡イト云フ風ナ薙刀ノ型デアリマスカ
ラ、是ダケハ特ニ再檢討ヲシテ、大日本新
武德會ノ型ヲ制定スルノデアリマスカ、此
ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

デ綜合武道團體ノ大日本武德會ニモ御希望
デアルナラバ壯丁部門ヲ一部設ケテモ宜シ
イト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマ
スガ、サウ云フヤウナ部門ガ設置サレルヤ
ウナ情勢ニ相成ツテ居リマセウカ

○武井(群)政府委員 壯丁ノ武道振興ニ付
テ、藤生議員ガ多年御盡力サレテ居リマス
コトハ、世間周知ノ事實デアリマス、當衆
議院ニ於キマシテモ建議委員會等ニ於テ色
色ト御話ヲ承リ、政府ト致シマシテ色々々
トソレニ對シテ述ベタコトガアリ、私モ一
度述ベタ記憶ガアリマスノデ、今此處デ再
ビ繰返シマセヌ、ソレニ對シテ新武德會デ
左様ナ部門ヲ設ケル意思アリヤ否ヤト云フ
コトデアリマスガ、只今ノ所デハ研究中デ
アリマシテ、マダハツキリシタ御答ヘヲシ
得ル状態ニ達シテ居リマセヌ

云フ方面ニモ活動範圍ヲ擴張サレテ、武道家ヲ或ル期間動員シテ、占領地邊リヘ行ツテ日本刀ノ使用ノ方法ナドヲ教授スルト云フヤウナコトガ極メテ必要デナイカト思ヒマス、又はハ原住民ニ對シテモ日本ノ武道、日本刀ノ威力ヲ示ス上ニ於キマシテモ、宣撫ノ上ニ於キマシテモ、隨分意義ノアルコトダト存ズルノデアリマス、勿論今ノ所ハ斯ウ云フ計畫ハナイデアリマセウガ、計畫ガナイトスルナラバ、一ツ政府ノ方カラサウ云フ御計畫ヲシテ實行スルヤウニシテ戴キタイト思ヒマス、勿論御贊成ダラウト存ジマスガ如何デス

○武井(群)政府委員 御趣旨ハ全然異存ゴザイマセヌ、其ノ點ハ昨年モ御話ヲ承リ、特ニ厚生大臣モ其ノ點ハ贊成ダト云フコトハ申上ゲテ居リマス

○清水委員長 暫時休憩致シマシテ、一時半カラ開會致シマス

午後零時五分休憩

午後一時五十分開議

○清水委員長 休憩前ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——藤生君

○藤生委員 今度御尋ネ致シタイコトハ、大日本武徳會ノ包攝團體ノコトデアリマスガ、戴イタ資料ニ依リマス「大日本武徳會寄附行爲第四十一條ノ規定ニヨル包攝團體ハ現在存セズ目下關係團體ト協議進行中」斯ウ書イテアリマスガ、先ヅ第一番ニ御伺ヒ致シタイノハ、「包攝」ト云フ文字、是ハ餘リ私共今マデ聽イタコトノナカウ文字ナノデスガ、是ハドウ云フ風ニ解釋シタラ宜イノデスカ

○武井(群)政府委員 大日本武徳會ノ寄附

行爲ノ中ニアル「包攝」ト云フ文字ノ御尋ネデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ其ノ「包攝」ト云フ文字ハ、武徳會ノ傘下ニ入り、サウシテ武徳會ニ於テ指導助成ヲスルヤウナ意味ニ解釋シテ居リマス

○藤生委員 サウスルト新武徳會ノ傘下ニ入ツテ其ノ統制ニ服セシメルト云フト、既存ノ武徳團體ハ其ノ儘ノ形デ大日本武徳會ノ中ニ入ルノデスカ、或ハ入ツタ後ハ所謂吸收消化サレルノデスカ、團體ノ形ノ儘デ統制ヲ受ケルノデスカ、此ノ點ヲハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 包攝團體ハ其ノ儘武徳會ニ入ツテ、サウシテ統制ヲ受ケルコトトス様ニ解釋シテ居リマス

○藤生委員 サウスルト今進行中ト云フコトガ書イテアリマスガ、ソレハモウ餘程進行シテ居ルノデアリマスガ、ソレカラ只今ノ御答辯デ其ノ儘武徳會ニ包容サレルノダト云フコトヲ承ツテ私モ安心シタノデスガ、ドウカサウ云フ風ニ一ツ進行サシテ戴キタイト思ヒマス、ソレデ今ドウ云フ風ニ進行シテ居リマスカ、御答ヘ願ヒマス

○武井(群)政府委員 資料デ差上ゲタ程度デアリマシテ、マダ具體的ニ此處デ細カニ申上ゲルマデノ域ニ達シテ居リマセヌ

○藤生委員 ソレデハ次ニ御尋ネ致シマスガ、先程私ガ大日本武徳會結成以來一年ニ垂ントスル今日マデニドウ云フ活動ヤツタカ、其ノ活動ノ具體的内容ニ付テ御尋ネ致シマシタニ對シテ、昨年滿洲國ノ建國十周年慶祝演武大會ニ、日本カラ選士ヲ派遣シタト云フコトヲ、大日本武徳會ノ活動ノ一ツノ仕事トシテ御述ベニナツタノデアリマスガ、是ハ大日本武徳會ノ活動デハナク

テ、向フカラ招待ヲ受ケテ之ヲ取次イダゲノコトデ、私ハ大日本武徳會ノ活動ノ一ツダトハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、ソレハ兎ニ角ト致シマシテ、其ノ時ニ滿洲國カラ日本ノ武徳選手ノ派遣方ヲ依頼シテ來タ、其ノ依頼ヲ受ケ或ハ取次ギ、取扱ツタノハ厚生省デアリマスガ、厚生省デアレバ、大日本武徳會デアラウト思ヒマスガ、此ノ點ヲ一ツハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 滿洲國建國十周年ノ慶祝大會ニ付テノ御尋ネノ件ハ、滿洲國ヨリ對滿事務局ニ話ガアツタト記憶シテ居リマス、對滿事務局ヨリ、厚生、文部ニモ話ガアリ、又此ノ仕事ニ付キマシテハ建國十周年ノ慶祝會ガ出來テ、其ノ會デ専ラ其ノ仕事ヲシタト記憶シテ居リマス

○藤生委員 サウスルト御尋ネシタイノデスガ、其ノ際雜刀道ノ範士三田村母子、即チ三田村範士ト、其ノ長女武子鍊士ニ對シテ、滿洲國ヨリ正式ニ出演ノ依頼狀ガ參ツタノデアリマス、サウシテ又其ノ當時ノ厚生省ノ事務官デアツタ井上君モ、ワザ／＼京都ノ三田村家ヲ訪問シテ、滿洲國カラノ依頼デアアルカラト言ウテ、出演方ヲ懇請セラレタノデアリマス、所ガ日本カラ派遣セラレテ滿洲國ニ行ツテ、各種ノ武道ヲ演ジタ他ノ武道家ニ對シテハ、滿洲國ヨリソレゾレ宿泊料、滞在旅費等ヲ、私ノ聞ク所ニ依リマス、六百圓程度ノ御禮ヲサレタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此ノ三田村範士ニ對シテハ一文ノ支給モナカツタ、ソコデ是ハ甚ダ怪シカラヌコトデアルト云フヤウナ譯デ、私ハ三田村範士ニ對シテ問合セヲ出シタ、所ガ三田村範士ハ、吾々親子

ガ揃ツテ滿洲國皇帝陛下ノ御前ニ於テ、演武ヲスルノ光榮ニ浴シタノデアリマスカラ、モウ此ノ光榮ダケデ洵ニ有難イ譯デアリマシテ、旅費ノ支給トカ、サウ云フコトハ全然考ヘテ居リマセヌカラ、ドウゾサウ云フヤウナコトハト言ツテ、私ノ調査ニ應ジナカツタノデアリマス、ソレデ私ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ調査致シタノデアリマスガ、苟クモ遠路遙々滿洲國ノ演武大會ニ出席シテ、演武ヲシテ貫ツタノニ對シマシテハ、殊ニ他ノ武道家ニ對シテハソレ／＼支給サレタモノガ、此ノ三田村範士母子ニ限ツテ、一文モ支給サレナカツタト云フコトハ、此ノ問題ハ唯單ニ手當支給ノ小サイ問題デナイ、考ヘ方ニ依ツテハ決シテ市井ノ一小事トシテ、等閑ニ付スルコトハ出來ナイ問題デアツテ、國家ノ威信ニモ關スルコトデアリ、又武道界ノ一大不祥問題トモナル虞ガアルノデアリマス、是ハ厚生省ニ於テ取扱ハレタモノト私ハ考ヘマスガ、何故他ノ武道家ニ對シテ支給シテ、此ノ三田村範士母子ダケニ對シテ支給サレナカツタノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ明瞭ニシテ戴キタイトデアリマス

○武井(群)政府委員 先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ仕事ハ一切滿洲國建國十周年ノ慶祝會ニ於テ取扱ツタコトデアリマス、今御話ノ點ニ付キマシテハ厚生省トシテハ存ジマセヌ、併シ御尋ネノアツタコトデアリマスカラ、慶祝會等ニ付テ調べテ見ルコトニ致シマス

○藤生委員 サウスルト厚生省デハハツキリ之ヲ御取扱ヒニナツテ居ラナイ、演武大會ノ慶祝會ノ方デ取扱ツタト言ハレルガ、サウスルト慶祝會ノ方カラ直接武道家ニ、

ソレト支給サレタノデアリマスカ、其ノ
點ヲ一寸……

○武井(群)政府委員 左様ニ承知致シテ居
リマス

○藤生委員 サウスルト其ノ事務所ハ一體
何處ニアリマスカ、ヤハリ滿洲デ支給サレ
タノデセウカ

○武井(群)政府委員 事務所ハ東京ニアツ
タノデアリマス、舊對滿事務局ガ色々ニ世
話ヲシテ呉レタノデアリマス

○藤生委員 私ハ世間ノ噂ニハ厚生省ガ之ヲ
取扱ツタ、斯ウ云フ風ニ聞イテ居ツタノデ、
實ハ御伺ヒシタヤウナ譯デスガ、今次官ノ
御話ヲ承リマシテ、成程對滿事務局ト云フ
モノガアツテ、ソレガ扱ツタ、或ハサウカ
モ知レマセヌガ、併シ是ハ武道行政ノ監督
指導ノ立場ニ居ラレル厚生省ト致シマシテ
ハ、是ハ餘所事トシテ御考ヘニナラナイデ、
先程モ申シマシタヤウニ、是ハ國家ノ威信
ニモ關スルコトデアリ、武道界ノ不祥問題
トモナル虞ガアルノデアリマスカラ、特ニ
一ツ此ノ問題ハ十分御調査相成ルヤウニ希
望致シテ置キマス

ソレカラ次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、新
大日本武徳會ハ五省共管デアルト云フコト
ハ、其ノ當時聲明サレタノデアリマスガ、
併シドウモ厚生省主管ノヤウナ感ジガスル
ノデアリマス、五省共管ト云フコトハ唯表
向キダケケコトデアツテ、實際ハ厚生省ノ
主管ト云フコトニナツテ居ルノデアリマセ
ウカ、其ノ點ヲ承リマス

○武井(群)政府委員 御話ノヤウニ五省共
管デアリマス、表向キモ裏モアリマセヌ、
但シ厚生省ハ此ノ指導監督ニ付キマシテハ、
重要ナル任務ヲ負ツテ居ルト云フコトハ是

亦事實デアリマス

○藤生委員 ソレデハツキリ分リマシタガ、
併シ聞ク所ニ依リマス、武徳會運営ノ中
樞機關デアル幹事會ノ幹事、其ノ中五省ノ課
長デアル幹事ノ人ハ、初メ一回カ二回ハ出
席シタヤウデアリマスガ、其ノ後一向ニ
出席ヲシマセヌ、出席シタ所デソレハ代理
デアツテ、本人達ハ一向ニ出席ヲシナイ、
ソレハ忙ガシイセイモアリマセウケレドモ、
苟クモ今日ノ戦力増強ニ最モ密接ナル關係ノ
アル精神力ヲ、昂揚シ培ハウトスル所ノ此ノ
武道行政ニ關係シテ居ル各省ノ課長達ガ、ド
ウモ出席ヲシナイト云フコトハ、武道ニ對シ
テ非常ニ不熱心デアルヤウニ存ジマス、是ハ不
熱心デアルノカ、或ハ武徳會ノ結成問題ニ對
シテ、何カ私ハ不平デモ持ツテ居ルノデハナ
イカト云フヤウナコトモ感ゼラレル點ガアル
ノデス、ト云フノハ是ハ厚生省以外ノ役人ニ、
私ハソレトナク實ハ聽イタノデアリマス、所
ガイヤソレハ武徳會ハ五省共管ト云フコト
ニハナツテ居ルケレドモ、唯吾々ハ蔭ニ具
ハルノミデ、厚生省ガ切廻シテヤツテ居ル
カラト云フヤウナ、極メテ熱意ノナイ、聽
キヤウニ依ツテハ何カ不平不滿デモアルカ
ノヤウナ口吻トシカ聽キ取レナカツタノデ
アリマスガ、私ハ不平ノ起ルヤウナヤリ方
ヲヤツタリシテ、サウシテ出席スベキ
者ガ出席シナイト云フヤウナコトデアリ
マシテハ、所謂官民一致協力シナケレバナ
ラスノニ、官同志ガサウ云フ風ニ協調ヲ破
ルヤウナコトガアツテハ甚ダ遺憾ダと思ヒ
マス、ソレデ此ノ點ニ付テハサウ云フコト
ハ私ハナカラウト思ヒマスガ、此ノ上トモ
御注意ニ相成ツテ、サウシテ本當ニ官民一
致ノ協力ノ實ヲ擧ゲ示ス爲ニハ、先ヅ官ノ

方カラ一ツ微塵ノ隙モナイヤウニ協調ヲ保
ツテ行ツテ戴キタイト云フコトヲ希望致シ
マス

モウ一點御伺ヒ致シタイコトハ、段位稱
號ノ審査竝ニ其ノ授與ノ方法、之ヲ皆非常
ニ聞キタガツテ居ルノデスカラ、此處デ一
ツ出來ルダケ皆ガ分ルヤウニ御説明ヲ戴キ
タイト存ジマス

○武井(群)政府委員 大日本武徳會ニ於テ
ハ斯界ノ刷新ヲシテ、此ノ度稱號竝ニ等級
審査ニ關スル要綱ヲ定メ、之ヲ發表シタコ
トハ御承知ノ通りデアリマスガ、マダ其ノ
程度デアリマシテ、是ガ實施ニ關スル手段方
法等ニ付テハ、是カラ順次關係方面ト協議
ヲ遂ゲテ行クコトト思ツテ居リマス、而シ
テ是ノ關係スル所ハ廣クアリマスノデ、官
廳ニ於キマシテモ關係官廳ハ幾ツカアルコ
トデゴザイマス、厚生省トシテモソレ等ノ
關係官廳ト協議ヲシナケレバナラヌ譯デア
リマス、マダ具體的ナ方法ニ付キマシテハ
決定シタモノハゴザイマセヌ

○藤生委員 斯ウ云フコトハモウ武道ノ精
神ノ本領ニ照ラシテ、抜ク手モ見セズ、ド
シドシ解決シテ行クヤウニヤツテ行ツテ、
初メテ大日本武徳會ダと思フノデス、先程
モ申上ゲマシタヤウニ、ドウモ唯段取、機構イ
ダリノミニ没頭シテ居ルト云フコトハ甚ダ
遺憾デス、併シ幸カ不幸カ、マダサウ云フ
點ガ進ンデ居ナイ、是カラダト云フコトデア
リマスカラ、是カラト云フ其ノ參考ニ私
ノ希望ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマスガ、
各大學デ學士號ヲ授與スルヤウニ、段位稱
號ト云フモノヲ、陸海軍關係ハ陸海軍省、
文部省關係ハ文部省、内務省關係ハ内務省、
厚生省關係ハ厚生省ト、各省ソレト獨立

シタ審査機關ヲ設ケテ、サウシテ審査ヲシ
テ授與スルト云フ風ニシタ方ガ、事情モ關係
方面ダケニ能ク分ツテ居ツテ、迅速的確ニ
行クノデヤナカラウカト思ヒマス、併シド
ウシテモソレハイカヌ、ドウシテモ一箇所
ニ纏メナクチヤナラヌト云フコトデアレバ、
是ハ寧ロ司法科、行政科ト云フヤウナ國家
試験ト同ジヤウニ、非常ニ嚴格ナル試験方
法ノ下ニ行ハレナクチヤナラヌト思ヒマス、
是ハ答辯ハ戴カナイデ宜シウゴザイマスガ、
私ノ希望デゴザイマスカラ、サウ云フ風ニ
シテ戴キタイト思ヒマス、何カ御答辯ガア
レバ拜聽致シマス

○武井(群)政府委員 御希望ノ點ハ承リマ
シタ、武徳會ニ能ク其ノ趣旨ハ傳ヘルコト
ニ致シマスガ、併シ武徳會ガ段位稱號ト云
フヤウナコトノ刷新ヲ圖ラウトシタ趣旨ハ、
從來トモスレバ此ノ稱號段位等ヲ授與スル
コトニ絡マツテ芳シカラヌ噂モ聞イテ居ル
ノデアリマス、是等ヲ刷新致シ、本當ニ武
道ノ段位稱號ニ相應ハシイモノニシヨウト
云フコトカラ發シテ居ルコトト信ジマスノ
デ、武徳會ニ於キマシテハ鋭意此ノ目的ノ
達成ニ努メル譯デアリマスガ、同時ニ政府
ト致シマシテモ、左様ナ趣旨ニ副ヒマスル
ヤウニ、此ノ上ナガラ指導監督ヲ加ヘタイ
ト思ツテ居リマス、

○藤生委員 私ハ今日ハ此ノ程度ニ致シテ
置キマシテ、尙ホ大臣ニ對シテ色々御尋ネ
致シタイコトガアリマスカラ、其ノ點ダケ
保留シテ置キマス

○清水委員長 山田君

○山田(順)委員 此ノ際厚生當局ニ御伺ヒ
シテ置キタイト思ヒマスノハ、七十九議會
ニ於キマシテ醫療法ガ制定サレマシテ、爾

來厚生當局が非常ナル努力ヲサレマシテ、道府縣醫師會、道府縣齒科醫師會、日本醫師會、日本齒科醫師會ト云フモノガ愈々發足致シタノデゴザイマス、隨テ此ノ日本醫師會、日本齒科醫師會ト云フ性格ハ、從來ノ醫師會並ニ齒科醫師會トハ根本的ニ變ツテ參ツタノデアリマス、ソコデ私ハ特ニ御聽キシタ

イコトハ、七十九議會ニ於キマシテ、私共ノ御伺ヒスル所ニ依リマスレバ、醫師會並ニ齒科醫師會ノ議員ノ構成ノ上ニ於テ、齒科醫師乃至ハ醫師以外ニ行政官廳カラ何人カ此ノ會ノ構成分子ニ入ルヤウニ實ハ聞キ及ンデ居ツタノデアリマス、所謂行政官廳カラ特別議員ガ入ルコトニ依ツテ、醫師會、齒科醫師會ノ活動ニ相當ノ推進力ヲ與

ヘルト云フヤウニ考ヘテ居ツタノデゴザイマス、所ガ實施ヲ見マス、此ノ特別議員ノ中ニハ行政官廳ニ關係ノアル者ハ一人モ入ツテ居ラナイノデゴザイマスルガ、此ノ點ニ付テハ何カ、日本齒科醫師會乃至ハ日本醫師會、道府縣醫師會、齒科醫師會ノ運營ノ上ニ行政官廳ノ特別議員ト云フモノヲ參畫サセルコトニ支障デモアツタノデゴザイマスルカ、此ノ點ヲ一點御伺ヒシタイト思ヒマス

○灘尾政府委員 御答ヘ申上ゲマス、醫師會或ハ齒科醫師會ノ議員ノ構成ニ付キマシテ、御話ノ如ク普通ノ議員以外ニ特別議員ト云フモノガ、設ケラレテ居ル譯デゴザイマス、此ノ特別議員ヲ設ケマシタ趣旨ニ付キマシテハ是亦御話ノ通りデアリマス、所謂普通ノ委員以外ニ各方面ノ識者ノ方ヲ網羅致シマシテ、醫師會或ハ齒科醫師會ノ總會ノ議事ガ廣イ視野ニ於テ討議サレ

ルト云フコトヲ期待致シタ次第デゴザイマス、吾々ト致シマシテモ其ノ趣旨ニ付キマシテハ勿論之ヲ實現スベキモノト考ヘテ居リマス、今回地方ニ於テハ、地方ノ醫師會、齒科醫師會ニ特別議員ノ選任ガアリ、又中央ニ於テモ目下其ノ手續ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテモ色々勘案致シタノデアリマスガ、官吏ガ特別議員ニナルト云フコトニ付テ、格別ソレデ見ルト云フヤウナ事情ハゴザイマセヌ、唯吾々トシテ多少考ヘテ見ナケレバナラスト思ヒマスルコトハ、直接監督ノ衝ニアル者ガ議員ニナルコトハ如何デアラウカ、是ハ餘程考ヘル必要ガアルノデハナカラウカト云フ風ニ

考ヘルノデアリマス、吾々ノ頭ノ中ヲ支配シタモノト致シマシテハ、直接監督ノ衝ニ當ル者ガ議員ニナルコトヲ忌避スルト云フ趣旨デモゴザイマセヌケレドモ、必ズシモ適當デナイノデハナイカト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、之ヲ避ケテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、又同時ニ、法律ニ基クモノデハゴザイマセヌケレドモ、醫師會或ハ齒科醫師會ニ於キマシテハ、御承知ノ如クニ顧問或ハ參與ト云フヤウナ役員ヲ設ケルコトニモ相成ツテ居ルノデアリマス、顧問或ハ參與ト云フヤウナ形ニ於キマシテ、關係各廳ノ官吏或ハ公吏ト云フヤウナ人達ガ、單ナル議員デナクシテ、常時相談相手ニモナルト云フ途モ開カレテ居ルコトデゴザイマスルノデ、特別議員ノ數ニハ自ラ制限モゴザイマスルシ、今日ノ場合ト致シマシテ、進ンデ官吏ヲ出スト云フヤウナ考ヘハ致サナカツタ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマ

ス、吾々ト致シマシテモ其ノ趣旨ニ付キマシテハ勿論之ヲ實現スベキモノト考ヘテ居リマス、今回地方ニ於テハ、地方ノ醫師會、齒科醫師會ニ特別議員ノ選任ガアリ、又中央ニ於テモ目下其ノ手續ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテモ色々勘案致シタノデアリマスガ、官吏ガ特別議員ニナルト云フコトニ付テ、格別ソレデ見ルト云フヤウナ事情ハゴザイマセヌ、唯吾々トシテ多少考ヘテ見ナケレバナラスト思ヒマスルコトハ、直接監督ノ衝ニアル者ガ議員ニナルコトハ如何デアラウカ、是ハ餘程考ヘル必要ガアルノデハナカラウカト云フ風ニ

考ヘルノデアリマス、吾々ノ頭ノ中ヲ支配シタモノト致シマシテハ、直接監督ノ衝ニ當ル者ガ議員ニナルコトヲ忌避スルト云フ趣旨デモゴザイマセヌケレドモ、必ズシモ適當デナイノデハナイカト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、之ヲ避ケテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、又同時ニ、法律ニ基クモノデハゴザイマセヌケレドモ、醫師會或ハ齒科醫師會ニ於キマシテハ、御承知ノ如クニ顧問或ハ參與ト云フヤウナ役員ヲ設ケルコトニモ相成ツテ居ルノデアリマス、顧問或ハ參與ト云フヤウナ形ニ於キマシテ、關係各廳ノ官吏或ハ公吏ト云フヤウナ人達ガ、單ナル議員デナクシテ、常時相談相手ニモナルト云フ途モ開カレテ居ルコトデゴザイマスルノデ、特別議員ノ數ニハ自ラ制限モゴザイマスルシ、今日ノ場合ト致シマシテ、進ンデ官吏ヲ出スト云フヤウナ考ヘハ致サナカツタ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマ

○山田(順)委員 衛生局長ノ御答辯ニ依リマシテ了承致シマシタガ、今後此ノ變ツタ性格ノ各、ノ會ノ運營ニ於キマシテ、特ニ醫師、齒科醫師ノ修習、謂ハバ補修教育ト申シマセウカ、修習所ヲ作ツテ再教育ヲスルト云フヤウナ大キナ問題モ其ノ事業ノ中ニ織込マレテ居ル、又國民ノ保健指導、此ノ點ニ付テノ研究乃至ハ醫療ノ普及徹底、又醫業ノ經營等、各種ノ事業ノ項目ガ擧ゲラレテアルノデアリマス、此ノ點ニ付テハヤハリ其ノ性格ノ變ツタ關係上參與顧問ト云フヤウナ立場デナク、全ク醫師會、齒科醫師會ノ中ニ所謂行政上ノ大キナ一ツノ役割ヲ擔當スルト云フ意味ニ於キマシテ、是等ノ性格ニモツト弾力性ヲ持タセル上ニ於テ、ヤハリ日頃相當ノ抱負經驗ヲ持ツテ居ラレル方ガ參畫シテ、實際上ノ計畫ニ參畫スルトガ、此ノ醫療法ノ徹底ヲ期スル所以ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスレバ、少クトモ此ノ際厚生省當局ニ於テハ或ル程度マデ、モウ少シ積極的ニ關係ヲシテ、是ガ育成ニ邁進シテ戴キタイト考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ對スル何カ施策ヲ持ツテ居リマスカ

今一ツハ御承知ノ通り、サウ云フ事業項目ト云フモノハハツキリ政府ノ方針トシテ決定サレテ居リマスガ、之ニ對シテ政府ノ援助ヲスル一ツノ經濟的ノ途ガハツキリサレテ居リマセヌ、少クトモ今回醫療法ニ依ツテ新タニ出發スル醫師會、齒科醫師會ノ活動ノ分野ニ於キマシテハ、何トシテモ會員全體ノ負擔力ニ依ツテ其ノ活動ヲ全面的ニ實行シテ行クコトハ出來ナイノデハナイカト私ハ想像シテ居ルノデアリマス、仍テ此ノ點ニ付テハ厚生省或ハ或ル程度積極的ニ醫師會、齒科醫師會ヲ活動サセルダケノソコニ推進力ヲ與ヘテ行ク、物心共ニサウ云フヤ

ウナ考ヘ方ヲシテ戴クコトガ、最モ今回ノ性格ノ變ツタ醫師會、齒科醫師會ノ再出發ニ際シテ考フベキコトデアラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル厚生省當局ノ何カ施策ガアリマスレバ、此ノ際御伺ヒシタイノデアリマス

○灘尾政府委員 醫師會或ハ齒科醫師會ノ會務ノ運營ノ上ニ於キマシテ、政府ナリ、或ハ又地方官廳ガ是ト密接ナル連絡ヲ取ツテ進ンデ行クコトハ當然ノコトデアリマス、私共ノ心持ト致シマシテハ、今回新タニ發足スルコトニナリマシタ醫師會或ハ齒科醫師會ハ醫事衛生ノ上ニ於キマシテハ、政府ト表裏一體ノ關係ニ立ツテ進ンデ行カナケレバナラスト云フ風ニサヘ考ヘテ居ル次第デアリマスノデ、法律の意味ニ於ケル、或ハ行政的意味ニ於ケル指導監督ト云フコトハ勿論ノコトデゴザイマスガ、事實左様ナ表裏一體ノ心持ニ於テ、總テノ事柄ニ付テ緊密ナル連絡ヲ取ツテ進ミタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ今回ノ特別議員ノ選任、是ハ八年ニ一回或ハ二回ノ會合ニ出ルダケデアリマスガ、之ニ付キマシテモ御承知ノ如クニ醫師ノ補修教育、或ハ道義ノ刷新ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、然ルベキ團體、或ハ官立學校ト云フヤウナ方面ニ勤メテ居ラレマス有識ノ方ヲ煩ハスコトニシタイ、直接衛生行政ノ責任ノ衝ニ當ツテ居ル者ハ入ツテ居リマセヌガ、是ハ寧ロ日常總テノコトヲ通ジテ堅實ニ進ミタイト考ヘテ居リマス、尙ホ參與ノ構成ニ付キマシテモ是ハ醫師會或ハ齒科醫師會等ニモ段々相談致シテ居ルノデアリマス、關係ノ深イ各官廳ノ然ルベキ人ニ加ハツテ戴クヤウナ方針ヲ以テ進ンデ貰フヤウニ御話シ

○山田(順)委員 衛生局長ノ御答辯ニ依リマシテ了承致シマシタガ、今後此ノ變ツタ性格ノ各、ノ會ノ運營ニ於キマシテ、特ニ醫師、齒科醫師ノ修習、謂ハバ補修教育ト申シマセウカ、修習所ヲ作ツテ再教育ヲスルト云フヤウナ大キナ問題モ其ノ事業ノ中ニ織込マレテ居ル、又國民ノ保健指導、此ノ點ニ付テノ研究乃至ハ醫療ノ普及徹底、又醫業ノ經營等、各種ノ事業ノ項目ガ擧ゲラレテアルノデアリマス、此ノ點ニ付テハヤハリ其ノ性格ノ變ツタ關係上參與顧問ト云フヤウナ立場デナク、全ク醫師會、齒科醫師會ノ中ニ所謂行政上ノ大キナ一ツノ役割ヲ擔當スルト云フ意味ニ於キマシテ、是等ノ性格ニモツト弾力性ヲ持タセル上ニ於テ、ヤハリ日頃相當ノ抱負經驗ヲ持ツテ居ラレル方ガ參畫シテ、實際上ノ計畫ニ參畫スルトガ、此ノ醫療法ノ徹底ヲ期スル所以ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスレバ、少クトモ此ノ際厚生省當局ニ於テハ或ル程度マデ、モウ少シ積極的ニ關係ヲシテ、是ガ育成ニ邁進シテ戴キタイト考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ對スル何カ施策ヲ持ツテ居リマスカ

今一ツハ御承知ノ通り、サウ云フ事業項目ト云フモノハハツキリ政府ノ方針トシテ決定サレテ居リマスガ、之ニ對シテ政府ノ援助ヲスル一ツノ經濟的ノ途ガハツキリサレテ居リマセヌ、少クトモ今回醫療法ニ依ツテ新タニ出發スル醫師會、齒科醫師會ノ活動ノ分野ニ於キマシテハ、何トシテモ會員全體ノ負擔力ニ依ツテ其ノ活動ヲ全面的ニ實行シテ行クコトハ出來ナイノデハナイカト私ハ想像シテ居ルノデアリマス、仍テ此ノ點ニ付テハ厚生省或ハ或ル程度積極的ニ醫師會、齒科醫師會ヲ活動サセルダケノソコニ推進力ヲ與ヘテ行ク、物心共ニサウ云フヤ

ウナ考ヘ方ヲシテ戴クコトガ、最モ今回ノ性格ノ變ツタ醫師會、齒科醫師會ノ再出發ニ際シテ考フベキコトデアラウト思フノデアリマスガ、之ニ對スル厚生省當局ノ何カ施策ガアリマスレバ、此ノ際御伺ヒシタイノデアリマス

テ居リマスカラ、御諒承願ヒタイト思ヒマ

ス
次ニ醫師會或ハ齒科醫師會ノ事業ニ關スル政府ノ援助デアリマス、是モ御趣旨全ク同感デアリマス、政府ト致シマシテモ醫師會、或ハ齒科醫師會ガ政府ノ醫事衛生ニ關スル國策ニ協力シテ貫フ團體トシテ御活動ヲ願ヒマス以上、之ニ對シマシテ相當ニ財的援助ヲナスコトハ當然ノコトト考ヘルノデアリマス、十八年度ニ於キマシテハ取敢ヘズ醫師會、或ハ齒科醫師會ヲ通ジテ約六十万圓バカリノ豫算ノ御協賛ヲ仰イデ居ルヤウナ次第デアリマス、今後ソレレノ會ガ段々ト發展シテ參リマシテ、國策即應ノ活潑ナル仕事ヲ計畫シ、又政府トシテモ御願ヒスルト云フ場合ニ於キマシテハ、必要ナ經費ノ援助ニ付テハ吝カナラザル積リテ考ヘテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○山田(順)委員 今回政府ハ國民健康保險ノ被保險者ニ對スル補助ノ増額ヲ四月一日カラ實施サレルト云フコトガ決定サレマシタコトハ、洵ニ醫療ノ普及徹底ヲ期スル上ニ於テ非常ニ時宜ニ適シタコトト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ國民健康保險ノ被保險者ニ對スル補助ノ増額、此ノ點ト相俟ツテ國民健康保險組合ト云フモノガ全國的ニ澎湃トシテ結成ニ邁進サレテ行クコトト思フノデゴザイマスガ、近キ將來ニ於テココニ、三年ノ間ニハ殆んど國民ノ大部分ガ國民健康保險、政府管掌ノ保險、是ト相俟ツテ全ク醫療普及ノ徹底ヲ期スルコトニナルノデハナイカト思フ、一面國民ノ醫療ニ對スル所ノ水準「レベル」ガ餘程向上サルベキコトト私ハ存ジテ居ルノデ

アリマス、此ノ醫療ノ向上ト相俟ツテ茲ニ藥事法ヲ特ニ厚生省ガ從來ノ賣藥ノ製造乃

至ハ藥劑師ノ技術的ノ能力ヲ藥劑ノ方面ヘ向ケテ行カウ、又新藥等ノ問題、其ノ他ニ付テ色々ナル經路ヲ取ツテ、今日マデ日本ノ賣藥ト云フモノガ種々雜多ナ形ニ於テ巷間販賣サレテ居ツタノデゴザイマスガ、此ノ藥事法ノ實施サレルノニ當リマシテ、今日非常ニ資材ガ足りナイ、藥ヲ造ル所ノ原料ガ足りナイ、サウ云フヤウナ觀點カラ致シマシテ、是等ノ藥ヲ製造スル上ニ最モ有效適切ナル藥ヲ、資材ノ足ラザルモノヲ國家的ニ動員シテ行クコト云フ上ニ於テ、政府トシテハ積極的ニ之ヲ統制スル必要ガアルト思フノデアリマス、ソレハ、先程申シマシタ通り、國民健康保險ト云フモノニ依ツテ全國民ガ醫療ノ徹底ヲサレル、多クノ人達ガ今日ノ日本獨特ノ醫療ノ恩典ヲ受ケテ行クコト云フヤウナ意味ニ於テ、即チ國民全般、僻村ニ至ルマデ、無醫村ニ至ルマデ、可成リ向上サレテ行クコト云フコトハ火ヲ踏ルヨリモ明カデアリマス、サウ云フヤウナ關係上、賣藥ノ所謂效果、賣藥ヲ使用スルト云フコトハ、醫者ノナイ所、乃至ハ醫者ノ來ルマデ、サウ云フヤウナ點ニ今日マデ習慣的ニ重點ガ置カレテ居ツタノデゴザイマスガ、國民健康保險ニ對スル所ノ其ノ普及徹底ヲ期スルコト云フ今度ノ政府ノ企圖ト、サウシテ藥ヲ造ル資材ガ足りナイト云フ點カラ考ヘテ、醫療藥品ニ對シテ最モ有效適切ナル一ツノ製造方面ニ所謂藥劑師ノ技術ヲ動員シテ、モツト徹底的ニ是ガ統制ヲ圖ルコトガ現在ノ段階ニ於テハ必要ナコトト考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ付テハ政府當局ハドウ云フヤウナ積極的ノ考ヘ

方ヲ持ツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス
○灘尾政府委員 藥ノ生産狀況ニ付キマシテハ重ネテ繰返シテ申上ゲル必要モナイト思フノデアリマスガ、段々ト需給ノ關係ガ難カシイ面モ生ジテ參リマシタノデ、先年來政府ト致シマシテモ、事態ニ即應致シマシテ、色々計畫ヲ運ラシテ參イリマシタ次第デアリマス、殊ニ重要藥品ノ生産確保ト云フコトニ付キマシテハ、物動當局トモ緊密ナ連絡ヲ取リマシテ、物動計畫ニモ之ヲ上セ、又其ノ實際上ノ生産ヲ確保スルコト云フコトニ付テ極力努力シテ參リマシタ次第デアリマス、隨ヒマシテ緊要藥品ノ重點的ノ生産ト云フコトニ付キマシテハ、今後益々努力ヲシナケレバナラスト思ヒマスト同時ニ、一面ニ於キマシテハ、御話ニモゴザイマシタ如ク、從來ノ醫療品ノ狀況ニ鑑ミマシテ、國內ノ醫療品ニ關スル國民ノ側ニ於ケル消費規正、或ハ醫師、齒科醫師ノ諸君ノ側ニ於ケル消費規正ト云フコトモ考ヘテ參ラナケレバナラスト思ヒマス、不要不急ノ藥品ノ整理ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、今日マデモ相當努力ヲシテ參リマシタ積リデアリマスガ、今後一層努力ヲシナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、今日マデノ狀況カラ申シマスルト、重要醫療品ノ生産確保ト云フ點ニ付キマシテハ、勿論品物ニ依リマスレバ不十分ナモノモゴザイマスケレドモ、又物ニ依リマスレバ、事變以來相當増産サレテ居ルモノモゴザイマス、ドウヤラ斯ウヤラ今日マデ或ル程度凌ギテ付ケテ參ツタト思フノデアリマス、併シナガラ最近ノ各種ノ狀況ヲ觀察致シマスルト、決シテ樂觀ヲ許サナイ事態ニアル

ト思ヒマスルノデ、目下客觀的情勢ニ即應

致シマシテ、必要ナル手ヲ打ツベク色々計畫ヲ運ラシテ居ル次第デアリマス、今日具體的ニ斯ウ云フ風デアルト云フ所マデ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、折角考究致シテ居リマスノデ、御諒承願ヒタイト思ヒマス
○山田(順)委員 次ニ醫療藥品ト相並行シテ醫療器械並ニ齒科醫療ノ器械、之ヲ厚生省ハ出來得ル限り早く、凡ユル部面ニ於テ規格ヲ設定シテ、サウシテ非鐵金屬ガ御承知ノ通り可ナリ不足ヲ生ジテ居ル、サウ云フヤウナ關係上、此ノ際其ノ資材ヲ最モ有效適切ニ使ヒマスルヤウ、是ガ銳意改善ヲスル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、隨テ此ノ凡ユル規格ニ付テモ政府ハ相當ノ研究ト具體案ヲ持ツテ居ラレルコトト思ヒマスガ、ソレニ對シテ若シ伺フコトガ出來マスレバ洵ニ幸ヒト思ヒマス
(委員長退席、勝又委員長代理着席)

○灘尾政府委員 醫療上最モ重要ナ關係ニゴザイマス醫療器械ノ問題ニ付キマシテノ御尋ネノ御趣旨ハ諒承致シマシタ、全ク同感デアリマス、政府ト致シマシテモ醫療器械ノ供給確保ト云フコトニ付キマシテハ極力努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、中々原料、其ノ他ノ關係上思フニ任セナイ點ヲ非常ニ遺憾ト致シテ居ルノデアリマスガ、非常ニ大事ナコトデアリマスノデ、十分努力シテ參リタイト思ツテ居リマス、尙ホ其ノ爲ニモ實ハ醫療器械ノ規格ノ統一ト云フヤウナコトハ、最モ必要ナ先決問題デハナイカトサヘ考ヘラレル事柄デアリマスルノデ、政府ニ於キマシテモ醫療器械ノ規格ニ關スル調査、延イテハ是ガ統一ト云フ所マデ進ムベク目下色々調査ヲ致シテ居ル

狀況ニゴザイマス點ダケヲ申上ゲテ置キマス
○山田(順)委員 次ニ私ハ、醫師、齒科醫師
ヲ今度ノ醫療法ニ依ツテ技術的ニ國家目的
ニ副ハシメヨウト云フコトガ政府ノ意圖デ
アル、私共ガ考ヘテ見マスルニ、醫師、齒
科醫師ニシテ、其ノ中ノ相當ノ範圍ニ於テ、
其ノ技術者ガ死亡致シマス、其ノ一家ガ
洵ニ悲惨ナ狀況ニ置カレルモノガ多クアル
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ私
共ハ日頃經驗ヲ致シテ居ルノデアリマス、
隨テ此ノ醫師、齒科醫師ト云フモノヲ國家
目的ニ副ハシメヨウト云フヤウナ關係ニ於
カレテ、是等ノ過去ノ經驗ニ依ツテ見マス
ルト、醫師、齒科醫師ノ死亡後ニ於ケル其
ノ遺族ハ、全ク子弟ノ教育ヲスル費用スラ
ナイト云フノガ多クアルノデゴザイマス、
始終ソレヲ吾々ハ實見シテ居ルノデアリマ
ス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テハ、少クトモ
醫師、齒科醫師ヲシテ國家目的ニ副ハシメ
ヨウトスルナラバ、共濟組合ノヤウナモノ
ヲ作ル必要ガアルデハナイカト思フノデア
リマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ、若シサ
ウ云フ組合ガ作ラレルト云フ機運ニナリマ
スレバ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル御處置
ヲ執ツテ下サイマスカ

○灘尾政府委員 仰セノ如ク醫師、齒科醫
師ノ諸君ガ國策ニ協力シテ國民ノ醫療並ニ
保健指導ノ爲ニ專念努力シテ戴キマスル以
上ハ、其ノ生活ノ基礎ガ安定シナケレバナ
ラヌト云フコトハ申スマデモナイコトト思
フノデアリマス、政府ニ於キマシテモ其ノ
意味ニ於キマシテハ年來心ニ掛ケテ居ル所
デゴザイマスガ、今後ハ一層其ノ方面ノコ
トニ付テモ留意シテ參ラナケレバナラヌト
思フノデアリマス、同時ニ又醫師、齒科醫師

ノ國策協力ノ機關トシテ新タナル發足ヲ致
シマスル醫師會、或ハ齒科醫師會等ニ於カ
レマシテモ、醫療ノ改善ノ問題ト云フヤウ
ナモノト配合セマシテ、眞面目ニ是ハ研究
シテ行クベキ問題デハナイカト思フノデア
リマス、吾々ト致シマシテモ醫師會、齒科
醫師會トモ十分ナル連繫ノ下ニ考究ヲ致シ
テ參リタイト思フノデアリマス

○山田(順)委員 次ニ南方共榮圈ニ醫師、
齒科醫師ヲ進出セシムル一ツノ方法施策ト
シテ政府ガ丁度醫療團ヲ組織シタ如ク、ア
ア云フヤウナ大規模ナ資本デナク、小規模
ナ資本デ醫師、齒科醫師ヲシテ、所謂現在ノ
日本ノ醫療ヲ以テ南方民族ニ文化ノ恩典ニ
浴サシムル、一ハ以テ宣撫ノ方法ニモナル、
斯ウ云フヤウナ方法ヲ以テ醫療團ニ等シイ
ヤウナモノヲ組織シテ、ソコデ醫師、齒科
醫師ヲシテ、出來得ル限り軍政ノ方面ト連
絡ヲ取ツテ、開業ノ出來ルヤウナ處置ヲ今
後考究スル必要ガアルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ點ニ於テ厚
生省ハ何カ御施策ヲ持ツテ居リマスルカ、
其ノ點ヲ御伺ヒシタイトヒマス

○武井(群)政府委員 御尋ネノ御趣旨ハ全
然同感デアリマス、昨年春以來此ノ問題ハ政
府ノ首腦部ニ於テ色々ト考究申デアリマス、
一ツノ案トシテハ醫療團ガ軌道ニ乗ツテ實
績ヲ擧ゲタ後ニ於テハ、南方ニモ進出シタ
ラドウカト云フヤウナコトモ考ヘツツアリ
マスガ、又他ノ今御話ノヤウナコトモ考ヘ
ラレテ居リマス、決定ニハ至リマセヌケレ
ドモ、色々ト今方策ヲ練リツツアル實情デ
アリマス

○山田(順)委員 昨年來齒科醫師ト、醫師
ト一元的ニ取扱ハウ、詰リ齒科醫師ト醫師
ヲ一元制ニ持ツテ行カウト云フ運動ガ各方
面ニアツタノデゴザイマスガ、其ノ運動ノ
實際ト致シマシテハ、所謂醫療法ガ實施サ
レマシテ、新シク醫師會、齒科醫師會ガ實
施サレマスル際ニ、一ツノ何モノカヲ獲得
シヨウト云フ目的ノ爲ニ、或ル方面ニ於テ醫
師ト齒科醫師トヲ一緒ニ、齒科醫師モ醫師
ノ職分ガ出來ルノダ、醫師モ齒科醫師ニナ
ルノダト云フヤウナ意味合ニ於テ、可ナリ各
方面ニ宣傳ヲ致シマシテ、日本齒科醫師會
乃至ハ道府縣齒科醫師會ノ結成ノ上ニ會テ
見ナイ色々ナ摩擦ヲ生ジタ點ガアルノデゴ
ザイマス、恐ラク衛生當局モ御承知ノコト
ト思フノデアリマス、私共ハ現在ノ法律ノ
下ニ醫師、齒科醫師ト云フモノガ一元的ニ取
扱ヘルト云フコトハ夢ニモ想像致シマセヌ、
今後ノ齒科醫育ノ教育ノ方針ニ付テハ、勿
論理論的ニ考ヘレバ基礎醫學ヲ十分ニ修得
シテ、各ノ分科ノ醫學ヲ專攻シテ、サウ
シテ專門技術ヲ以テ社會ニ立ツト云フコト
ハ考ヘラレルコトデゴザイマスケレドモ、
併シ現在ノ法律ニ於テハ一元化スルト云フ
コトハ到底出來得ナイコトト承知シテ居リマ
スルガ、衛生當局ハ是等ノ運動ニ對シテドウ
云ウ風ナ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマス
ルカ、此ノ點ハツキリ御伺ヒ致シタイト思
ヒマス

○灘尾政府委員 醫師、齒科醫師ノ諸君ノ
間ニ一元論トカ、或ハ二元論ト云フヤウナ
コトガ論議セラレテ居ルト云フコトハ私共
モ伺ツテ居リマス、詳細ノコトハ私能ク存
ジマセヌガ、一元論ガ現在ノ齒科醫師制度
ヲ廢止シマシテ、總テ醫師ガ齒科診療ニモ
従事スルト云フコトヲ意味シ、又二元論ハ
醫師ト齒科醫師ヲ分チマシテ、齒科診療ハ

專ラ齒科醫師ヲシテ之ニ當ラシムルト云フ
ヤウナ意味デアルト致シマスレバ、現在ノ
制度ハ申スマデモナク二元論ニ屬スル譯デ
アリマス、是ガ理論上ノ問題、學問上ノ問題ハ
姑ク措キマシテ、實際ニ於キマシテ一般ノ診療
ト齒科診療トハソレト分チマシテ、一方
ハ普通ノ醫師ガ行ヒ、一方ハ齒科醫師ガ行
フト云フ建前ニ相成ツテ居ルノデアリマス、政
府ト致シマシテハ今日ノ所、國民醫療法ガ
ツイ先達テ、實施セラレタバカリデアリマ
ス、國民醫療法ハ醫師、齒科醫師ソレト
之ヲ分チマシテ、各、其ノ職域ニ於テ御奉公
セラレルヤウニト云フコトヲ期待シテ出來上
ツテ居ルモノデアリマス、今日ノ場合ト致
シマシテハ、此ノ國民醫療法ノ趣旨ノ徹底
ヲ圖ル以外ニハ何モノモ考ヘテ居リマセヌ

○山田(順)委員 ソコデ今回新ニ發足致シ
マスル齒科醫師會ト云フモノヲ土臺トシテ
將來一元論、二元論ト云フモノガ唱ヘラレ
ルコトガ豫想サレルノデゴザイマスガ、サ
ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、政府當
局ハ醫師會、齒科醫師會ヲ通ジテ是等ノ誤
ツク議論ニ對シマシテハ然ルベキ處置ヲ講
ズルコトガ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、
國民醫療法ガ七十九議會ニ於キマシテ通り
マシテ、今局長サンノ言ハレル通り、現在
ノ法律ニ於テハ一元論ト云フモノハ到底出
來得ナイ、二元論デ行クヨリ外ニ方法ハナ
イト云フコトハ、ハツキリシタコトデアリ
マス、此ノ點ハ少クトモ今後地方ニ於キマ
シテモ、又中央ニ於キマシテモ齒科醫師會
ノ運營ノ上ニ於キマシテ、色々ナル摩擦ヲ
生ジテ來ルコトト思ヒマス、此ノ際衛生當
局ハサウ云フヤウナ點ニ付テ特ニ齒科醫師
會ヲ通ジテ相戒メルヤウナ處置ニ出ラレル

○灘尾政府委員 醫師、齒科醫師ノ諸君ノ
間ニ一元論トカ、或ハ二元論ト云フヤウナ
コトガ論議セラレテ居ルト云フコトハ私共
モ伺ツテ居リマス、詳細ノコトハ私能ク存
ジマセヌガ、一元論ガ現在ノ齒科醫師制度
ヲ廢止シマシテ、總テ醫師ガ齒科診療ニモ
従事スルト云フコトヲ意味シ、又二元論ハ
醫師ト齒科醫師ヲ分チマシテ、齒科診療ハ

專ラ齒科醫師ヲシテ之ニ當ラシムルト云フ
ヤウナ意味デアルト致シマスレバ、現在ノ
制度ハ申スマデモナク二元論ニ屬スル譯デ
アリマス、是ガ理論上ノ問題、學問上ノ問題ハ
姑ク措キマシテ、實際ニ於キマシテ一般ノ診療
ト齒科診療トハソレト分チマシテ、一方
ハ普通ノ醫師ガ行ヒ、一方ハ齒科醫師ガ行
フト云フ建前ニ相成ツテ居ルノデアリマス、政
府ト致シマシテハ今日ノ所、國民醫療法ガ
ツイ先達テ、實施セラレタバカリデアリマ
ス、國民醫療法ハ醫師、齒科醫師ソレト
之ヲ分チマシテ、各、其ノ職域ニ於テ御奉公
セラレルヤウニト云フコトヲ期待シテ出來上
ツテ居ルモノデアリマス、今日ノ場合ト致
シマシテハ、此ノ國民醫療法ノ趣旨ノ徹底
ヲ圖ル以外ニハ何モノモ考ヘテ居リマセヌ

○山田(順)委員 ソコデ今回新ニ發足致シ
マスル齒科醫師會ト云フモノヲ土臺トシテ
將來一元論、二元論ト云フモノガ唱ヘラレ
ルコトガ豫想サレルノデゴザイマスガ、サ
ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、政府當
局ハ醫師會、齒科醫師會ヲ通ジテ是等ノ誤
ツク議論ニ對シマシテハ然ルベキ處置ヲ講
ズルコトガ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、
國民醫療法ガ七十九議會ニ於キマシテ通り
マシテ、今局長サンノ言ハレル通り、現在
ノ法律ニ於テハ一元論ト云フモノハ到底出
來得ナイ、二元論デ行クヨリ外ニ方法ハナ
イト云フコトハ、ハツキリシタコトデアリ
マス、此ノ點ハ少クトモ今後地方ニ於キマ
シテモ、又中央ニ於キマシテモ齒科醫師會
ノ運營ノ上ニ於キマシテ、色々ナル摩擦ヲ
生ジテ來ルコトト思ヒマス、此ノ際衛生當
局ハサウ云フヤウナ點ニ付テ特ニ齒科醫師
會ヲ通ジテ相戒メルヤウナ處置ニ出ラレル

コトガ適當ト存ジテ居リマスルガ、之ニ對スル所ノ衛生當局ノ所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○灘尾政府委員 一元論トカ、或ハ二元論ト云フ議論其ノモノニ付キマシテ、彼此レ政府ト致シマシテ之ニ干渉スルトカ、何トカ云フコトハ只今ノ所考ヘテ居リマセス、唯眞面目ニ日本ノ醫政ノ上ニ於キマシテ、或ハ一元論ガ宜イカ、或ハ二元論ガ宜イカト云フコトヲ眞面目ナ研究ノナ態度ヲ以テ論議セラレタト云フコトニ付テハ彼此レ申ス筋合デハナイト思ヒマス、併シナガラ其ノ議論ノ扱ヒ方ノ問題ニ付テ、現在ノ制度ノ運営上非常ニ妨ゲラ生ズル、又其ノ取扱ヒ方ガ極メテ不穩當デアルト云フ場合ニ於テハ、醫師會又ハ齒科醫師會トモ協力致シマシテ、出來ルダケ適正ナ方途ヲ講ジタイト思ヒマス

○山田(順)委員 私人質問ハ終リマシタ

○杉山委員 私人質問ハ終リマシタ、他ノ機會ニ保留シテ置キマシテ、事務當局ニ數點御伺ヒシテ見タイト存ジテ居リマス、醫師會並ニ齒科醫師會ニ對シマスル經濟的援助ノ問題ハ、今山田委員ノ御尋ネニ依ツテ明瞭ニナツタノデアリマスガ、衛生局長ノ御答ヘデハ約六十万圓ノ補助、即チ聞及シテ居ル所ニ依リマスト醫師會ニ四十五萬圓、齒科醫師會ニ九萬圓、合セテ五十四萬圓デアラカラ約六十万圓ト御答ヘニナツタト思フノデアリマスガ、是ハ十八年度ノ補助デアリマスガ、一體十七年度ハドノ位デアツタノデアリマスガ

○灘尾政府委員 十八年度豫算デ御協賛ヲ仰イデ居リマス金額ハ慥カ醫師會ガ五十五萬圓、ソレカラ齒科醫師會ガ九萬圓デアツ

タヤウニ記憶シテ居リマス、ソレカラ本年度ノ醫師會、齒科醫師會ニ對スル補助ニ付キマシテハ取調ベマシテ、後刻御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○杉山委員 今山田委員モ御話ニナリマシタヤウニ、新シイ醫師會並ニ齒科醫師會ノ性格カラ非常ナ公益的ナモノニ變ツテ來タト存ジテ居リマス、所ガ今度ノ新シイ醫療法ノ關係ニ依ル更生醫師會並ニ齒科醫師會ト云フモノノ、各自ノ負擔ト云フモノハ御承知ノヤウニ非常ニ大キクナツテ參ツタノデアリマス、即チ十圓カラ百二十圓マデ收入別ニ依ツテ負擔スルト云フコトニナツテ來テ居ルヤウニ聞及シテ居ルノデアリマス、斯様ニ會員ノ負擔ガ相當加重シテ參リマシタノニ拘ラズ、仕事ハ而モ公益的ニナツテ來テ居ル、此ノ際ニ從來ノ政府ノ補助デアツテハ相成ラナイ、少クトモヤハリ會員ニ相當ニ負擔ガ加重シテ參リマシマスヤウニ、ソレニ比例シテ否ソレ以上ニ政府ノ方ニ於テ御助成ガアツテ然レベキモノダト存ジテ居リマスノデ、今比較ヲ御伺ヒシタヤウナ次第デアリマス、ドウゾソレ等ノ點ニ付テ、今年豫算ヲ盛ツタモノデアリマシナラバ、已ムラ得ヌコトデアリマスガ、今後ニ於テ其ノ點ニ付テ仕事ノ關係上十分御考慮ヲ戴キタイト思フノデアリマス、若シ此ノ點ニ對スル御所見ガゴザイマスナラバ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○武井(群)委員 十七年度ノ補助ニ付キマシテハ先程衛生局長カラ御答ヘ致シマシタ通り、後ニ申上ゲマスガ、極メテ僅カデアツタト思ヒマス、ソコデソレト比ベマスレバ十八年度ノ豫算ハ相當殖エタコトニナリ

マス、併シ率直ニ申セバ是デ十分ダトハ思ツテ居リマセス、是ハ有體ニ申上ゲマス、事務當局トシテハ色々アレモヤツテ貫ヒタイ、是モヤツテ貫ヒタイ、就デハモウ少シト云フコトデ大藏省トモ色々交渉ヲ致シタノデアリマスガ、何分ニモ現在漸ク新醫師會ガ出來ルト云フヤウナ状態デアリマスノデ、十八年度中ニドレダケノ仕事ヤルカト云フコトノ具體的ナ事項ヲ舉ゲテ大藏省ト折衝スルコトハ至難ナコトデアリマスノデ、一應此ノ程度ニ止メテ、更ニ新シイ仕事ガ出來タ場合ニハ臨機的ナ措置ヲ執ラウト云フコトヲ大藏省トモ首腦部ノ間ニ於テ約束ヲ致シマシテ豫算ヲ決メタ次第デアリマス、大體助成ノ方針ハ會員ノ負擔等モアルコトデアリマスノデ、醫師會、齒科醫師會ノ事務所費等ニ付テハ助成ハ廢メヨウ、専ラ國庫ノ助成ハ醫師會、齒科醫師會ガ國家的ノ公共的ノ仕事ヤル、其ノ仕事ノ助成トシテ出來ルダケ差向ケルヤウニシヨウト云フヤウナ方針デアリマスノデ、實績ノ如何ニ依リマシテハ、適當ニ豫算ノ措置ガ出來得ル積リデ私共ハ居ルノデアリマス

○杉山委員 ドウゾ次官ノ御言明ソヤウニ實績ヲ見テ今後御考慮戴キタイト存ジマス

第二ニ御尋ネシタイト思ツテ居リマシタ健民修練所ノ問題ハ、昨日竹内委員ノ質問ニ依ツテ精細ニ分リマシタノデ、私ハ此ノ點ニ付テハ止メテ置カウト存ジテ居リマスガ、ソレト對蹠的ニ私ノ長ラク考ヘテ居リマシタ問題ハ、所謂筋骨薄弱ナモノヲ收容スル豫防的ナコトモ必要ナコトハ申スマデモナイコトゴザイマスルガ、今罹病シテ居ル、即チ是等ノ人達ガ回復期ニ向イテ、

サウシテ漸ク回復シタト存ジテ早ク仕事ニ就ク、或ハ家庭ニ歸ツタ、斯ウ云フコトノ爲ニ再發シテ取返シノ付カナイコトニナツテ居ル實例ガ多クアリ得ルノデアリマス、然ラバモウ少シ回復期ニ於ケル所ノソレ等ノ人ヲ收容シテ修練スル所ノ施設ガ必要デアアル、所謂私ハ回復期ノ修練所トデモ申シマスガ、サウ云フモノガ非常ニ必要デアルト存ジテ居ルノデアリマス、特ニ回復期ノ修練所トデモ申シマスルモノハ健民修練所ト違ヒマシテ、唯指導スルト云フダケデハ足りナイト存ジテ居ルノデアリマス、此處デハヤハリ療養セシメ、ソシテ適當ナ運動、或ハ勞働ヲ與ヘテ行クト云フヤウナコトヲシテ行カケレバナラナイト存ジテ居ルノデアリマス、譬ヘテ申シマスルト、私共ノ關係シテ居リマス濱松ノ市外ニアリマス所ノ聖隷保養農園ノヤウナ、アアシタ施設ヲ持ツテ行クヤウナモノガ私ハ必要デアラウト存ジテ居リマスガ、斯ウシタモノヲ少ナクモ一府縣ニ一、二箇所、或ハモツト多ク必要ト思ヒマスケレドモ、少クトモソレ位ノ數ハ設置シテ欲シイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、政府ニ於テハ回復期ノ者ニ對シマスル所ノ施設ニ付テノ何等カノ御考ヘヲ御持チデゴザイマセウカ、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 回復期患者ノ療養指導其ノ他ノ重要ナコトニ付テハ全ク御説ノ通りダト思ヒマス、昨日健民修練所ノコトヲ申シタノデアリマスガ、時ヲ急ギマシタノデ、輕症患者ト云フヤウナ言葉デ述ベテ居リマスルガ、此ノ中ノ一ツニハ初期——放ツテ置ケバ重クナルト云フ初期ノ者モアルト思ヒマスガ、モウ一ツニハ回復期ノ患者ト云

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會會議錄 第七回 昭和十八年二月二十三、四日

一三五

フモノヲ入レテ居ル積リデアリマス、隨ヒマシテ今御話ニナツタ通りノコトヲ健民修練所ニ依ツテヤツテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ取扱ヒ方ニ付キマシテハ、今モ御話ニナリマシタヤウニ、筋骨薄弱ト云フモノノ健民修練生活ノ指導ト、ソレカラ今御話ニナツタ輕症ナリ、或ハ回復期ノ患者ノ生活指導トハ態様ヲ著シク異ニスルト思ヒマス、今回ノ案ニ於キマシテモ或ハ家畜ノ飼養ヲサセルトカ、或ハ野菜ヲ作ツテ農耕作業ヲサセルトカ云フヤウナコトモ致シナガラ生活ヲシテ、サウシテ全ク健全ナル體ニ回復セシメル、斯様ナ考ヘデ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ修練所ナドニモ左様ナモノヲ收容スル所モ出來ルト思ヒマスシ、又筋骨薄弱ダケノ者モ集メルト云フヤウナ色々ナ態様ノ修練所ガ出來ル、斯様ニ考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○杉山委員 サウスルト健民修練所ノ中ニハ、回復期ノ者モアル、是ハ併シ混合デ出來ルデゴザイマセウカ、或ハ今言ツタヤウニ單獨ニ出來ルデアリマセウカ、單獨ニ出來ルトスラバ、今申シタヤウナ一府縣ニ一ツトカニツトカ云フモノガ出來ルデアラウト云フヤウナ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 其ノ健民修練所ハ千三百モ出來ルコトデアリマスノデ、只今豫算ノ上ニ色々ナ目論見トシテ書イテ居リマスノニハ、例ヘバ五十人收容、或ハ百人收容ト云フ風ニ書キ分ケテ、單價ガ幾ラト云フヤウナコトヲ書イテ居ル譯デアリマス、全國デ千三百モ出來ルト云フコトニナリマスト、自然青年ノ身體ノ狀況ニ即應シタヤ

ウニ造ルコトニナラウト思ヒマスカラ、相當數ガアリマス場合ニ於キマシテハ、回復ノ患者ダケヲ集メルト云フヤウナコトモ出來ルト思ツテ居リマス、唯茲ニ注意セネバナラヌコトハ、兎モスルト、今ノ回復期ノ患者ナリ、輕症ノ患者ナリト云フモノヲ全ク病人扱ヒシテシマフ、是ハ專門ノ醫者任セト云フコトニナルト、却テドウダラウカト云フヤウナ感ジモ致シマスノデ、出來ル限リ餘リ此ノ建物ハ病人、此ノ建物ハ筋骨薄弱者ト云フ風ニハツキリ區別セズニヤル方ガ宜イノデナカラウカト思フノデアリマサガ、取扱ヒハ御話ノヤウニ親切ニ致サナケレバナリマセヌ、併シ其ノ宿舍ナリ、飲食物等ノ違フコトハ當然デアルト思ツテ居リマス

○杉山委員 ドウカ回復期ノ者ニ付テノ一層ノ御配慮ノ願ツテ十分ノ施設ヲシテ戴キタイト云フコトダケ申上ゲマシテ、私ハ結構對策等ニ付テハ色々ゴザイマスケレドモ、又他ニ讓ルコトニ致シマス、本法ニ付テ色色御伺ヒシテ見タイト思ヒマサガ、先ツ第一ニ此ノ法律ノ實施ハ大體何時頃ニナル御見込デゴザイマセウカ

○灘尾政府委員 極力取急ギマシテ、成ベク早ク實施致シタイト考ヘテ居リマサガ、色々準備ノ都合デドウシテモ此ノ秋ニナラケレバ實施出來ナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ先程御話ガアリマシタ現在ノ醫師會、齒科醫師會ニ對スル、補助金ハ兩方合ハセマシテ二万一千圓バカリデアリマス

○杉山委員 有難ウゴザイマシタ、次ニ御伺ヒシタイコトハ藥事法ニ依リマスト、總テノ藥品ガ醫藥品トシテ一括サレルコトニ

相成リマスルガ、本法ガ今御話ノヤウニ秋頃カラ實施サレル、斯ウ云フコトニナリマスト實施後ニ於キマスル新藥、新製劑ト、賣藥トノ取扱ヒハヤハリ一ツダト云フノデ、一ツニ御取扱ヒニナルノカ、或ハ從來ノ賣藥ハ賣藥、新藥、新製劑ハ新藥、新製劑トシテ御取扱ヒニナルト云フヤウニ別々ニ御取扱ヒニナルモノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○灘尾政府委員 新藥ト賣藥トノ關係ニ付キマシテハ御話ノ通りニ、今度ノ法制ニ於キマシテハ法制上ノ區別ハ設ケナイコトニ致シテ居リマス、實際問題トナリマスト藥ニ依ツテ醫師ノ使ヒマズルモノ、或ハ一般家庭ノ藥トシテ使ハレルモノトノ實際上ノ取扱ヒニ付テハ左様ナ點デ取扱上ノ區別ハ出テ參ルノデヤナイカト思ツテ居リマス、尙ホ現在賣藥、或ハ新藥、新製劑等ニ付テ色色組織機構等ニ付テモ變ツタ點ガゴザイマサガ、是等ノ點ニ付キマシテハ今後段々整理スベキモノハ整理シテ行カナケレバナラナイト思ヒマス、此ノ法律ノ實施ニ依ツテ直チニ急激ナ變化ヲ生ゼシメル必要モナイト考ヘルノデアリマス

○杉山委員 次ニ滋養強壯劑、或ハ口中劑ト稱シマスモノニ今度ノ稅制改革デ物品稅ガ課カルコトニナツタヤウデアリマス、斯カル大衆課稅ニ對シマシテハ、酒トカ或ハ其ノ他ノモノニ對シマシテモ大藏當局ガ大衆ニ轉嫁シテ宜イ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ持ツテ居ルヤウデアリマサガ、厚生當局ハ厚生省所管ノ斯ウシタ大衆消費ニ關シマスルモノニ付テ、其ノ増額サレタ所ノ稅金ヲ是ハ大衆ニ轉嫁シテモ宜イト認メテ居ルノカ、或ハ是ハ製造業者ガ負擔スベキモノ

デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノカ、此ノ點ニ付テノ御見解ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○灘尾政府委員 御答ヘ申上ゲマス、御示シノ通りニ今度ノ稅法ノ改正ニ伴ヒマシテ、滋養強壯劑、或ハ口中劑ト云フヤウナモノニ付キマシテ一割ノ稅ガ課ケラレルコトニ相成リマシタ、厚生省ト致シマシテハ、今日ノ國ノ財政經濟等ノ實情ノ上カラ考ヘマシテ、此ノ程度ノ稅ヲ課ケラレルコトハ已ムヲ得ナイノデハナイカト云フ風ニ諒承致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ結果終局ニ於テハ是ハ滋養強壯劑、口中劑等ヲ常時用ヒマスル人達ノ負擔ニナリマシテモ、是亦已ムヲ得ナイノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、唯先達テモ御質問ガアリマシテ、其ノ際御答ヘ申上ゲタノデアリマサガ、左様ナモノノ中ニモ政府トシテ特ニ國民ノ間ニ普及シテ見タイト云フ風ナモノガアリマシタ場合ニ於テハ、大藏當局ニ於キマシテモ課稅ノ上ニ於テ相當考慮スルト云フ風ナ話合ニモ相成ツテ居リマサカ、是ガ爲ニ格別保健衛生上ニ大ナル支障ヲ生ズルコトハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 以前ニ上田委員ヤ中井委員カラ色々聽イタノデ、或ハ重複スルカモ存ジマセヌガ、一寸私ガ他ノ委員會ニ出テ居ツタ關係デ聽落シテ居リマス點モアリマスノデ、簡單ナ答辯デ結構デアリマサガ、賣藥企業整備ガ曩ニ次官通牒ニ依ツテ發セラレマシテ、他ノ府縣デハ一府縣一ツ、東京、大阪ノヤウナ所デハ數企業體ニスル、斯ウ云フヤウニ決メラレタヤウニ聞及シデ居ルノデアリマサガ、其ノ際ニ整備ノ限界トデ

デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノカ、此ノ點ニ付テノ御見解ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

モ申シマスカ、ソレヲ百万圓ト云フヤウニ
スルト云フ話デアリマスガ、其ノ百万圓ト
云フコトハ、是ハ政府ノ方カラ御指示ガア
ツタノデゴザイマセウカ、ソレトモ賣藥工業
組合ト云フモノガ政府ノ心持ヲ察シテ唯勝
手ニ申シテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點
ヲ一應御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○**灘尾政府委員** 賣藥ノ企業整備ニ付キマ
シテモ、根本ノ方針ハ政府ガ示シタモノデ
アリマス、ソレニ基キマシテ地方廳ガ直接
指導ノ任ニ當リマシテ、各府縣ノ賣藥工業
組合ガ自治的ニ整理ヲ進メテ居ラレル譯デ
アリマス、今御話ノアリマシタヤウナ整備
ノ基準ヲ百万圓ニスルカドウカト云フコト
ニ付キマシテハ、政府トシテ指示シタモノデ
ハアリマセヌ、其ノ地方ノ實情ニ即シテソ
レゾレ計畫ヲ立テル上ニ於テ必要ト認メテ
決メラレタモノデアリマス

○**杉山委員** ソレデハ地方ノ實情ニ應ジテ
單ニ百万圓ニ限ラナイデソレヨリ以下ノ所
モアルシ、ソレヨリ以上ニナツテモ別段差
支ヘナイノデスカ

○**灘尾政府委員** 政府トシテ考ヘテ居リマ
ス點ハ、要スルニ根本ノ企業整備ト云フ點
ガ實現スレバ宜シイ譯デアリマス、金額ノ
問題ニハ餘リ執着スルト云フヤウナコトハ
考ヘテ居リマセヌ、唯問題ハ企業體ヲ成ベ
ク少クシテ行キタイト云フコトガコナラノ
希望デアリマスカラ、之ニ即應シテ計畫ヲ
立テテ戴ケレバ宜シイノデアリマス

(勝又委員長代理退席、委員長着席)
○**杉山委員** 企業體ヲ少クスル、現在ノ所
デハ次官通牒ニ依ツテ數企業體ニスル、斯ウ
云フコトデ恐ラク大阪ト東京ハサウナラウト
存ジテ居リマス、又今御話ノ百万圓ト云フコ

トハ政府ノ指示シタコトデヤナイガ、大體サ
ウ云フヤウニ傳ハツテ、サウ云フ基準デ企
業整備ヲサレルノデヤナイカト云フヤウニ
考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソコデ一旦百
萬圓程度デ切ツテ企業整備ヲスル、所ガ政
府ガ出來ルダケ少イ方ガ宜イノダト云フ御
意思カラ、再度賣藥業界ニ於テ企業整備ガ
起ルノデハナイカ、斯ウ云フ杞憂ヲ業者間
ニ持ツテ居ルヤウデアリマスガ、政府ノ方
ニ於テハ時ニ依ルト再度賣藥ノ企業整備ヲ
スル、斯ウ云フヤウナ御意思デモアルノデゴザ
イマセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○**灘尾政府委員** 先程御答ヘ申シマシタ際
ニ言葉ガ足ラナカッタカト思ヒマスガ、政
府ト致シマシテハ、地方ノ賣藥工業組合ニ
於キマシテ、其ノ地方ノ實情ニ鑑ミ、又政
府ノ方針ニ即應致シマシテ、決メラレマシ
タ計畫ニ付キマシテハ、極力是ハ實現ヲ希
望シテ居ルコトハ申スマデモナイノデアリ
マス、同時ニ現在ヤツテ居リマス企業整備
ニ次イデ、更ニ今後企業整備ニ掛ルコト
ハナイカト云フ御趣旨ヲ御尋ネト思フノデア
リマスガ此ノ問題ハ吾々ト致シマシテモ、
何モ好シク企業整備ヲヤラウト云フモノデ
モゴザイマセヌ、唯客觀情勢ニ鑑ミマシテ、
企業整備ヲ必要トスル事態ヲ生ジマシタノ
デ、各地方ノ方ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ルヤ
ウナ狀況デアリマス、只今ノ所現在ノ企業
整備ヲヤリマシタ上ニ、更ニ又追掛ケテ企
業整備ヲヤルト云フ風ナコトハ考ヘテ居ラ
ヌノデアリマス、併シ是亦事態ノ推移ニ伴
ヒマシテ、是デ以テ止メテ置ク譯ニハ行カ
ナイト云フ場合ガ起ラナイトモ限ラナイ
ト思ヒマスガ、目下ノ所更ニ追掛ケテ企
業整備ヲシヨウト云フ考ヘハ持つテ居リマ

セヌ
○**杉山委員** 次ニ賣藥ノ方ノ企業整備ハ出
來マシタガ、新藥新製劑ノ企業體整備モナ
サレルカノヤウニ一寸聞イタノデアリマ
スガ、ヤハリ是モナサルノデアリマスカ、
ナサレルト致シマスマナラバ、其ノ際ノ基準、
先程申シマシタヤウニ、賣藥ト同ジヤウニ
百万圓ニスルトカ、二百万圓ニスルトカ、サ
ウ云フ大體ノ御氣持デモ伺フコトガ出來マ
スレバ大變仕合セダト思ヒマス

○**灘尾政府委員** 新藥等ニ付キマシテモ、
今日企業整備ヲナスベキ客觀情勢ニアル、
斯様ニ考ヘテ居リマシテ、目下色々調査ヲ
致シテ居ル次第デアリマスガ、マダ新藥其
ノモノニ付キマシテ、ドウ云フ形態ヲ以テ
付キマシテ、具體的ニ決定致シテ居リマセヌ、
マダ調査中デアリマスノデ、御諒承ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○**杉山委員** ソレデハ調査中デアルガ、近
ク出來ル豫定デゴザイマセウカ、ソレトモ
マダ調査研究中デ、サウ近クハ出來ナイノ
ダ、斯ウ云フ見透シデセウカ、一寸見透シ
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○**灘尾政府委員** 政府ト致シマシテハ成ベ
ク速クニ調査ヲ完了致シマシテ、出來ルダ
ケ早く着手致シタイト考ヘテ居リマス

○**杉山委員** ソレカラ基準ノコトニ付キマ
シテ一寸才答ヘガナカッタノデアリマス
ガ……

○**灘尾政府委員** 先程御答ヘ申上ゲマシタ
如ク、具體的ニマダ申上ゲル程度ニ達シテ
居リマセヌ、御諒承願ヒタイト思ヒマス

○**杉山委員** 賣藥ナリ、新藥新製劑ナリガ、
當然近イ將來ニ企業整備ガ出來ルト思フノ

デアリマスガ、曩ニ山田委員モ御話ガアリマ
シタヤウニ、色々資材ノ點ニ付テ過不足ガ
アルト思フノデアリマス、サウ云フ會社ニ
對シテ、整理後モ十分資材ヲ斡旋スルト云
フヤウナ御骨折ヲ役所トシテハナサルノデ
アリマセウカ、或ハモウ會社ハ會社自體デ
勝手ニヤツタラドウダト云フノデアリマス
カ、サウ云フ點モ整理シタ以上ハ十分資材
ヲ廻シテヤツテ、生産能力ヲ出來ルダケ高
メテ行クト云フ御指導ガアルモノデゴザイ
マスカ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ

○**灘尾政府委員** 吾々ト致シマシテハ政府
ノ方針ニ即應シマシテ、整理ヲ遂ゲラレマ
シタ企業體ニ對スル資材ノ供給ト云フコト
ニ付テハ、極力努力致シタイト考ヘテ居リ
マス

○**杉山委員** 第二十六條ノ命令事項ノコト
ニ付テ承リタイノデアリマスガ、戴イタ參
考資料ニ依リマス、第一ハ特定醫藥品ニ
付テハ、一定ノ機關ノ検査ヲ受ケシムル、
斯ウゴザイマスガ、此ノ第一ノ特定ノ醫藥
品ト云フノハ、何ヲ大體御指シニナツテ居
ラレマセウカ、又此ノ検査ヲスルト云フノ
ニ一定ノ機關ガアルト云フノデスカ、ソレ
ハドウ云フ検査機關デアルカ、其ノ機關ノ
機構ト申シマスガ、之ヲ御伺ヒシタイノデ
アリマス、序ニ尙ホ命令事項ヲ併セテ御伺
ヒ致シマスガ、第二ノ日本藥局方外醫藥品
ニ付キ必要ニ應ジテ規格ヲ定メル、斯ウ云
フコトニナツテ居リマスガ、局方外ノ藥品ノ
規格ヲ定メルコトハ、勿論必要ナコトダト
存ジテ居リマス、併シ其ノ規格ヲ定メルモ
ノモ、ヤハリ先刻ノ特定ノ機關デ御定メニ
ナルノデアリマスガ、サウシテ何カ資材ガ
足りナイト云フコトノ爲ニ、規格カラ落テ

ルト云フヤウナコトガアリハシナイカ、若シ今マデヤウテ居ツタモノガ、規格外ニ落チタト云フコトニ依ツテ、之ヲ製造シテ居リマシタ會社ナリ、工場ト云フモノガ、非常ナ打撃ヲ受ケルコトモアラウカト存ジテ居リマスガ、サウ云フ場合ニハ今申シマスヤウニ、資材ナドヲ斡旋シテ規格ニ合フヤウニ援助デモサスノデアリマセウカ、第二十六條ノ第二項ノ命令事項ニ付テノ御示シヲ戴キタイト思ヒマス

○灘尾政府委員 第二十六條ノ第二項ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、只今ノ所具體的ニ斯ウ云フ品目ニ付テ豫想シテ居ルト云フコトハナイノデゴザイマス、心持ヲ申シマスレバ保健衛生上極メテ、効果がアルモノトシテ、國民ノ間ニ廣ク用ヒラレテ居ル藥品、或ハ滋養強壯劑ト云フモノモ入ルカト思ヒマスガ、國民ノ中ニ廣ク用ヒラレテ居リ、保健衛生上相當重要ナ地位ヲ持ツテ居ルモノニ付キマシテハ、政府ニ於テハ此ノ規定ヲ發動シテ、必要ニ應ジマシテ或ハ特定機關ノ検査ヲサセル、或ハ更ニ進ンデハ日本藥局方ト云フ所マデハ參リマセヌケレドモ、一應ノ規格ヲ定メマシテ、之ニ依ツテ製造ヲ行フ、詰リ保健衛生上相當重要デアリ、且ツ廣ク用ヒラレヤウナ種類ニシテ適正ナモノガ市場ニ出ルヤウニ致シタイト云フ趣旨ヲ以テ、此ノ規定ヲ考ヘタ次第デアリマス、特定機關ト申シマスノハ、大體ニ於キマシテ現在ニ於テハ、衛生試驗所ト云フヤウナモノヲ御考ヘ戴ケバ結構ダト思フノデアリマス、尙ホ規格等ガ定マリマシタ場合ニ於テハ、ヤハリ思ハザル損害ヲ業者ニ與ヘルト云フヤウナコトガアツテハ如何カト思ヒマスノデ、經過的ノ

措置トシテハ相當考慮シナケレバナラヌ點モアラウカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ萬全ヲ期スル積リデアリマス

○杉山委員 私人事務當局ニ御伺スル點ハ此ノ程度デ終リタイト思ヒマス、大臣ニ對スル質疑ハ保留サシテ戴キタイト思ヒマス

○菅又委員 杉山サシノ御質問ニ關聯シテ一寸當局ニ御尋ネテ致シマスガ、昨日私ガ質問ヲ申上ゲマシタ「ビー・シー・ジー」ノ注射ハ、強制的ニハ直グ接種ヲシナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、サウ致シマスルト盛岡中學或ハ岩手中學デハ内政部長ヨリ強制方ノ要請ニ基キマシテ本年ヤツタ、併シナガラ非潰瘍者及「ビー・シー・ジー」ノ接種ヲ拒ンダ者ニ對シテハ強制注射ヲ施行スル、宮坂中尉ノ言ニ依ルト、サウ言ツタト云ツテ居ルガ、此ノ事實ハ果シテ本當デアルカ嘘デアルカ、内政部長ノ強制接種方ノ要求ガ誤ツタカドウデアルカ、其ノ眞偽ヲ一ツ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○灘尾政府委員 昨日モ御答ヘヲ申上ゲマシタ如ク、盛岡中學ニ於ケル事柄ニ付キマシテハ、實ハ詳細私共ハ承知致シテ居リマセヌ、之ニ付キマシテ的確ナルコトヲ御答ヘ申上ゲルコトハ只今ノ所致シ兼ネルノデアリマス、唯果シテソレガ強制デアツタカドウカト云フ風ナ點ハ、餘程見ル人ニ依ツテ違フノデハナイカト思ヒマス、内政部長ト致シマシテ斯ウ云フ「ビー・シー・ジー」ト云フヤウナモノヲヤツタラドウカト云フ風ニ獎メ

ル意味ニ於キマシテヤリマシテモ、ソレハ又取ル人ニ依リマシテハ、是ハ一種ノ命令デア

ル、強制デアルト云フ風ニ取ル場合モナキニシモアラズト思フノデアリマス、此ノ點ハ昨日モ申上ゲマシタ如ク、的確ナル資料ヲ

持チマセヌノデ御答ヘ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、唯若シ地方ニ於キマシテ強制的ニ、命令的ニ其ノ意ニ反シテ「ビー・シー・ジー」ノ接種ヲスルト云フヤウナコトガゴザイマスレバ、是ハ少クとも厚生省ノ當局ノ考ヘトハ違ツテ居ル、今後ノ指導ノ上ニ於キマシテハ十分留意シテ參リタイト思ツテ居リマス、現ニ厚生省ト致シマシテハ、地方ノ内政部ニ對シマシテ、最近モ「ビー・シー・ジー」ノ接種ニ付テハ、特ニ注意スルヤウニト云フコトト通牒ヲ發シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、吾々ノ氣持ノ上ニ於テ之ヲ強制スル趣旨デナイト云フコトハ昨日申上ゲマシタ通りデゴザイマス

○菅又委員 只今ノ御答辯デサウ追究致シマセヌガ、私共醫業者ノ立場カラ申シマスルト、先日申上ゲマシタ通り、新聞紙上デハ「ビー・シー・ジー」ノ效果百パーセントノ副作用ナシト云フヤウナコトヲ立派ニ書キ立テマシテ、サウシテ傳フル所ニ依リマスルト、岩手縣盛岡中學デハ注射ヲシテ見タガ、ドウモ注射ノ結果ガマツカツタ、ソレデハ、一ツ止サウデヤナイカト云フヤウナ風デ止シタノデハナイカ、サスレバ私共考ヘルノニハ、大切ナ人間ヲ試驗材料ニシテ、マツカツタラ今度ハ止サウト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、併シハ只今局長殿ノ御答辯ニ依リマスルト、サウ惡ドク解釋シテモ私共ノ要求ガ無理ナヤウニ思ヒマス、昨日モ各委員カラ續、御説ガアリマシタ通り、結核ト云フモノハ餘程至難ナ病氣デ、今後少シデモアレニ效果アル藥ガ出來マスコトハ洵ニ喜バシイ次第デゴザイマスガ、併シ「ビー・シー・ジー」ノヤウニ一方ハ非常ニ效果ノアルヤウナ宣傳ヲスル、

又昨日モ申上ゲマシタ通り、相當ノ大家ガ之ニ對シマシテ相當ノ反對説モ唱ヘラレテ居ルヤウナ今日、少クとも強制的ニ接種方ヲ獎メルト云フコトハ、醫事衛生ノ爲ニ大イニ考慮ヲシテ戴カナケレバナラヌコトデナイカト思ヒマスルノデ、重ネテ當局ノ御意思ノアル所ヲ御尋ネシタヤウナ次第デゴザイマス、ソレニ對シマシテ御答辯ヲ戴キマシタノデ、是デ満足致シマス

○清水委員長 只今ノ「ビー・シー・ジー」ノ問題ニ付キマシテ、實ハ私ノ所ヘモ大分陳情ガ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ學說上二ツアリマシテ、「ビー・シー・ジー」ガ有益ナリト云フ學說ト、之ヲ實地ニ行ツタ結果、死亡者ヲ多ク作ツタト云フ實例ガアルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、文部省ノ方ノ方針ト厚生省ノ方針ガ大分違フト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ根本的ノ問題デアリマスカラ、其ノ藥ガ果シテ有害デアルカドウカ、其ノ根本ヲ一ツ調査致シマシテ、サウシテ厚生當局トシテハ方針ヲ定メラレンコトヲ私カラモ希望シテ置キマス——西尾君

○西尾委員 結核對策ニ付キマシテ二、三御聽キ致シタイノデアリマスガ、我が國ノ結核ノ死亡率ガ非常ニ高イト云フコトハ青春期ト云フヨリハ、寧ろ早春期ノ罹病率及ビ死亡率ガ非常ニ高イノデアリマシテ、其ノ時ノ山ノ「ピーク」ヲ切りサヘスレバ、大體諸外國ノ非常ニ低イ、即チ一万人ニ對シテ死亡率七人位ノ程度ノ状態ニスルコトガ出來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、隨テ我が國ノ結核對策ノ重點ハ早春期ニ於ケル罹病率ヲ少クスル、又之ヲ療養ニ依ツテ死亡率ヲ少クスルト云フコトニアルト思フ

又昨日モ申上ゲマシタ通り、相當ノ大家ガ之ニ對シマシテ相當ノ反對説モ唱ヘラレテ居ルヤウナ今日、少クとも強制的ニ接種方ヲ獎メルト云フコトハ、醫事衛生ノ爲ニ大イニ考慮ヲシテ戴カナケレバナラヌコトデナイカト思ヒマスルノデ、重ネテ當局ノ御意思ノアル所ヲ御尋ネシタヤウナ次第デゴザイマス、ソレニ對シマシテ御答辯ヲ戴キマシタノデ、是デ満足致シマス

○清水委員長 只今ノ「ビー・シー・ジー」ノ問題ニ付キマシテ、實ハ私ノ所ヘモ大分陳情ガ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ學說上二ツアリマシテ、「ビー・シー・ジー」ガ有益ナリト云フ學說ト、之ヲ實地ニ行ツタ結果、死亡者ヲ多ク作ツタト云フ實例ガアルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、文部省ノ方ノ方針ト厚生省ノ方針ガ大分違フト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ根本的ノ問題デアリマスカラ、其ノ藥ガ果シテ有害デアルカドウカ、其ノ根本ヲ一ツ調査致シマシテ、サウシテ厚生當局トシテハ方針ヲ定メラレンコトヲ私カラモ希望シテ置キマス——西尾君

○西尾委員 結核對策ニ付キマシテ二、三御聽キ致シタイノデアリマスガ、我が國ノ結核ノ死亡率ガ非常ニ高イト云フコトハ青春期ト云フヨリハ、寧ろ早春期ノ罹病率及ビ死亡率ガ非常ニ高イノデアリマシテ、其ノ時ノ山ノ「ピーク」ヲ切りサヘスレバ、大體諸外國ノ非常ニ低イ、即チ一万人ニ對シテ死亡率七人位ノ程度ノ状態ニスルコトガ出來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、隨テ我が國ノ結核對策ノ重點ハ早春期ニ於ケル罹病率ヲ少クスル、又之ヲ療養ニ依ツテ死亡率ヲ少クスルト云フコトニアルト思フ

ノデアリマス、近來其ノ點カラ見マスルト、體力法ノ實施、其ノ他ノ努力ニ依リマシテ、結核罹病者ヲ早期ニ發見スルト云フコトハ相當行届イテ來タノデアリマスガ、發見シタ者ヲ早期ニ於テ治療セシメ、詰リ早期治療ト云フコトガ甚ダ不十分デアルト思フノデアリマス、是ハ又非常ニ困難デアル、困難デアルダケニ非常ニソレガ不十分ナ状態ニ放任——放任ト云フテハ惡イノデアリマスガ、致シ方ナイトシテ置イテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此處ヲ衝カズニハ結核對策ハ成立タスト思ヒマス、早期發見、而シテ發見シタ者ニ對シテ早期ニ治療スルト云フ施設ニ付キマシテ現在下ノ程度ニヤツテ居ルカ、又將來下ノ程度ニヤラナケレバナラスト云フ抱負ヲ持ツテ居リマスカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○**灘尾政府委員** 結核ノ早期發見ト云フコトハ、結核ノ豫防撲滅ノ上ニ於キマシテ最も大切ナ問題デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、御話ノ通りデアリマス、此ノ早期發見ニ付キマシテハ、從來早期發見ヲ目的トシテ集團檢診ノ基準ヲ定メマシテ、國民體力法ノ體力ノ管理、或ハ工場ニ於ケル健康診斷、健康保險ノ保健施設トシテ行ツテ居リマスル健康診斷ト云フヤウナコトニ付キマシテハ勿論ノコト、各省間ニ於キマシテモ協議ヲ遂ゲマシテ、此ノ集團檢診ノ基準ニ依ツテ、結核ノ早期發見ニ努メルト云フヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリマス、尙又保健所、或ハ健康相談所ノ活動ニ俟ツベキ分野ガ非常ニ多イノデ、今日マデ其ノ方面ノコトニ付キマシテ努力モ致サレテ居ル次第デアリマスガ、何分ニモ保健所トカ、健康相談所ノ數ガマダ御承

知ノヤウニ少イノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ急速ニ擴充致シマシテ、結核ノ早期發見ニ努力致シタイ、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居ル次第デアリマス、更ニ又年々豫算モ戴キマシテ農村ノ歸郷者乃至ハ其ノ家族ニ對スル檢診ト云フコトモ行ツテ居ルノデアリマス、段々實績ヲ擧ゲテ居ルヤウニ見テ居ルノデアリマスルガ、明年度ハ政府ノ結核對策ニ關スル施設ガ一段ト強化セラレタルノニ伴ヒマシテ、明年度豫算トシテ御協賛ヲ仰イデ居リマス中ニモ、農村結核對策ノ經費ニ付キマシテ、從來ヨリモ可ナリ増額モシテ御協賛ヲ得タイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、之ヲヤルコトノ第一ハ、ヤハリ希望者ニ付テノ檢診並ニ其ノ希望者ノ家族ニ對スル檢診ト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマス、從來大體左様ナ事柄ヲ致シテ居ル次第デゴザイマスガ、御話ノ點ハ洵ニ御尤モト思ヒマスカラ、出來ルダケ各方面ト協力致シマシテ結核ノ早期發見ト云フコトニ付キマシテハ今一段ノ成果ヲ擧ゲルヤウニ努力シナケレバナラスト思ツテ居リマス

放ツテ置ケナイノデアリマスカラ、ソレニ對シテ御計畫ナリ、又御方針ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス

○**灘尾政府委員** 私御尋ノ御趣旨ヲ取違ヘマシテ失禮致シマシタ、從來結核ノ檢診ヲ行ヒマシテモ、其ノ爾後ノ始末ガ十分ニ行カナイデヤナイカト云フ點ハ、洵ニ御指摘ノ通りダト思フノデアリマス、施設ガ不十分デアリマスル爲ニ其ノヤウナ結果ニナツテ居ルト思フノデアリマス、此ノ點ハ今回ノ政府ノ結核對策要綱等ニ於キマシテモ、特ニ重點ヲ置イテ考ヘテ居ル事柄デゴザイマス、ソレガ對策ト致シマシテハ、保健所、或ハ健康相談所等ニ於ケル指導ヲ更ニ徹底スルト云フコトニアルト思フノデアリマス、同時ニ結核ノ療養所ノ擴充デアリマスルカ、或ハ又國民健康保險ノ擴充普及ニ依リマス所ノ健民修練所ノ施設ノ徹底ノ實施ト云フヤウナコトガ、早期發見ニ伴フ施設トシテ考フベキ事柄デヤナイカト思ツテ居リマス

○**西尾委員** ドウモ伺ツテ見マシテモ、其ノ點ガ政府ニ於テモヤハリ甚ダ十分デナイヤウニ思ヒマス、非常ニ物足ラヌノデアリマスガ、詰リ結核ノ菌ヲ保有シテ居ルト云フコトヲ發見スル、併シ之ヲ治療スルト云フノニハ費用ガ掛ル、長イ間掛ルノデアリマスカラ、例ヘバ醫藥ニ付テ、特ニ結核ニ關スル醫藥品ハ國家ガ補助シテ半額ニスルトカ、藥ヲ長キニ互ツテ服用出來ルヤウニ工夫スルトカ、或ハ又工場デ働イテ居ル者デ結核ニ罹病シテ居ルコトガ分ツタト致シマスナラバ、榮養ヲ攝ツテ休養ヲ與ヘナケレバナラス、所ガ工場ヲ休ムトハ生活ノ

途ガ斷タレマシテ榮養ヲ攝ルコトモ出來ナイ、又モウ一ツハ日光ナリ、新鮮ナル空氣ヲ攝取スル爲ニハ轉地スル必要ガアル、サウ云フコトニ付テモ、實際上費用ガナイト云フ此ノ生活問題、費用ノ問題ト關聯致シマシテ、是ハ非常ニ困難デアリマス、ダカラ私ハ後廻シニナツテ居ルノデヤナイカト思フケレドモ、此處ヲ衝カナケレバ、何ダカ枝葉ノ方ヲ衝イテ居ツテ、根本ノ所ヲ衝カヌト云フ所ニ今日ノ日本ノ結核對策ノ一番弱點ガアルノデヤナイカ、斯ウ思フノデアリマシテ、此ノ點ニ對シテモツト深イ、又徹底シタ對策ガアルノデヤナイカ、對策ハ立ツテ居ルケレドモ、金ガナイノデ出來ヌト云フノデアルカ、對策ガナイノデアルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○**武井(總)政府委員** 結核豫防撲滅上早期發見ノ必要ナコト、而シテ早期ニ發見セラレタモノノ處置ノ重要ナコトハ御説ノ通りデアリマス、ソコデ、早期發見セラレタモノニ對スル各種ノ措置ニ付キマシテ、只今衛生局長ヨリ申上ゲタ譯デアリマスガ、更ニ重ネテノ御尋ネデアリマスノデ、若干ソレヲ敷衍致サウト思ヒマスガ、檢診ノ結果結核ノ患者ナリト診斷サレタ中ニ極メテ輕症ナ者、或ハ發見ガ遅レテ居ツテ相當本當ノ結核ニナツテ居ル者モアルト思ヒマス、其ノ本當ニ輕症ノ患者ニ付キマシテハ、是ハ速カニ手當ヲスルコトガ一番大切ナコトデアリマス、之ニ付キマシテハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、健康保險ニ於キマシテハ、國民健康保險ニ付キマシテモ、職員健康保險ニ付キマシテモ、或ハ船員健康保險ニ付キマシテモ、結核ノ給付ノ期間ヲ延長スルト云フヤウナコトモ致シマシテ、出

第三九

來ル限リ其ノ療養ノ實ヲ擧ゲヨウトシテ居ル譯デアリマス、更ニ又自宅ニ於テ靜養スル者ニ付キマシテハ、先ニモ述ベマシタ保健所ニ於テ醫療ヲ指導スルト云フコトガ一ツノ重要ナ仕事デアリマシテ、是ハ保健所網ノ確立ト共ニ一層效果ヲ擧ゲルコトト思ツテ居リマス、サウシテ健民修練所ニ於キマシテハ此ノ早期ニ發見致シマシタ輕症患者ハ健民修練所ニ收容致シタイト云フ考ヘテ持ツテ居ル譯デアリマスガ、昨日モ申上ガマシタヤウニ、健民修練所デハ取敢ヘズ徵兵適齡前ノ一、二年ノ者ヲ十八年度ニハ實行シヨウト云フコトニナツテ居リマスガ、段々ト是ガ手ガ伸ビマスレバ、自然ニソレ等ノモノニマデ行クコトニナツテ居リマス、而シテ健民修練所ニ於テヤルコトモ、御話ノヤウニ、之ニ對シテハ休養ヲ與ヘルコト、榮養ヲ與ヘルコトト云フコトガ主タル具體的ノ仕事ニナルト思ヒマス、サウ云フ風ニシテ出來ル限リ此ノ健民修練生活ニ於テ速カニ健全體ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○西尾委員 伺ヒマス點ハ私ノ希望カラ行キマス、尙ホ遙カニ遠イヤウナ氣ガスルノデアリマスガ、ヤハリ是ハ自分ハ結核ニ罹ツテ居ルト云フコトヲ皆考ヘテ、早ク癒シタイト思ヒナガラ、主トシテ經濟上ノ事情デソレガ實行出來ナイト云フノガ現状デアリマスカラ、是ハ例ヘバ先程申シマシタヤウニ、結核患者ノ醫藥ニ付キマシテハ、特別ニ政府ガ補助スルトカ、何トカシテ安ク之ヲ賣ラセルヤウニスルトカ、或ハ又工場労働者ノ場合ニ於テハ、モツト注意深ク之ヲ嚴重ニ取締リマシテ、例ヘバ從來ヤツテ來タ仕事ガ筋肉ノ勞働デアリマスルナラ

バ、休マセテシマフト云フコトハ生活ニ差支ガアリマスカラ、輕症ナ者デアリマスナラバ、サウ云フ者ハ少シ手先ノ仕事ヲスルヤウナ樂ナ方ノ仕事ニ變ヘサセルト云フヤウナコトニ付テ十分ニ政府ガ指導スル、或ハ又勤務時間ニ於キマシテモ、殘業ハ絕對ニヤラナイ、又或ル場合ニ於テハ、普通勤務時間ガ十時間デアルト致シマスルナラバ、之ヲ八時間ナリ、或ハ七時間ニ制限スル等ノ、サウ云フ所マデ進メルヲデナケレバ是ハイカスノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハマア政府ニ於テモ費用ノ掛ルコトデモアリマスシ、面倒ナコトデアリマスケレドモ、一段ト足ヲ踏込マナケレバ早期ノ患者ヲナクスルコトガ出來ナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ特ニ當局ノ一層ノ御努力ヲ御願ヒ致シテ置キマス、次ニ人工氣胸療法ノ問題デアリマスガ、人工氣胸療法ハ、私ハ色々書物等デ、素人デアリマスケレドモ此ノ問題ヲ非常ニ重大視致シマシテ、人工氣胸療法ノコトヲ色々學界ニ於ケル報告ト、有名ナ學者ノ論議ヲ讀ンデ見マス、大變良イヤウニモ言ハレルノデアリマスガ、又實際ノ臨床シテ居リマス醫師ニ聽キマスルト、大シテ良イヤウニモ言ハナイノデアリマス、此ノ人工氣胸療法ニ付テ當局ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、若シ是ガ良イトスルナラバ、是ハ餘リ知ラヌ人モアルヤウデアリマスルシ、又醫者トシテモ之ニマダ遲疑遠慮シテ居ルヤウナノモアルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テモ積極的ナ何カ御指導ガ望マシイ、此ノ人工氣胸法ハ、人口氣胸ヲシナガラ輕イ仕事モ出來ルト云フ所ニ、非常ニ戰時トシマシテハ重要ナ

特長ガアラウカト思フノデ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○灘尾政府委員 人口氣胸ニ付テ御尋ネニ對シテハ、私專問デゴザイマセヌノデ十分分リマセヌガ、聞及ンデ居リマス點ヲ申上ゲマス、人口氣胸法ハ御話ノ如クニ今日相當效果ノアルモノトシテ用ヒラレテ居ルヤウデゴザイマスガ、但シ此ノ方法ノ採用ニ付テハ相當熟練ヲ要スル點モゴザイマスシ、又適應者ヲ能ク選ンデヤラナケレバナラスト云フ性質ノモノデアリマスノデ、唯直グニ誰デモヤツテ宜シイト云フモノデハナイト考ヘラレルノデアリマス、隨テ今日政府ハ特別ニ深い關係ノゴザイマスル結核豫防會等ニ於キマシテ講習ヲ行ツテ居リマス、其ノ講習ニ依ツテ療法ノ普及、醫術ノ向上ニ付テ努メテ居リマスルヤウナ次第デアリマス、其ノ程度デゴザイマス

シイモノデアルカドウカ、望マシイトスルナラバソレニ對シテ擴張ト云ヒマスルカ、是等ヲ行ハレルヤウナ施設ニ付キマシテ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナラレテ居リマスカ

○灘尾政府委員 結核ノ外科的療法ハ之ニ丁度適應シタ者ヲ選ビマシテ行ヘバ相當良イ效果ヲ擧ゲルモノノヤウニ伺ツテ居リマスガ、唯總テノ結核患者ニ施ス譯ニハ參ラナイ、手術ノ適否トカ、手術ノ方法ト云フヤウナモノノ決定ニ付テ相當慎重ナ考慮ヲ必要トスルモノト思ウテ居ルノデアリマス、施設ト致シマシテハ、只今ノ所デハ、先程モ一寸人工氣胸法ノ所デ申上ゲマシタガ、結核豫防會ニ對シマシテ、結核ノ外科的治療法ニ付テノ研究ヲ進メテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○西尾委員 モウ一遍御伺ヒ致シマスガ、結核ノ外科手術ノ問題デアリマスガ、私ノ知ツテ居リマスル人デ非常ニ堪能ナ人ガアリマシテ、其ノ醫師ニ言ハセマスルト、モウ之ニ限ル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、但シ結核ノ外科手術ト云フコトニナリマスルト、内科的ナ手腕モ十分ニ具ハリ、而シテ外科的ナ手腕ニ於キマシテモ普通ノ内臓外科等ヨリモ更ニ一層熟練ヲ要スルト云フヤウナ點モアリマシテ、俄カニサウ必要ダカラト云ツテ直グ殖ヤス譯ニ行カナイサウデアリマスガ、併シソレダケニ若シ又良イモノデアルトスルナラバ、政府ノ御方針デアサウ云フモノヲ今ノ内カラ相當準備スルト云フコトデナケレバナラスノデハナイカト思フノデアリマスガ、先ヅ第一ニハ結核ノ外科手術ト云フコトガ望マ

○西尾委員 私人ハ勤務局長カ大臣ニ御伺ヒ致シタイ點ガ、マダ一、二點アリマスケレドモ、保留シテ次回ニ致シタイト思ヒマス

○清水委員長 大臣ハ今三十分位經ツテ參リマスケレドモ、他ニマダ大臣ニ對スル保留ガ一、二アリマスカラ、其ノ人ガ濟ンデ時間ガアリマスレバ今日出來マスシ、サウデナケレバ明日カ、明後日ニ御願ヒシタイソレナラ他ノ機會ニ願ヒマス——星一君

○星委員 私ハ大臣ニ御願ヒシタイノデスガ、出席サレテカラダト時間ガ掛リマスカラ、此處ニ次官モ局長サンモ居ラレマスカラ、私ガ申上ゲタコトヲ大臣カラ御返事ヲ願ヒタイト思ヒマス

○清水委員長 結構デアリマス、質問ダケ御願ヒ致シマス

○星委員 其ノ積リデ次官ト局長サンニ御願ヒシタイノデアリマス、世界ト云フガ世界トハ結局人ノ世界デアリマス、國

○西尾委員 伺ヒマス點ハ私ノ希望カラ行キマス、尙ホ遙カニ遠イヤウナ氣ガスルノデアリマスガ、ヤハリ是ハ自分ハ結核ニ罹ツテ居ルト云フコトヲ皆考ヘテ、早ク癒シタイト思ヒナガラ、主トシテ經濟上ノ事情デソレガ實行出來ナイト云フノガ現状デアリマスカラ、是ハ例ヘバ先程申シマシタヤウニ、結核患者ノ醫藥ニ付キマシテハ、特別ニ政府ガ補助スルトカ、何トカシテ安ク之ヲ賣ラセルヤウニスルトカ、或ハ又工場労働者ノ場合ニ於テハ、モツト注意深ク之ヲ嚴重ニ取締リマシテ、例ヘバ從來ヤツテ來タ仕事ガ筋肉ノ勞働デアリマスルナラ

家人ノ國家デアリマシテ、結局人ニ關係シマス、人ニ關係シタモノデ役所ノ中デ一番直接關係ノアルハ文部省ト、厚生省ダト思ヒマスガ、其ノ中デモ私ハ厚生省ガ一番大キイ任務ガアルノデヤナイカト思ヒマス、健康ナル身體ニ健康ナル精神ガ宿ル、斯ウ言ハレテ居リマス、其ノ健康ガ厚生省ノ任務デアラウト思フノデアリマス、厚生省ハ自己ノ任務ニ付テ御分リデアラウケレドモ、一段ト任務ノ大キナコトヲ發見シテ

賞ヒタイ、斯ウ御願ヒシタイノデアリマス、個人ハ收入ノ大部分ハ生活ニ使フノデアリマス、此ノ生活ハ衣食住ニ互ツテ居リマス、健康ト云フコトハ此ノ衣食住ニ關係シテ居ルノデアリマスカラ、茲デ厚生文化ト云フカ、或ハ厚生學ト云フカ、豫防醫學マデ行カウト云フナラバ、厚生哲學ト云フヤウナコトガ、出來ナケレバナラスト、私ハ斯ウ思ツテ居リマス、個人ハ此ノ衣食住ノ爲ニ收入ノ全部ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスカラ、國家モ厚生省ニハ大キナ資金ヲ與ヘテ、此ノ衣食住ヲ改善シテ、サウシテ健康ナル身體、健康ナル精神ヲ作ルコトニウント働クコトニシテ貴ヒタイト思ヒマス、デスカラ國民ハ厚生省ガドシナ大キナ金ヲ使ツテモ、ソレニ不服ハ言ハス管デアリマス、此ノコトヲ能ク考ヘテ頂戴シタイト思ヒマス、ソコデ治療醫學ヨリ豫防醫學ト云フテ居ラレマスガ、ソレニハ衣食住其ノモノヲ豫防的ニスルト云フコトガ必要デハナイカト思ツテ居リマス、結核豫防ノ話ヲ言ハレマスケレドモ、其ノ説明中結核豫防、豫防醫學ト言ヒナガラモ、治療ノ方ニ因ハレテ居ルヤウデアリマス、是モ今ハ已ムヲ得マセヌ、ソレデアリマスカラ、衣食住其ノモノヲ豫防的

ニスルト云フコトニ御考ヘテ願ツタナラバ、病氣ニナルコトヲ防ギ得ルダラウト私ハ考ヘマス、

ソコデ衣、即チ着物、服裝デアリマス、極ク要點ダケ言ヒマス、例ヘバ服裝ノ中デモ女ノ服裝デアリマスガ、殊ニ今日女子ナドガ小學校、高等女學校へ行クノニ、シヨート・スカート、極ク短イ「スカート」ヲ着マシテ、脛ニハ薄イ靴下ヲ穿イテ居リマス、外國ナラバ是デ宜イカモ知レナイ、厚イ外套ヲ着テ、家ノ中ガ温ク出來テ居ル所ナラバ宜イカモ知レナイケレドモ、日本ノヤウナ所デ、小學校カラ高等女學校ノアノ女子ガアア云フコトデ居ルト、大キクナツテ、結婚時期ニナツテ、或ハオ母サンニナル時ニナツテ、キツト私ハ故障ガ來ルト思ヒマス、デアルカラモンペト云フ私等ノ郷里ノ方ノモノデアリマスガ、アレガ大部分會ニモ使ハレテ居リマスカラ、アレヲ實用化シ、及ビ美化スルト云フヤウナコトニスル、此處ニ日本婦人ノ着物ト云フコトモ私ハ考ヘラレルト、斯ウ思フノデアリマス、同時ニ履物デアリマス、履物モ今ハ靴ガナイノデアリマシテ、雨が降ツテモ靴ヲ履イテ行キマスガ、其ノ靴ノ裏ニ孔ガ明イテ居リ、ソレカラ水ガ入リマス、ソレガ非常ニ健康ニ害ヲシテ居ル、今ノ青年ノ大部分ガ結核ニナルト云フコトハ、靴ヲ履イテ足ヲ濡ラスコトカラ來ルコトモ多イダラウト私ハ思ヒマス、デアリマスカラ下駄ノ改良ニ依ツテ靴ニ代ルモノヲ作ツテ、ソレヲ穿カセタラドウカ、靴モ或ル場合ニハ必要デアリマセウ、戰爭トカ、サウ云フ時ニハ兎ニ角、學校ヘ通ツタリ、普通ノ時ニハ靴デナクテモ間ニ合フコトモアリマセウ、斯ウ云

フコトモ一ツ私ハ考ヘテ欲シイと思フノデアリマス、

ソレカラ食デアリマス、食糧ノ問題ト言ヘバ、直グ食糧ノ増産ト云フヤウナコトニ行ツテ、直グ量ノ問題ニ行キマス、量モ當然デアリマス、併シナガラ食事ノ改良ト言ヒマスカ、昔吾々ノ祖先ガ食ベテ居タモノニ復古シツツ、改良シ茲ニヤハリ無イナラバナイ中ニモ、ソレヲ滿タシ得ルヤウナコトガ出來ルダラウト私ハ思ツテ居リマス、デスカラ食ベ物ハモウ少シ本當ニ研究サルベキモノデヤナイカト思ヒマス、又南洋ニ向ツテ日本ノ文化ヲ弘メルト云フコトモ、南洋ニ行ツテ南洋人ノ好クヤウナ一ツ新シイ料理法ヲ教ヘルコトカラ始メテ貰ヒタイト思ヒマス、教ハツタ者ハ家ニ歸ツテ、ソレヲ持ヘテ家族ニ食ハセル、オイシイ料理ヲ食ベルコトニ依ツテ彼等ハ大イニ感謝スルデアラウト思ツテ居リマス、デアリマスカラ此ノ食事ト云フコトハ大キナ問題デアリマス、然ルニ文化ヲ言フ時ニハ、食事ヲ後ニシテ、文化々々ト言フノデアリマスケレドモ、殊ニ程度ノ低イ所へ行ツテハ、文化ノ中デモ食事ヲ教ヘルノガ宜シイト私考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ吾々ノ家ニ於テモ大切ダト思フノデアリマス、

善サレタ上ニ住宅ノ不足ヲ滿タスト云フヤウナコトモアリマスノデ、私ハ此ノ點カラ住宅ノ改良ニ付テ考ヘナケレバナラスト

思フノデアリマス、又今日マデ日本ハ餘リニ住宅ニ對シテノ注意ガ足ラナカツタ、傳統的ニ任セテ來タノデアツテ、今日青年ノ間ニ結核ノ多イト云フコトハ、私ハ住宅ニ因ルコトガ多イト思フノデアリマス、所ガ住宅ダト、直グ空氣ノ流通、其ノ他納戸ガ惡イト云フヤウナコトヲ言フノデアリマス、ソレモ惡イノデゴザイマセウケレドモ、茲ニ吾々トシテ考ヘナケレバナラヌコトガアリマス、人間ガ生レテカラ死ヌマデ、少シモ休マナイ器官ガアリマス、ソレハ何カト言フト、心臓ト呼吸器デアリマス、之ニ或ル休息ヲ與ヘルコトガ出來レバ、人間ノ健康ト云フモノハ相當ニ維持サレル、之ニ休息ヲ與ヘナイコトハ、人間ノ健康ヲ害スルモノト私ハ思フノデアリマス、其ノ心臓、肺ニ休息ヲ與ヘルト云フコトハ、家屋ノ改造ヨリ外ニハ私ハナイト思ツテ居リマス、斯ウ云フ點マデ深く入ツテ行ツテ御研究ヲ願ヒタイト私ハ思フノデアリマス、工場ニ於テ、若イ者ヲ連レテ來テ勤務サセル時モ、私ハセメテ一日ノ内ニ二十分位デモ宜イカラ、皆ガ仰向ケニナツテ脊髓ヲ下ニシ、足ヲ伸バシテ休ム時間ヲ與ヘタナラバ、今ノ地方カラ出テ來タ青年ノ病氣ニナル者ハ、防ギ得ルト私ハ思ツテ居リマス、私ハ日露戰爭ノ時ニ「アメリカ」ニ居リマシタガ、或ル外國人ガ私ヲ訪ネテ來マシタ、サウシテ曰ク、吾々ハ今賭ヲシテ居ル、日本人ノ強イノハ枕ヲ用ヒナイデ、枕ナシニ寝ルカラ強イノダト云フコトデ、今賭ヲシテ來タ、ソレヲ聞キニ來タト云フコトデアツタ、ソレデ飛ン

デ來タ人ニ、君ハドツチニ賭ケタカト言フト、俺ハ枕ナシニ寝テ居ルト云フ方ニ賭ケタ、ソレデアナクノ所ニ聽キニ來テ勝チ負ヲ決メヨウト云フ話デアル、私當時「ニューヨーク」市デ英文雜誌ヲ出シテ居タ時デアリマス、私モ大變困リマシタガ、ソコデ私ハ高イ枕ハシナイ、枕ハスルガ、枕ト云フモノハ低イノデ宜イノダト云フ講釋ヲシタノデアリマス、其ノ時ニサウ云フ賭ケヲシタ人ハ、勞働者階級ノヤウナ人デアリマシタ、其ノ人達ノ寢床ノ「スプリング」鐵デ拵ヘテアリマスガ、安物デスカラ眞中ガ弛ム、「ハンモック」ノヤウニ曲ル所ニ寢ルコトニナル、自分モサウ云フ經驗ガアリマスガ、ソレデ枕ガ高クテハ尙ホ惡イカラト思ヒマシテ、枕ハ低イガ宜イノダト言ツタラ、喜ンデ歸リマシタ、面白イコトヲ聽キニ來タト思ヒマシタ、所ガ其ノ次ノ年日本ヘ歸ツテ來マシテ、私聞イタコトニハ、東京ノ田端ノ近所ニ御寺ガアツテ、其ノ御寺ニ通ヘバ病氣ガ癒ルト云フコトヲ聞キマシタ、ドウ云フ療法ヲスルカト云フト、坊サンガ莫慮ヲ敷イテ、其ノ上ニ天井ヲ向イテ、枕ナシニ黙ツテ一時間、一時間半バカリ、深呼吸モシカイデ寢ルダケソレデ癒ルト云フコトデアリマシテ、私ハ大變ソレニ興味ヲ持ツタノデアリマス、私ハ住ト云フコトモ同ジダト思ヒマス、殊ニ資材ノ不足ナ時ニ、住宅ノ不完備ハ大變ナモノデアリマス、私ハ數年前滿洲ニ行ツテ日本ノ移住民ヲ見マシテ、結核ニ侵サレルコトヲ知ツタ時ニ、住宅ノ惡イコトヲ感ジタ、今日本ニ於テ考ヘナケレバナラヌノハ住宅ダト思ヒマス、病氣ニハ近因ト遠因ノ二ツノ原因ガアル、學者デモ、政府デモ近因ノミヲ捕ヘテ、遠因ヲ疎カニスルト私ハ思ヒマス、ソレニ付テ心臟ト呼吸ニ、休息ヲ與ヘル眠リノ出來ル住宅ニ付テ教ヘルコトガ大切ダト思ツテ居リマス、厚生省ハ衣食住ノ三ツニ互リ、本當ニ立派ナ學者ヲ集メ、研究ヲ續ケテ行ツテ貫ヒタイト思フ、ソレニ依ツテ國民ノ健康ニハ勿論、經濟ノ上ニモ大キナ影響ヲシテ來ル衣食住ノ爲ニハ朝晝晩働イテ、收入ノ全部ヲソレニ投ジテ居ルト言ツテモ宜イノデアリマスカラ、厚生省ハ國民ノ衣食住ノ三ツヲ負フテ行クコトニシテ戴キタイト思ヒマス、藥事法ノ制定モ、結局煎ジ詰メレバ藥事報國デ、健康ナル身體ヲ作ルニアル、健康ナル身體ニ健康ナル精神ガ宿ルノデアリマス、不良者ノ多數ハ、健康ヲ害ツテ居ツタモノダト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、此ノ衣食住ニ付テ厚生省ハドシナ覺悟ヲ持ツテ居ラカト云フコトヲ、厚生大臣カラ聞キタイノデアリマス、現大臣ハ厚生大臣トナラレテカラ大キナ線ヲ引イテ呉レマシタ、此ノ上大キナ線ヲ引イテ貫ヒタイ、之ニ付テ大臣ニ伺ヒタイノデアリマス

ソレカラ藥事法ノ制定ニ關シテ知ツテ貫ヒタイコトガアリマス、醫藥品ニハ二ツアル、一ツハ醫者ガ病人ヲ診斷シテ調劑シテ與ヘル藥、モウ一ツハ既ニ調劑サレタ藥、新藥、藥局方ニモ既製調劑藥品ガアリマス、是ハ澤山ノ病人ニ經驗シタ共通性ノ藥デアリマス、隨テ一ツハ個人々々ニ付テ醫者ガ診斷シタ調劑、一ツハ澤山ノ診斷投藥ノ結果ヲ綜合シタ共通性ノ調劑デアリマス、即チ賣藥デアリマス、ソレヲ取扱フ賣藥商ヲドウスレバ藥事報國ニ協力セシメテ行ケルカ、ソレハ此ノ法ノ運營ニアルコトト思ヒマス、折角制定サレル藥事法ノ運營ニ付テ

考ヘルニハ、ドウ云フ點ガアルカト云フコトヲ知ツテ戴キタイト思フノデアリマス、二ツノ區別ガ原則デアリマス、此ノ原則ガ分レバ後ハ運營デアリマス、此ノ原則ニ付テ大臣ハドウ思フテイラウシヤルカ、斯ウ云フコトヲ伺ツテ見タイノデアリマス
モウ一ツ藥事法ノ制定ニ依リ藥事報國ヲセシムルニハ、藥事教育ヲドウスルカト云フコトガ問題ニナルト思ヒマス、今マデノ藥學校ノヤウニシテ進メテ、藥事法ヲ制定シタ精神ガ巧ク行ケルカドウカ、斯ウ云フコトデアリマス、藥事法制定ニ伴ツテ、藥事教育ニ變化ガ起キハセヌカ、今マデ藥事ニ關スル教育ハ文部省ニ屬シテ居リマスカレドモ、是ハ文部省ダケニ任セテ置ク譯ニハ行カヌト思ヒマス、ソコデ厚生省ハ藥事教育ニ付テドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ラカト云フコトヲ伺ツテ見タイノデアリマス、今マデノ藥劑師ノ教育、今マデノ藥學校ノ教育ニ必然的ニ改革ガ行ハレナケレバ、藥事法ノ精神ハ徹底シナイト思ヒマス、殊ニ常ト違ツテ、今ハ戰時デアルカラ、藥事法ノ精神ガ最モ早ク行ハレルコトヲ期待シマス、ソレニハ藥事教育ノ改革ガ起ツテ來ナケレバナラヌト思ヒマス、之ニ付テ厚生大臣ハドウ考ヘテ居ラレルカ、斯ウ云フコトデアリマス

次ニ此ノ前ノ「ヨーロッパ」大戦ノ時デアリマス、大正六年醫藥獎勵ノ爲ニ、内國製藥株式會社ト云フ國策會社ヲ内務省ノ衛生局デ作ツタ、ソレハ成功シナカッタ、其ノ不成功ニ終ツタ原因ハ何處ニアルカト云フト、結局經驗ノナイ人ニソレヲ擔當サセタカラダ、ドウ云フコトカト云フト、當時外國デ作ツタ藥ヲ輸入シテ、ソレヲ小サク小分ケニシテ賣ツテ居ツタ人達ニ、此ノ自給自足ノ仕事ヲ與ヘタノデアリマス、是ガ成功デアツタラ、日本ハモツト「藥ノ方デ進歩シテ居ツタラウト思ヒマス、ソコデ原則トシテ生産販賣ニ關シテハ經驗者ニ仕事ヲサセルコトデアリマス、經驗者ニ協力スル、協力ニハ資金ナリ、特權ナリヲ與ヘル、同時ニ創意ヲ與ヘ、發明ヲ與ヘ、技術者ヲモ之ニ加勢セシメルコトニ依ツテ物ハ出來ルノデアリマス現在日本ニ色々ナ統制ガ行ハレテ居リマスガ、思フヤウニ物ガ出來ナイ、出來ナイト云フコトハ結局經驗者ヲ活用シナイカラデアリマス、經驗者ヲ助ケテ資金ヲ與ヘ、學者モ連レテ行ツテ助ケル、斯ウ云フコトデ行ケバ何デモナイト思フ、所ガ何時デモ新シイ企ヲスル時ニハ經驗者ヲ除外シテ、別ナ人ガ集ツテヤル、是デハイケマセヌ、此ノ原則ダケハ是非知ツテ頂戴シタイ、殊ニ厚生省ハ餘所ト違ツテ新シイ役所デアリマスカラ、餘所ニ囚ハレズニ行ツテ欲シイ、所ガ厚生省ノ中デモ衛生局ハ内務省カラ分レテ行ツタモノデアリマス爲ニ、ドウシテモ衛生局ニハマダ古イ古イ型ガアル、殊ニ厚生省ノ役人ノ大部分ハ内務省畑ガ多イノデアリマス、ソレデ内務省ノ方ト人間ノ交流モヤツテ居ルヤウデアリマスカレドモ、是ハ寧ろ別ナ方面ノ人トモ交流シテ行クコトニ依ツテ、今ノ原則デアル經驗者「プラス」協力「プラス」創意、之ニ依ツテ衣食住ノ三ツヲ背負ツテ立ツト云フコトニ進メテ貫ツタラバ、私ハキツト厚生省ガ國民カラモ感謝サレルノミナラズ、世界カラモ稱讚ヲ受ケルヤウナ立派ナ役所ニナリ得ルト、斯ウ信ズルノデアリマス、此ノ點モ大臣ノ決意ヲ伺ヒタイト思ヒマス

最後ニ厚生省ノ機構デアリマス、局ガ五ツアリマス、人口局、衛生局、生活局、勤勞局、保險局ノ五ツデアリマスガ、私ハ人口局ト生活局ノ二ツハ一ツニシテ宜イモノト思ヒマス、一ツニスルコトニ依ツテ其ノ目的ガ達セラレル、二ツアルコトハ却テ能力ヲ阻碍スル、私ハ斯ウ思フノデアリマス、是等ニ對スル大臣ノ御返事ヲ願ヒタイノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ質疑ヲ終リマス

○清水委員長 星君ノ只今ノ御質疑ニ對スル答辯ハ政府委員ガ承ツテ居リマスルカラ、之ヲ大臣ニ傳ヘマシテ大臣カラ答辯スルヤウニナラウト思ヒマス——尙ホ大臣ガモウ見ユル答デアリマスガ、マダ見エマセズ、他ニ三人程質疑ノ通告者ガアリマスケレドモ、此ノ席ノ上ニ居リマセヌノデ、次ノ法案ニ移リタイト思ヒマス、船員保險法中改正法律案、軍事扶助法中改正法律案、兩案ニ對スル政府ノ御説明ヲ願ヒマス

○平井政府委員 船員保險法中改正法律案ニ付キマシテ逐條御説明申上ゲマス
今回ノ改正ハ、船員保險ガ社會保險タル立場ニ於キマシテ戰時下最モ喫緊ノ施策デアリマス船員保護ノ一翼ヲ果サントスル趣旨ニ依ルモノデアリマシテ、改正ノ内容ハ過日當委員會ニ於キマシテ厚生大臣カラ御説明ガ申上ゲマシタ通り大體四項目ニ分チ得ルノデアリマス、其ノ四項目ニ全條文ヲ分類致シマシテソレト關係スル條文ノ内容趣旨ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス

第一點ハ船員法上ノ船舶所有者ノ扶助又ハ手當ノ支給義務ヲ取入レマシテ保險給付トシテアリマス點デアリマス、船員ノ傷病ニ付キマシテハ、船員法ノ規定ニ依リマシテ船舶所有者ノ義務トシテ先ツ三箇月間扶

助ヲナシ、更ニ職務上ノ傷病デアリマシタラバ三箇月間手當ノ支給ガアリマシテ、然ル後ニ船員保險ノ保險給付ガ開始サレルノデアリマスガ、時局下船員ノ過勞ニ伴ヒマシテ傷病ガ増加致シマスルノデ、船舶所有者ノ負擔ヲ分散致シマスル爲ト又船員ノ保護ノ完壁ヲ期スルノト、併セテ受給ノ簡便ヲ圖リマス爲ニ、曩ニ申シマシタ船員保險法上ノ船舶所有者ノ義務ヲ保險ニ取入レルコトト致シタノデアリマス、之ニ關聯致シマス條文ハ第三十二條ノ第一項ト、第三十三條ト、第六十條ト、附則ノ第三項トデアリマス、第三十二條ノ第一項ニ於キマシテハ、扶助又ハ手當ヲ保險ニ取入レマシタノデ、從來六箇月間ノ給付デアリマシタ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ給付期間ヲ九箇月ニ改正致シタノデアリマシテ、是ハ船員法上ノ扶助又ハ手當ノ船主ノ義務ヲ取入レマシタ結果、船員ノ保護ヲ從來ヨリ低下シナイト云フ趣旨デ、其ノ三箇月ト從來ノ六箇月トヲ合ハセマシテ、九箇月ト致シタノデアリマス、隨テ現在船員法上ノ扶助又ハ手當ノ支給ノナイ傷病ニ付キマシテハ、但書ノ規定ニ依リマシテ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給期間ヲ從來通り六箇月ト致サントスルノデアリマス、第三十三條ノ規定ノ削除ハ從來船員法上ノ扶助又ハ手當支給後ニ保險給付ガ開始サレタノデアリマスガ、今回扶助又ハ手當ヲ保險給付ト致シマシタノデ、此ノ規定ノ必要ガナクナリマシタカラ、削除スルコトニ相成ツタノデアリマス、第六十條ノ規定ニ於キマシテハ、此ノ扶助又ハ手當ヲ保險給付ト致シマスニ付テノ財源トシテ保險料、各被保險者ノ標準報酬百圓ニ付キマシテ大凡二圓程増徴致スコトニ相成リマスガ、本扶

助ガ元來船舶所有者ノ義務デアリマシタモノヲ保險給付ニ取入レルノデアリマスルカラ、此ノ保險料増徴分ハ船舶所有者ノ負擔ト致ス考ヘデアリマス、其ノ結果船舶所有者ノ保險料負擔割合ハ大體五分ノ三程度トナル見込デアリマシテ、其ノ意味ノ改正ガ行ハレントスルノデアリマス、附則ノ第三項ハ、本改正法ノ施行前ニ船舶所有者ノ扶助手當ノ支給ガ開始セラレマシタ場合、又ハ保險法ニ依ル療養ノ給付ヤ傷病手當金ノ支給ガ開始セラレテ居ル場合ニ於キマシテハ、從前ノ規定ニ依ツテ之ヲ律スルト云フ經過ノ規定デアリマス

改正ノ第二點ハ、戰時下ニ於ケル船員ノ勤勞過重ニ伴フ稼働能力ノ減退ヲ考慮致シマシテ、被保險者デアリマシタ期間ニ一定割合ノ加算ヲ致シマシテ、年金等ノ支給條件ノ緩和、又ハ年金額ノ割増ヲナサントスルノデアリマス、之ニ關聯致シマス條文ハ第二十二條ノ二ト、第五十八條及ビ附則第二項デアリマス、第二十二條ノ二ノ規定ニ於キマシテハ、戰時ニ於キマシテ勅令ノ指定スル區域ヲ航行スル船舶中ニ、主務大臣ノ指定スル船舶ヲ除キマシテ、其ノ船舶ニ乗込ミマシタモノニ對シテハ被保險者タル期間ノ三分ノ一ヲ加算致サントスルノデアリマス、勅令ヲ以テマシテ規定スル區域ト申シマスノハ、所謂危險區域デアリマシテ、戰爭遂行ノ狀態ニ應ジテ決メラルベキモノデアリマスガ、現情勢下ニ於キマシテハ、大體瀬戸内海ヲ除イタ太平洋及ビ印度洋程度ノ廣イ區域ヲ指定致シタイト豫定致シテ居ルノデアリマス、又主務大臣ノ除キマス——指定スル船舶ト云フモノハ、此ノ危險區域ヲ航行スル船舶デアリマシテモ、其ノ航海距

離モ短ク、又危險モ少ク、勤勞モ餘リ過重トハナラナイモノヲ除キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又其ノ加算ノ認メラルベキ期間ハ、附則第二項ノ規定ニアリマス通り、昭和十六年十二月八日即チ大東亞戰爭勃發ノ時カラデアリマスガ、終期ハ別ニ勅令ヲ以テ定メル豫定デアリマス、又加算ニ必要ナ規定及ビ加算方法等ハ命令ヲ以テソレノ規定スル豫定デアリマス、次ニ第五十八條ハ右ニ申述ベマシタ加算ニ要スル經費ヲ全額國庫負擔トスル趣旨ノ規定デアリマス、即チ加算ヲ致シマス、相當多額ノ經費ヲ要スルノデアリマス、殊ニ戰爭ガ長期ニナリマスレバ、一層多額ニナルノデアリマスガ、是ハ船員保護ノ上カラ全額國庫負擔トスル豫定デアリマシテ、此ノ第五十八條ノ規定ガアル譯デアリマス

改正ノ第三點ハ、戰時下船員ノ結核性疾患ノ増加ノ傾向ニ鑑ミマシテ、延長給付ニ關スル支給條件ヲ緩和致シタ點デアリマス、之ニ關聯スル條文ハ第三十二條ノ二項デアリマシテ、元來療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給期間ハ從來ハ六箇月デアリマスガ、今度九箇月ニ相成ルノデアリマスケレドモ、結核性疾患ニ限りマシテ、尙ホ六箇月ダケ延長致シマシテ、併セテ一年ニ至ルマデ給付致シテ居リマスガ、此ノ延長給付ノ支給條件ハ給付ヲ受ケマス前一年ニ引續イテ六箇月以上被保險者、即チ乗船シテ居タト云フコトガ條件ニナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト改正致シマシテ、勅令ニ於キマシテハ一年內ニ三箇月被保險者デアツタモノト致シマシテ、從來ノ六箇月ヲ三箇月ニ短縮スルノミナラズ、其ノ三箇月間モ引續イテ被保險者デア

助ガ元來船舶所有者ノ義務デアリマシタモノヲ保險給付ニ取入レルノデアリマスルカラ、此ノ保險料増徴分ハ船舶所有者ノ負擔ト致ス考ヘデアリマス、其ノ結果船舶所有者ノ保險料負擔割合ハ大體五分ノ三程度トナル見込デアリマシテ、其ノ意味ノ改正ガ行ハレントスルノデアリマス、附則ノ第三項ハ、本改正法ノ施行前ニ船舶所有者ノ扶助手當ノ支給ガ開始セラレマシタ場合、又ハ保險法ニ依ル療養ノ給付ヤ傷病手當金ノ支給ガ開始セラレテ居ル場合ニ於キマシテハ、從前ノ規定ニ依ツテ之ヲ律スルト云フ經過ノ規定デアリマス

改正ノ第二點ハ、戰時下ニ於ケル船員ノ勤勞過重ニ伴フ稼働能力ノ減退ヲ考慮致シマシテ、被保險者デアリマシタ期間ニ一定割合ノ加算ヲ致シマシテ、年金等ノ支給條件ノ緩和、又ハ年金額ノ割増ヲナサントスルノデアリマス、之ニ關聯致シマス條文ハ第二十二條ノ二ト、第五十八條及ビ附則第二項デアリマス、第二十二條ノ二ノ規定ニ於キマシテハ、戰時ニ於キマシテ勅令ノ指定スル區域ヲ航行スル船舶中ニ、主務大臣ノ指定スル船舶ヲ除キマシテ、其ノ船舶ニ乗込ミマシタモノニ對シテハ被保險者タル期間ノ三分ノ一ヲ加算致サントスルノデアリマス、勅令ヲ以テマシテ規定スル區域ト申シマスノハ、所謂危險區域デアリマシテ、戰爭遂行ノ狀態ニ應ジテ決メラルベキモノデアリマスガ、現情勢下ニ於キマシテハ、大體瀬戸内海ヲ除イタ太平洋及ビ印度洋程度ノ廣イ區域ヲ指定致シタイト豫定致シテ居ルノデアリマス、又主務大臣ノ除キマス——指定スル船舶ト云フモノハ、此ノ危險區域ヲ航行スル船舶デアリマシテモ、其ノ航海距

離モ短ク、又危險モ少ク、勤勞モ餘リ過重トハナラナイモノヲ除キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又其ノ加算ノ認メラルベキ期間ハ、附則第二項ノ規定ニアリマス通り、昭和十六年十二月八日即チ大東亞戰爭勃發ノ時カラデアリマスガ、終期ハ別ニ勅令ヲ以テ定メル豫定デアリマス、又加算ニ必要ナ規定及ビ加算方法等ハ命令ヲ以テソレノ規定スル豫定デアリマス、次ニ第五十八條ハ右ニ申述ベマシタ加算ニ要スル經費ヲ全額國庫負擔トスル趣旨ノ規定デアリマス、即チ加算ヲ致シマス、相當多額ノ經費ヲ要スルノデアリマス、殊ニ戰爭ガ長期ニナリマスレバ、一層多額ニナルノデアリマスガ、是ハ船員保護ノ上カラ全額國庫負擔トスル豫定デアリマシテ、此ノ第五十八條ノ規定ガアル譯デアリマス

離モ短ク、又危險モ少ク、勤勞モ餘リ過重トハナラナイモノヲ除キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、又其ノ加算ノ認メラルベキ期間ハ、附則第二項ノ規定ニアリマス通り、昭和十六年十二月八日即チ大東亞戰爭勃發ノ時カラデアリマスガ、終期ハ別ニ勅令ヲ以テ定メル豫定デアリマス、又加算ニ必要ナ規定及ビ加算方法等ハ命令ヲ以テソレノ規定スル豫定デアリマス、次ニ第五十八條ハ右ニ申述ベマシタ加算ニ要スル經費ヲ全額國庫負擔トスル趣旨ノ規定デアリマス、即チ加算ヲ致シマス、相當多額ノ經費ヲ要スルノデアリマス、殊ニ戰爭ガ長期ニナリマスレバ、一層多額ニナルノデアリマスガ、是ハ船員保護ノ上カラ全額國庫負擔トスル豫定デアリマシテ、此ノ第五十八條ノ規定ガアル譯デアリマス

改正ノ第三點ハ、戰時下船員ノ結核性疾患ノ増加ノ傾向ニ鑑ミマシテ、延長給付ニ關スル支給條件ヲ緩和致シタ點デアリマス、之ニ關聯スル條文ハ第三十二條ノ二項デアリマシテ、元來療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給期間ハ從來ハ六箇月デアリマスガ、今度九箇月ニ相成ルノデアリマスケレドモ、結核性疾患ニ限りマシテ、尙ホ六箇月ダケ延長致シマシテ、併セテ一年ニ至ルマデ給付致シテ居リマスガ、此ノ延長給付ノ支給條件ハ給付ヲ受ケマス前一年ニ引續イテ六箇月以上被保險者、即チ乗船シテ居タト云フコトガ條件ニナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト改正致シマシテ、勅令ニ於キマシテハ一年內ニ三箇月被保險者デアツタモノト致シマシテ、從來ノ六箇月ヲ三箇月ニ短縮スルノミナラズ、其ノ三箇月間モ引續イテ被保險者デア

改正ノ第三點ハ、戰時下船員ノ結核性疾患ノ増加ノ傾向ニ鑑ミマシテ、延長給付ニ關スル支給條件ヲ緩和致シタ點デアリマス、之ニ關聯スル條文ハ第三十二條ノ二項デアリマシテ、元來療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給期間ハ從來ハ六箇月デアリマスガ、今度九箇月ニ相成ルノデアリマスケレドモ、結核性疾患ニ限りマシテ、尙ホ六箇月ダケ延長致シマシテ、併セテ一年ニ至ルマデ給付致シテ居リマスガ、此ノ延長給付ノ支給條件ハ給付ヲ受ケマス前一年ニ引續イテ六箇月以上被保險者、即チ乗船シテ居タト云フコトガ條件ニナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト改正致シマシテ、勅令ニ於キマシテハ一年內ニ三箇月被保險者デアツタモノト致シマシテ、從來ノ六箇月ヲ三箇月ニ短縮スルノミナラズ、其ノ三箇月間モ引續イテ被保險者デア

改正ノ第三點ハ、戰時下船員ノ結核性疾患ノ増加ノ傾向ニ鑑ミマシテ、延長給付ニ關スル支給條件ヲ緩和致シタ點デアリマス、之ニ關聯スル條文ハ第三十二條ノ二項デアリマシテ、元來療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給期間ハ從來ハ六箇月デアリマスガ、今度九箇月ニ相成ルノデアリマスケレドモ、結核性疾患ニ限りマシテ、尙ホ六箇月ダケ延長致シマシテ、併セテ一年ニ至ルマデ給付致シテ居リマスガ、此ノ延長給付ノ支給條件ハ給付ヲ受ケマス前一年ニ引續イテ六箇月以上被保險者、即チ乗船シテ居タト云フコトガ條件ニナツテ居ルノデアリマスガ、今回ハ勅令ノ定ムル所ニ依リト改正致シマシテ、勅令ニ於キマシテハ一年內ニ三箇月被保險者デアツタモノト致シマシテ、從來ノ六箇月ヲ三箇月ニ短縮スルノミナラズ、其ノ三箇月間モ引續イテ被保險者デア

ルコトヲ要シナイト云フヤウニ條件ヲ緩和致シマシテ、社會保險ノ立場カラモ結核對策ノ萬全ヲ期シタイト思フノデアリマス
改正ノ第四點ハ健康保險法、勞働者年金保險法等ニ即應致シマシテ、福祉施設ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、是ガ充實強化ノ方策ヲ講ジマスト共ニ、其ノ他必要ナ規定ノ整備ヲ致シマシテ、船員保險ノ圓滑ナル運營ヲ期シタノデアリマス、福祉施設ニ關スル條文ハ第五十七條ノ二デアリマシテ、現在モ豫算ノ範圍内ニ於キマシテ、保險施設ノ福祉施設ヲ實施致シテ居ルノデアリマス、ケレドモ、漸次積立金ノ増加モ見テ居リマスト共ニ、是ガ運用並ニ運用ニ伴フ收入等モ十分考慮致シマシテ、更ニ積極的ニ被保險者ハ勿論、被保險者タリシ者及ビ保險給付ヲ受クル者ノ福祉ヲ増進スル爲ニ必要ナ諸施設ヲ實施致シタイト考ヘマシテ第五十七條ノ二ヲ新シク設ケントスルノデアリマス、其ノ他被保險者ニ對スル當局ノ臨檢検査ノ規定等健康保險ト同様ニ認メテ居リマス、其ノ條文ハ第九條ノ二、第九條ノ三、或ハ第六十八條乃至第七十條ノソレニ伴フ罰則デアリマス、更ニ又療養ノ給付ノ内容ヲ明定致シマスト共ニ、保險醫及ビ保險藥劑師ニ關スル制度ヲ健康保險等ト同様ニ規定シタノデアリマシテ、第二十八條乃至第二十八條ノ六ガ其ノ規定デアリマシテ、健康保險或ハ國民健康保險ト同様ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、其ノ他健康保險ト同様ニ五十二條ヲ改正シマシテ、重過失ニ依ル事故ニ付テハ療養ノ給付ノ全部又ハ一部ヲシナイト云フヤウナ規定モ設ケマシタシ、又五十三條ノ規定モ改正致シマシテ、健康保險ト同一歩調ヲ取ツタノデアリマス、其ノ他ノ申上ゲマセヌ條文ノ

改正ハ、ソレトノ改正ノ結果ノ條文ノ整備、又ハ他ノ法律ノ關係ノ條文ノ整備デアリマス、唯最後ニ附則第四項ニ船員保險特別會計法ヲ改正致シテ居リマスノハ、先程申シマシタヤウニ、船員保險法ノ改正ノ中ニ福祉施設ノ條項ヲ挿入シタ點ト關聯スル改正デアリマシテ、別段特別ノ意味ヲ持ツタノデハナイノデアリマス、又附則ノ五項ニ昭和十五年法律第十四號ヲ改正致シマシタノハ、先程申シマシタ戰時危險區域ノ加算ヲ認メマシタ爲ニ、先ニ申上ゲマシタ通りニ國庫負擔金ヲ増額致シマスノデ、之ニ伴フ當然ノ整理ノ改正デアリマス、以上各條文ニ付キマシテ概要ヲ御説明申上ゲタノデアリマス

○高辻政府委員 軍事扶助法中改正法律案ニ關シマシテ御説明ヲ申上ゲマス、改正案ハ三點ニ互ツテ居リマシテ、第一點ハ傷病兵ノ範圍ニ關スル問題デアリマス、現行ノ法律ニ依リマス、軍事扶助法ニ依ツテ扶助ヲ受クベキ傷病兵ノ範圍ガ定メラレテ居ルノデアリマスガ、現在ノ法律ハ、戰鬪若シクハ公務ノ爲ニ傷痍疾病ニ罹リ、或ハ又現役中若シクハ應召中ニ於キマシテ、本人自身ノ故意若シクハ重大ナル過失ニ依ラザル場合ニ於キマシテ、ソレ等ノ者ガ一種以上ノ兵役ヲ免除セララルニ至リマス、之ヲ傷病兵ト致シマシテ、本法ニ依ツテ扶助ヲスルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、先頃兵役法ノ施行令及ビ陸軍ノ身體検査規則ガ改正ニ相成リマシテ、兵員ノ要員ガ非常ニ増大致シマシタ關係カラ、從來合格ト決定サレナカッタ者モ合格スルコトニ相成リマシタノデ、即チ多少身體ノ缺陷ガアリマセウトモ、軍務ニ差支ヘナイ限

リハ、是ガ合格スルト云フコトニ相成リマシタ爲ニ、合格者ノ範圍ガ從來ニ比シマシテ餘程擴大セラレテ居ルノデアリマス、此ノコトノ結果ト致シマシテ、從來戰鬪若シクハ公務ノ爲メ、或ハ本人ノ故意若シクハ重大ナル過失ニ依ラズシテ現役中、若シクハ應召中ニ傷痍疾病ヲ受ケマシテ、一種以上ノ兵役ヲ免除セラレテ居リマシタ者モ、直チニ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラルコトナク、或ハ其ノ役種ノ儘退營ヲ致シマストカ或ハ單ニ現役滿期ニ依ツテ退營スル、即チ一種以上ノ兵役ヲ免除ト云フ處分ニ依ラズシテ退營シ、或ハ召集解除ト相成ルト云フヤウナ場合ガ非常ニ多クナツテ參ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ從來通りノ法律ノ取扱ニ致シマス、當然扶助ヲ受ケナケレバナラナイ者ガ扶助カラ漏レルト云フ結果ニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ大變均衡ヲ失スル譯デアリマスカラ、此ノ度軍事扶助法ヲ改正致シマシテ、戰鬪若ハ公務ノ爲メ若ハ本人ノ故爲或ハ重大ナル過失ニ因ルニアラズシテ、現役中若ハ應召中ニ一定ノ傷痍疾病ニ罹リマシタ者ハ、假令一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレザル場合ト雖モ、之ヲ傷病兵トシテ扶助シテ參ル方ガ妥當ト考ヘラレマスノデ、此ノ點ノ規定ヲ新クニ設ケマシテ、扶助ノ完璧ヲ期シテ參リタイト存ズルノデアリマス

第二點ハ、現役ノ下士官ノ家族ヲモ本法ノ對象トシテ扶助スルコトニ致シタイト存ズルノデアリマス、現行法ニ依リマス、下士官ノ家族ハ、其ノ下士官ガ應召ニ依ル場合ニ於テノミ其ノ家族ヲ扶助ノ對象ト致シテ居リマスガ、現役ノ下士官ノ家族ハ扶助セラレテ居ラナイノデアリマス、併シナガ

ラスクノ如ク規定セラレテ居リマスコトハ、是ハ現役ノ下士官ハ志願ニ依ルモノデアリガ故ニ、本人ノ自由意思ニ依ツテ下士官タル者デアリマスカラ、其ノ家族ヲ扶助スルノ要ハナイト云フヤウナ立法律理由ト察セラレルノデアリマスケレドモ、最近ノ狀況ニ依リマス、下士官ノ要員ガ非常ニ増大シテ居リマス結果、規定ノ上ニ於キマシテモ、本人ノ自由意思ニ依ラズシテ下士官ニ任ゼラレル場合ガアリマスノミナラズ、假令本人ノ自由意思ニ依ツテ下士官ニナル場合ト雖モ、寧ロ實情カラ之ヲ考ヘマス、兵役義務履行ノ延長ト考ヘナケレバナラナイ場合ガ極メテ多イノデアリマシテ、現役タルト應召タルトニ依ツテ之ヲ區別致シマスコトハ、實情ニ即シナイモノト考ヘラレルノデアリマスガ故ニ、此ノ場合法律ヲ改正致シマシテ、現役ノ下士官ノ家族ヲモ本法ノ對象トシテ扶助シテ參リタイト存ズルノデアリマス

改正ノ第三點ハ、下士官兵ノ家族ニ對スル扶助ハ、必要アル場合ニ於キマシテハ退營若シクハ召集解除後ニ於キマシテモ尚ホ二十日間扶助シ得ルコトニ現行法ガ規定致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ最近ノ情勢ニ依リマス、戰争ノ區域ガ著シク擴大致シテ居リマスヤウナ關係カラ致シテ、退營若シクハ召集解除後ニ相成リマシテモ、二十日間ニ於テ自分ノ出身地ニ歸リマシテ、元ノ生業ニ復歸スルト云フコトモ困難デアリマス、尙又經濟上ノ狀況カラ見マシテモ二十日間ニ於テ、適當ナル生業ニ復歸スルト云フコトハ困難デアリマス、ノミナラズ色々ト軍務ニ服シテ居リマス間ニ疾病ニ罹リ、若シクハ傷痍ヲ受ケマシテ、

ソレガ完全ニ治愈シテ歸リマシテモ、尙ホ直
チニ生業ニ就クト云フコトハ困難ナ者モ非
常ニ増シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソ
レデアリマスガ故ニ、退營若シクハ召集解
除後僅カニ二十日間ノ期間ダケ繼續扶助ヲ
致スコトハ、實情カラ考ヘマシテ扶助ノ完
璧ヲ期スルモノデハナイ、是ハ相當延長ノ
必要ガアルノデハナイカト考ヘマシテ、
今回此ノ二十日間ノ繼續扶助ノ期間ヲ三箇
月ニ延長致シマシテ、扶助ノ徹底ヲ期シテ
參リタイト存ズルノデアリマス、今申上ガ
マシタ三點ノ改正ニ關聯致シマシテ、各條
項ニ相當ノ追加修正ヲ加ヘナケレバナラス
譯デアリマスガ、第二條ニ依リマス、即
チ第一點ノ傷病兵ノ範圍ガ定メラレテ居ル
ノデアリマスガ、之ニ新チニ一號ノ條項ヲ
附加ヘマシテ「前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外
退營シ又ハ召集解除セラレタル陸海軍下士
官兵ニシテ戰鬪若ハ公務ノ爲又ハ故意若ハ
重大ナル過失ニ因リ非ズシテ現役中ニ未入
營期間及歸休期間ヲ除ク」若ハ應召中ニ傷
ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ恩給法第六十六條第
一項ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル傷病ノ程
度以上ノ貽後障礙ヲ有スルモノ」ト云フコ
トニ規定ヲ致シマシテ、第一點ノ改正ニ基
キマシテ、扶助ノ範圍ヲ擴張致シタイト思
フノデアリマス、只今申上ガマシタ條項ノ
中ノ「恩給法第六十六條第一項ノ規定ニ依
リ勅令ヲ以テ定ムル傷病」ト申シマスルノ
ハ、是ハ恩給法上ノ規定ニ依リマスルト、
傷病ノ程度ガ款症、項症、目症ト云フ三階
段ニ相成ツテ居リマス、即チ比較的輕微ナ
ル傷病、即チ目症程度ニ達シテ居リマスル
ナラバ、假令本人ガ一種以上ノ兵役ヲ免ゼ
ラルル場合ト雖モ扶助ヲ致シテ參リタイト思

フノデアリマス、尙ホ「貽後障礙」ト云フ言葉
ノ意義ハ、症狀ノ程度ガ大體固定シタモノ
デアリマシテモ、尙ホ身體上ニ障害ヲ貽シ
テ居リマスル場合及ビ現ニ傷病ガ進行ノ途
中ニアリマシテ、而モ事實上現ニ身體ニ障
害ノアリマスル場合、其ノ二ツノ場合ヲ指
シテ居ル次第デアリマス、次ハ第三條第一
項各號中ニ、現行法ニ依リマス「陸海軍
現役兵、應召中ノ陸海軍下士官兵」トアリ
マスルノ「現役若ハ應召中ノ陸海軍下士
官兵」ト云フ字句ニ訂正致シタイト考ヘマ
スガ、是ハ先刻御說明申上ガマシタ、改正
第二點ニ關聯スル字句ノ修正デアリマス、
尙ホ同ジク第三條第一項ノ第二號ニ「現役
兵ノ入營シタル時、下士官兵ノ應召シタル
時又ハ傷病兵ノ兵役ヲ免セラレタル時」ト
アリマスルノ「下士官兵ノ入營（在郷ノ
下士官兵ニシテ現役下士官ト爲ル場合ヲ含
ム以下同ジ）若ハ應召シタル時又ハ傷病兵
ノ傷病兵タルニ至リタル時」ト云フ工合ニ
訂正致シタイト考ヘルノデアリマスガ、是
ハ前段ノ部分ハ改正第二點ニ關スル字句ノ
修正デアリ、後段ノ部分ハ改正第一點ニ關
聯致シマスル字句ノ修正デアリマス、尙ホ
第三條第一項ノ第三號中ニ「現役兵ノ入營
シタル時、下士官兵ノ應召シタル時又ハ傷
病兵ノ兵役ヲ免セラレタル時」トアリマス
ルノ「下士官兵ノ入營若ハ應召シタル時
又ハ傷病兵ノ傷病兵タルニ至リタル時」ト云
フ工合ニ訂正ヲ致シタイト考ヘマスルガ、
是モ其ノ前段ノ部分ハ改正ノ第二點ニ關係
シ、後段ノ部分ハ改正第一點ニ關係スル修
正デアリマス、次ハ同條第一項中ニ「陸海軍
現役兵」トアリマスルノ「陸海軍下士官兵」
ニ改メマスルノハ、改正第二點ニ關聯スル

訂正デアリマス、更ニ同條第二項中ニ「未入
營現役兵及歸休兵」トアリマスノ「未入營兵
及歸休下士官兵」ニ改メマシタノハ、改正第
二點ニ關聯スル字句ノ訂正デアリマス、次
ニ第四條デアリマスルガ、第四條ノ第二號
ノ中ニ「傷病兵ノ兵役ヲ免セラレタル時」トア
リマスル分及ビ第四條ノ第三號中ニ「傷病兵
ノ兵役ヲ免セラレタル時」トアリマスルノ
「傷病兵ノ傷病兵タルニ至リタル時」ト改
メマシタノハ、是ハ何レモ改正第一點ニ關
聯スル字句ノ訂正デアリマス、第五條第一
項中ニ「現役兵ノ入營、下士官兵ノ應召」ト
アリマスルノ「下士官兵ノ入營應召」ト改
メマシタノハ改正第二點ニ關聯スル訂正デア
リマス、次ニ第十三條ノ二デアリマスルガ、
「現役兵ノ退營又ハ下士官兵ノ召集解除」
トアリマスルノ「下士官兵ノ退營又ハ召
集解除」ト改メマスルノハ、改正第二點ニ關
聯スル字句ノ訂正デアリマス、同ジク第十
三條ノ二ノ中ニ「二十日以内」トアリマスル
ノ「三月以内」ト訂正致シマスノハ、改正
第三點ニ關聯スル字句ノ訂正デアリマス、
以上逐條的ニ御說明ヲ申上ガタノデアリマ
スガ、何レモ先刻申上ガマシタ三點ノ改正
ニ關聯スルノデアリマス、以上ヲ以テ說明
ヲ終リマス

○清水委員長 明日ハ午前十時ヨリ豫算委
員室ニ於テ開會致シマス、先ヅ船員保險法
案、軍事扶助法案ニ對スル質疑ニ入りタイ
ト思ヒマス、尤モ藥事法案ニ對シテ大臣及
ビ政府委員ニ對シ質疑ヲ保留サレテ居リマス
人ハ、適宜適當ノ場所ニ於テ許シタイト思
ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時五十分散會

竹内委員要求參考資料
南方吾占領地帯ニ於ケル製藥事業現況概
要(特ニ本邦人經營製藥概況)
南方ニ於ケル藥種資源分布ノ概觀
南方地域ニ對スル本邦藥品進出ノ現況
南方文化方策トシテ土着民族ニ對スル施
療、施藥ノ狀況
赤間委員要求參考資料
國民學校生徒、身體虛弱者、意思薄弱者、
學業劣等者ノ統計、原因調査

昭和十八年二月二十七日印刷

昭和十八年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局